

平成 24 年 度

みどりの市民意識調査
報 告 書

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査項目	3
3. 調査仕様	4
(1) 調査地域	4
(2) 調査対象	4
(3) 調査対象数	4
(4) 抽出方法	4
(5) 調査方法	4
4. 調査期間	4
5. 回収率	5
(1) 全体の回収率	5
(2) 属性別の回収率	5
①性年齢別回収率	5
②地区別回収率	5
6. 報告書の見方	6
第2章 回答者の属性	7
(1) 性別	9
(2) 年齢	9
(3) 職業	9
(4) 居住地区	10
(5) 現在の住まい	10
(6) 居住年数	10
(7) 家族構成	11
(8) 小学生以下の子どもの有無	11
第3章 調査結果の総括	13
1. 身近なみどりについて	15
2. 「杜の都」という言葉について	15
3. みどりのまちづくりについて	15
(1) 樹林地などの身近なみどりの保全について	15
(2) 市街地の緑化について	16
(3) 公園について	16
(4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について	16
(5) 河川について	17
4. みどり豊かなまちづくりへの参加について	17

5. 災害時の公園利用について	17
6. 海岸公園の再整備について	18
第4章 調査結果の分析	19
1. 身近なみどりについて	21
(1) 身近なみどり	21
(2) 身近なみどりの満足度	24
(3) 欲しいと思う身近なみどり	29
(4) 身近なみどりに期待する機能	31
2. 「杜の都」という言葉について	33
(1) 杜の都を代表するみどり	33
(2) 「杜の都」という言葉から思い描くみどり	36
(3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度	38
3. みどりのまちづくりについて	42
(1) 樹林地などの身近なみどりの保全について	42
①自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性	42
②私有地のみどりの保全方法	43
③屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性	45
④仙台市の生物多様性の印象	46
⑤生物多様性の保全・回復に必要な取り組み	47
(2) 市街地の緑化について	48
①重点を置くべき緑化箇所	48
②みどりの増加に必要な行政の取り組み	50
③緑化活動に必要な行政の支援	52
(3) 公園について	53
①住まいの近くの公園の利用頻度	53
②住まいの近くの公園の役割	56
③住まいの近くの公園の満足度	60
④住まいの近くの公園の整備に必要なこと	64
⑤仙台市全域で増やして欲しい公園	67
(4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について	70
①街路樹の印象	70
②街路樹に期待する機能	76
③街路樹の管理	81

(5) 河川について	84
①仙台市の河川への親しみ	84
②河川区域の整備に必要なもの	87
4. みどり豊かなまちづくりへの参加について	89
(1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動	89
(2) みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動	92
(3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件	96
(4) みどり豊かなまちづくりのために必要なこと	97
5. 災害時の公園利用について	98
(1) 東日本大震災直後の公園の利用状況	98
(2) 自然災害発生時に公園に期待する役割	99
6. 海岸公園の再整備について	101
(1) 被災前に利用したことのある施設	101
(2) 海岸公園の利用頻度	102
(3) 海岸公園を利用しなかった理由	103
(4) 海岸公園の整備に関する意向	104
7. 「みどり」に関する意見・要望	108
資料	109
1. 調査票	111

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、市民のみどりに関する満足度やみどりの施策に対する評価、海岸公園の再整備に関する意見などを把握するとともに、その結果を施策の進捗管理や計画の策定・見直しに反映させることを目的とする。

2. 調査項目

1. 身近なみどりについて

- (1) 身近なみどり
- (2) 身近なみどりの満足度
- (3) 欲しいと思う身近なみどり
- (4) 身近なみどりに期待する機能

2. 「杜の都」という言葉について

- (1) 杜の都を代表するみどり
- (2) 「杜の都」という言葉から思い描くみどり
- (3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度

3. みどりのまちづくりについて

- (1) 樹林地などの身近なみどりの保全について
 - ①自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性
 - ②私有地のみどりの保全方法
 - ③屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性
 - ④仙台市の生物多様性の印象
 - ⑤生物多様性の保全・回復に必要な取り組み
- (2) 市街地の緑化について
 - ①重点を置くべき緑化箇所
 - ②みどりの増加に必要な行政の取り組み
 - ③緑化活動に必要な行政の支援
- (3) 公園について
 - ①住まいの近くの公園の利用頻度
 - ②住まいの近くの公園の役割
 - ③住まいの近くの公園の満足度
 - ④住まいの近くの公園の整備に必要なこと
 - ⑤仙台市全域で増やして欲しい公園

(4) 「都心部」と「住宅地」の街路樹について

- ①街路樹の印象
- ②街路樹に期待する機能
- ③街路樹の管理

(5) 河川について

- ①仙台市の河川への親しみ
- ②河川区域の整備に必要なもの

4. みどり豊かなまちづくりへの参加について

- (1) みどり豊かなまちづくりのため実践している活動
- (2) みどり豊かなまちづくりのため実践したい活動
- (3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件
- (4) みどり豊かなまちづくりのために必要なこと

5. 災害時の公園利用について

- (1) 東日本大震災直後の公園の利用状況
- (2) 自然災害発生時に公園に期待する役割

6. 海岸公園の再整備について

- (1) 被災前に利用したことのある施設
- (2) 海岸公園の利用頻度
- (3) 海岸公園を利用しなかった理由
- (4) 海岸公園の整備に関する意向

7. 「みどり」に関する意見・要望

3. 調査仕様

- (1) 調査地域 仙台市全域
- (2) 調査対象 仙台市に居住する満18歳以上の男女
- (3) 調査対象数 5,000人
- (4) 抽出方法 平成24年4月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 無記名の質問紙調査（郵送による配布・回収）

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
平成24年7月19日	平成24年8月10日	平成24年9月24日

5. 回収率

(1) 全体の回収率

対象者数	有効回収数	有効回収率
5,000 人	1,988 票	39.8%

(2) 属性別の回収率

① 性年齢別回収率

		対象者数	有効回収数	有効回収率
全体	全体	5,000 人	1,988 票	39.8%
	10代	144 人	24 票	16.7%
	20代	733 人	166 票	22.6%
	30代	1,034 人	327 票	31.6%
	40代	804 人	313 票	38.9%
	50代	725 人	338 票	46.6%
	60代	780 人	432 票	55.4%
	70代	479 人	256 票	53.4%
	80代以上	301 人	117 票	38.9%
	無回答	-	15 票	-
男性	全体	2,422 人	847 票	35.0%
	10代	70 人	12 票	17.1%
	20代	379 人	68 票	17.9%
	30代	507 人	130 票	25.6%
	40代	384 人	112 票	29.2%
	50代	360 人	137 票	38.1%
	60代	406 人	220 票	54.2%
	70代	220 人	123 票	55.9%
	80代以上	96 人	45 票	46.9%
	無回答	-	-	-
女性	全体	2,578 人	1,121 票	43.5%
	10代	74 人	12 票	16.2%
	20代	354 人	98 票	27.7%
	30代	527 人	195 票	37.0%
	40代	420 人	201 票	47.9%
	50代	365 人	200 票	54.8%
	60代	374 人	211 票	56.4%
	70代	259 人	130 票	50.2%
	80代以上	205 人	71 票	34.6%
	無回答	-	3 票	-
無回答	全体	-	20 票	-
	10代	-	-	-
	20代	-	-	-
	30代	-	2 票	-
	40代	-	-	-
	50代	-	1 票	-
	60代	-	1 票	-
	70代	-	3 票	-
	80代以上	-	1 票	-
無回答	-	12 票	-	

② 地区別回収率

	対象者数	有効回収数	有効回収率
全体	5,000 人	1,988 票	39.8%
青葉区	1,369 人	494 票	36.1%
宮城野区	893 人	355 票	39.8%
若林区	622 人	230 票	37.0%
太白区	1,076 人	453 票	42.1%
泉区	1,040 人	443 票	42.6%
無回答	-	13 票	-

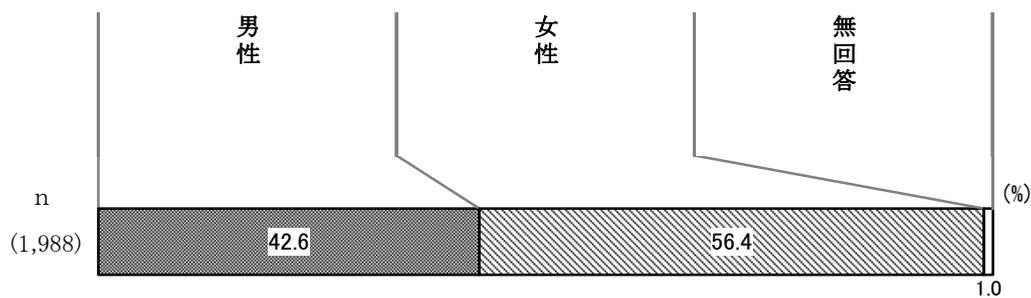
・「無回答」は、それぞれの属性の当該設問への回答がないものをあらわす。

6. 報告書の見方

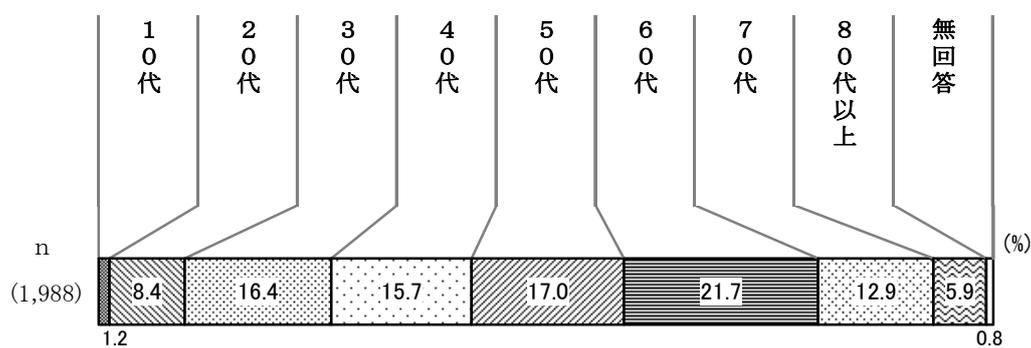
- ・調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多岐選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「無回答」は、当該設問への回答がないものをあらわす。
- ・「無効回答」は当該設問における回答制限数（あてはまる番号1つに○、あてはまる番号3つに○等）よりも多くの回答があったものをあらわす。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「現在の住まい」については、「問5 現在の住まい」をもとにしている。「一戸建て」は「持ち家（一戸建て）」（1,095件）と「賃貸住宅（一戸建て）」（69件）を合算したものである。「集合住宅」は「持ち家（集合住宅）」（272件）と「賃貸住宅（集合住宅）」（444件）を合算したものである。それ以外の「社宅、官舎、寮」（43件）、「仮設住宅」（17件）、「その他」（31件）については件数が少ないため、割愛する。
- ・属性別に分析を行う際の分析軸「居住年数」については、「問6 居住年数」をもとにしている。「5年未満」は「1年未満」（42件）と「1年以上5年未満」（149件）を合算したものである。

第2章 回答者の属性

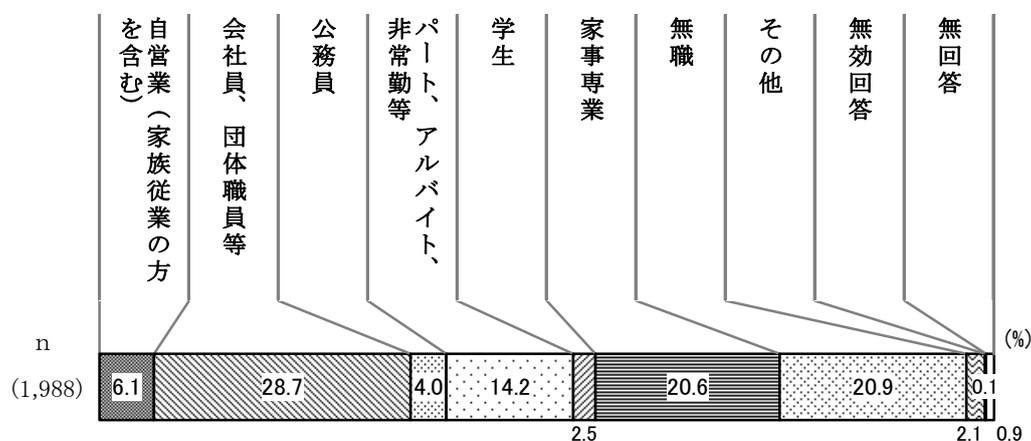
(1) 性別



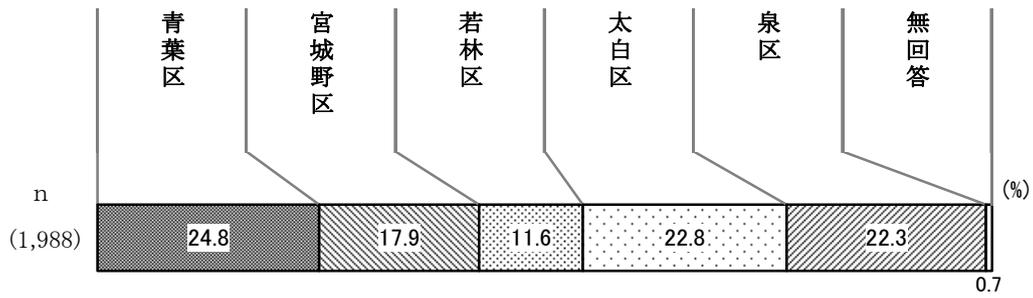
(2) 年齢



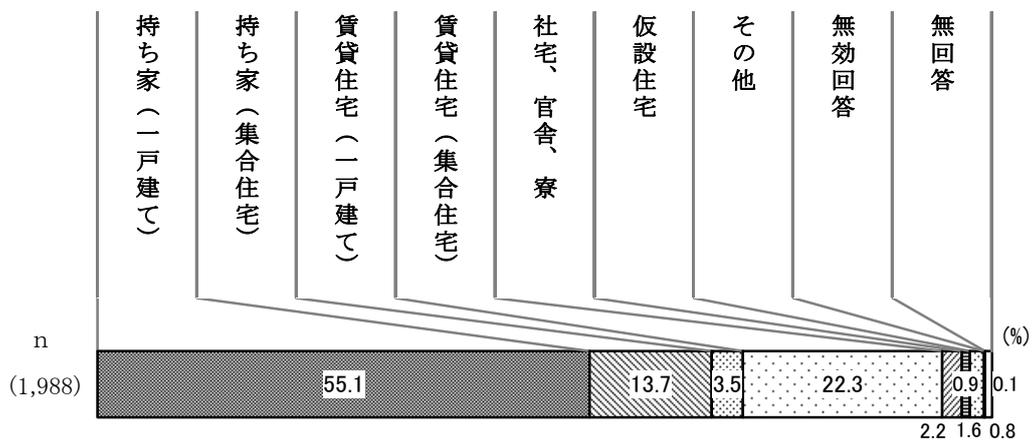
(3) 職業



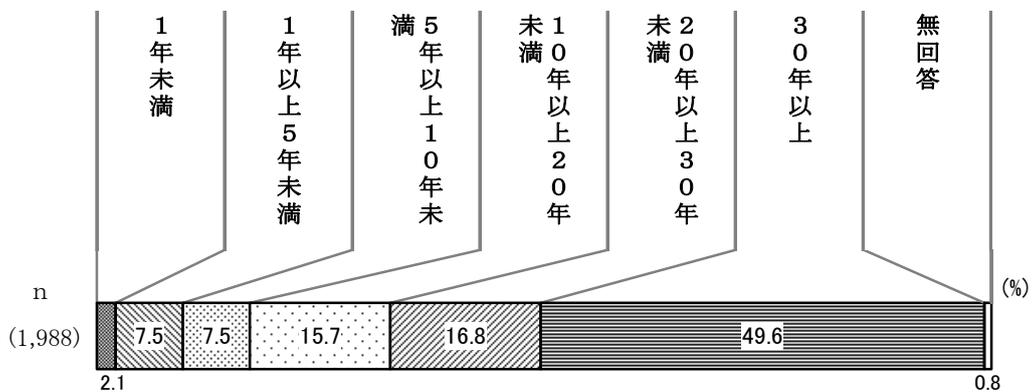
(4) 居住地区



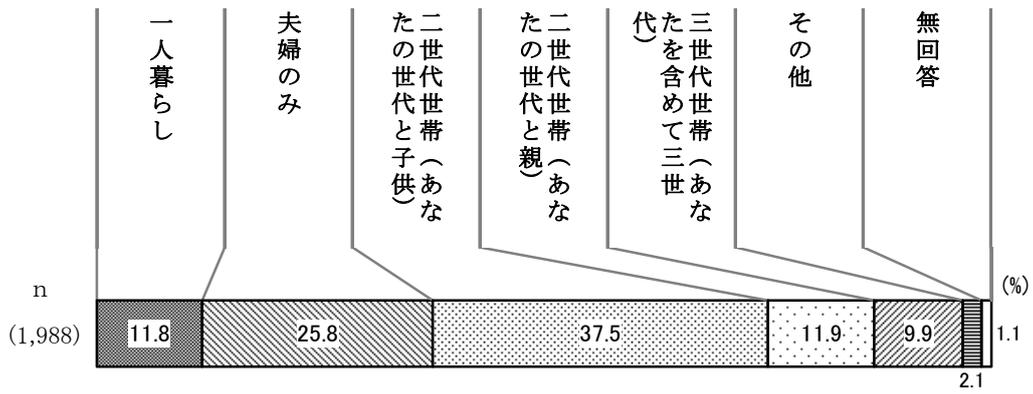
(5) 現在の住まい



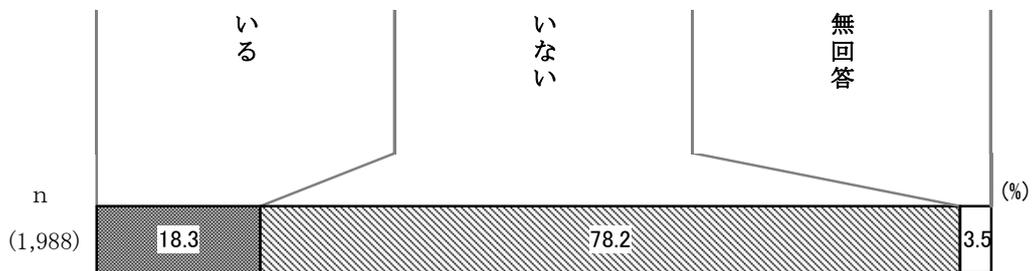
(6) 居住年数



(7) 家族構成



(8) 小学生以下の子どもの有無



第3章 調査結果の総括

1. 身近なみどりについて

身近なみどりとして、7割以上の人が公園・緑地や街路樹、生垣や庭木などの住宅のみどりを選んでいる（21 ページ、問9）。特に公園・緑地や街路樹は、もっと欲しいと思う身近なみどりでも上位に選ばれており、さらなる整備や管理の充実が求められていると考えられる（29 ページ、問11）。

身近なみどりに関する満足度は、量・質ともに十分であると感じる人が約3割となっている。量と質の満足度は、量が十分であると感じる人が約5割であるのに対して、質が十分であると感じる人は約4割となっており、量に対しての満足度が比較的高い（24 ページ、問10）。

身近なみどりに期待する機能では、生活にうるおいを与え心をなごませる機能や都市の気温上昇をやわらげる機能、大気を浄化したり騒音をやわらげる機能が注目されており、日常の生活環境の改善に関わる機能を持つような身近なみどりの創出が必要とされている（31 ページ、問12）。

2. 「杜の都」という言葉について

定禅寺通や青葉通に代表される街路樹のみどり、青葉山公園や台原森林公園といった公園のみどりが「杜の都」のみどりの印象となっており、その他「杜の都」を代表するみどりでは広瀬川が上位となっている。一方で、戦前から「杜の都・仙台」の代表となっていた屋敷林（居久根）の印象は非常に小さいものとなっている（33 ページ、問13・36 ページ、問14）。

また、身近なみどりについての設問と比較すると、商店街やオフィス街のみどりも「杜の都」のみどりとして多くの人に認識されているのが特徴となっている（37 ページ、問9と問14の比較）。

満足度については、量・質ともに不十分であると感じる人が約4割となっており、十分であると感じる人より1割以上多い割合となっている（38 ページ、問15）。

3. みどりのまちづくりについて

（1）樹林地などの身近なみどりの保全について

市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全については、みどりを残すべき又は回復させるべきだという回答が合わせて9割を超えており、大部分を占めている（42 ページ、問16）。

また、個人や企業の土地であっても保全すべきだと考えている人は7割を超えている。保全の方法としては、行政（税金）による土地の買取りよりも法律による土地利用の規制や基金により保全するという考え方が多い（43 ページ、問17）。

屋敷林（居久根）についても、残すべき又は回復させるべきだという回答が合わせて約9割となっており、大部分を占めている（45 ページ、問18）。

生物多様性については、生物が危ない状態になっているという回答が6割以上となっており、多くの人が現状に危機意識を持っていることが伺える（46 ページ、問19）。生物多様性

の保全・回復に必要な取り組みについては、現在の自然環境の保全を選んだ人が8割を超え最も多くなっており、次いで、外来生物による生態系への影響の防止を選んだ人が5割を超え多くなっている（47ページ、問20）。

（2）市街地の緑化について

市街地で重点を置くべき緑化箇所は公園・緑地や道路（街路樹など）が最も多く選ばれ、日常生活に身近な場所の緑化が求められていると考えられる（48ページ、問21）。

また、みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化及び補助金支給や苗木配布などの助成制度が合わせて6割以上の人に選ばれている（50ページ、問22）。

緑化活動に必要な行政の支援については、緑化技術・緑化制度などの情報提供や緑化イベントの開催などが2割を超えているが、多様な支援が必要であると考えられる（52ページ、問23）。

（3）公園について

身近な公園の利用頻度については、定期的に利用する人の割合は4割弱であり、ほとんど利用しない人の約5割を下回っている。また、近くに公園がないという回答も約1割あり、身近な公園の整備や利用促進を図る必要がある（53ページ、問24）。

身近な公園の役割、公園整備に必要なこと、市全域で増やして欲しい公園については、共通して子どもが遊べる、散歩ができる、休憩ができるなど、日常的な利用や機能を求める回答が多くなっている（56ページ、問25・64ページ、問27・67ページ、問28）。このことから、樹木などのみどりの充実とともに、憩いの場や健康促進の場として機能するような公園の整備が求められていると考えられる。また、身近な公園の役割として災害時の避難場所や、市全域で増やして欲しい公園として防災機能が充実した公園が上位に選ばれているのが特徴的であり、東日本大震災の影響によるものと考えられる（56ページ、問25・67ページ、問28）。

身近な公園の満足度については、量・質ともに不十分であると感じる人が約4割で最も多く、特に質に関しては不十分であると感じる人が6割を超えている（60ページ、問26）。

（4）「都心部」と「住宅地」の街路樹について

全体として、都心部の街路樹より住宅地の街路樹のほうが量・質とも不十分であると感じている人が多く、満足度が低い（70ページ、問29）。

街路樹に期待されている機能は都心部と住宅地で異なり、都心部では生活環境を改善するような機能が重視される一方、住宅地では自然的な環境を提供するような機能が重視されている（76ページ、問30）。

管理方法としては、積極的に植栽・維持管理をすべきという回答が合わせて約8割であった（81 ページ、問 31）。

（5）河川について

河川を身近に感じるかについては、全体では、親近感がある人となない人の大きな差はなく同程度の割合であった（84 ページ、問 32）。しかし、居住地区別にみると、河川緑地や河川公園の整備が比較的進んでいる若林区・太白区では親近感がある人の割合が多く、逆に整備が進んでいない宮城野区・泉区は親近感がある人は少ない（86 ページ、問 32【居住地区別】）。

河川区域の整備に必要なものについては、駐車場やトイレ・手洗い場などの便益施設、散策路やあずまやなど日常的に利用する施設整備が求められている一方、生物多様性に配慮した自然環境の保全についても求められている（87 ページ、問 33）。

4. みどり豊かなまちづくりへの参加について

みどり豊かなまちづくりのための活動として、現在実践している活動としては、自宅の緑化や家庭菜園づくりなど個人でできる取組みが多い。次いで、身近な公園等の除草清掃活動を行っている人が約2割と多くなっている（89 ページ、問 34）。これから実践したい活動も同様の項目が上位を占めている（92 ページ、問 35）。特に40代以下の年代は、現在実践している活動は特にないが多くなっているが（90 ページ、問 34【性年齢別】）、何らかの活動を実践したいと考えている人の割合も多い（93 ページ、問 35【性年齢別】）。

緑化活動に参加するための条件については、活動のための時間などを自由に選べることや活動に関する情報が得られることなどが求められている（96 ページ、問 36）。

また、市民・市民活動団体・事業者・行政がそれぞれ役割を果たし、一体となってみどりのまちづくりを進めるためには、緑化に取り組みやすくなるような体制の整備や、各主体が連携して事業の展開・推進を図っていくことが求められている（97 ページ、問 37）。

5. 災害時の公園利用について

東日本大震災直後に公園を利用した人は、一番多い公園の水道の利用でも約1割であり、低い割合となっている（98 ページ、問 38）。しかし、今後災害発生時に公園に期待する役割では、多くの項目が選ばれており、特に期待することはないという回答は1割未満となっている。特に、一時的な避難場所や救援物資の配布場所など、多くの人が集まることができる場所としての機能や、水道・トイレなどの施設を利用できる場所としての機能が求められている（99 ページ、問 39）。

6. 海岸公園の再整備について

東日本大震災被災前の海岸公園の利用状況については、利用施設で最も多いのは井土地区の冒険広場で15%の人が利用している（101 ページ、問 40）。また、利用頻度は、過去1～2回程度の利用が最も多い（102 ページ、問 41）。一方、利用したことがないと答えた人は約6割であり（101 ページ、問 40）、家から遠かったという理由がその約半数を占めている（103 ページ、問 42）。

海岸公園をどのような公園として整備して欲しいかについては、広々とした芝生がある公園、デイキャンプ・キャンプができる公園など、被災前の海岸公園に近いイメージの回答が多い。また、生物多様性に配慮した自然の姿に近い公園、樹木・草花を観賞することができる公園など、みどりが充実した公園の姿も求められている。震災のメモリアルとなる公園としての整備も2割を超える回答割合となっている（104 ページ、問 43）。

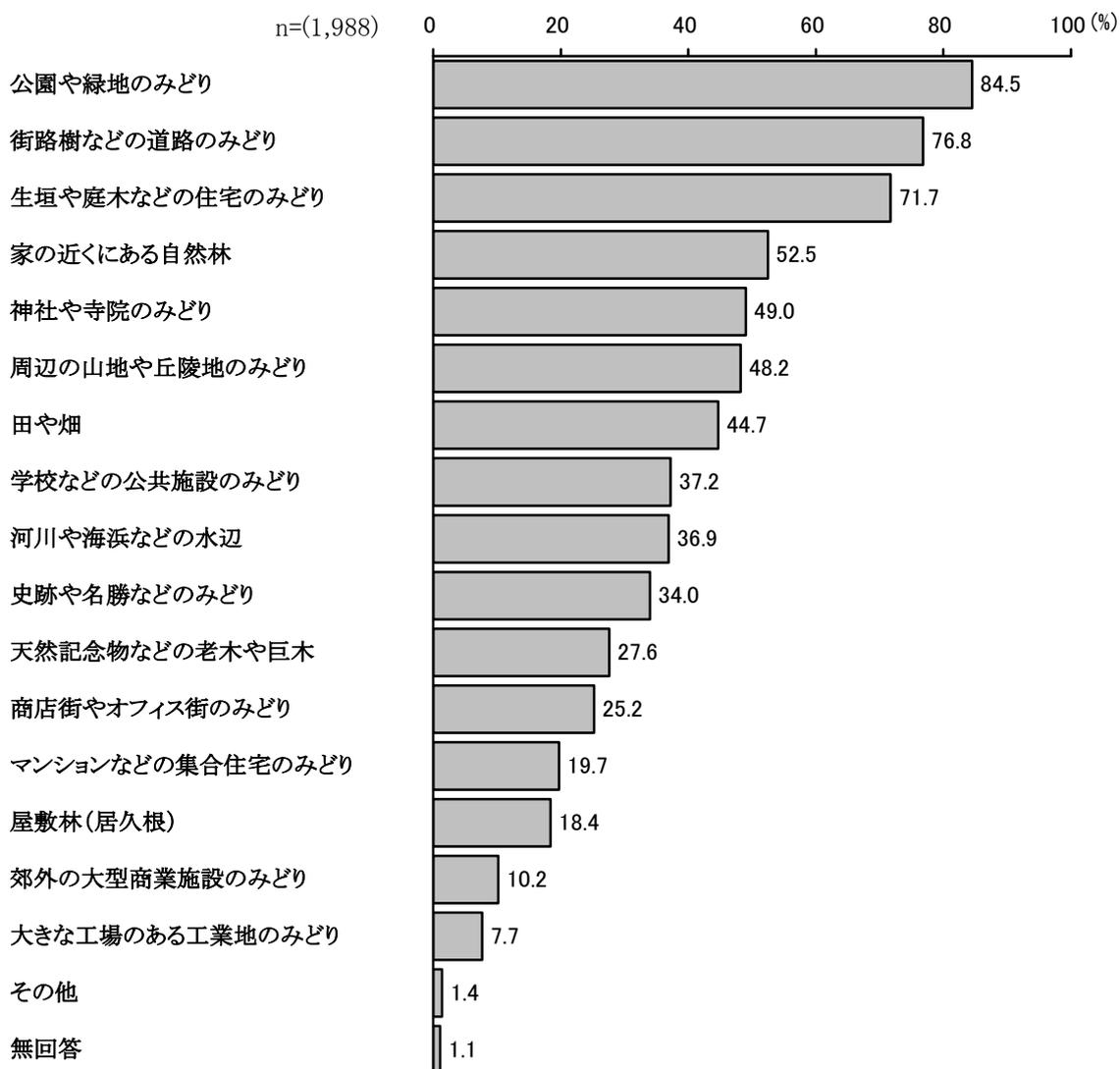
第4章 調査結果の分析

1. 身近なみどりについて

(1) 身近なみどり

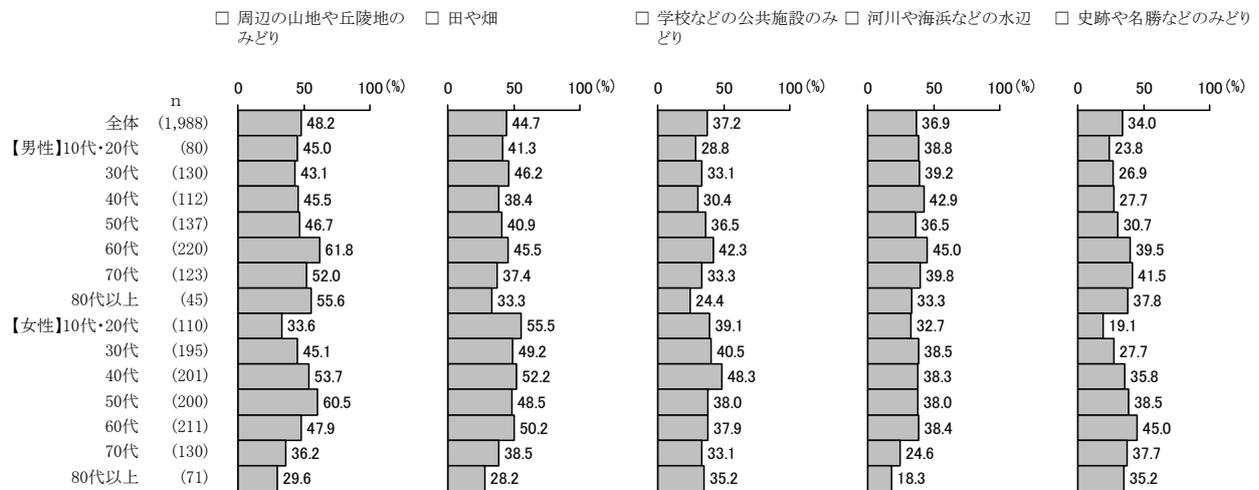
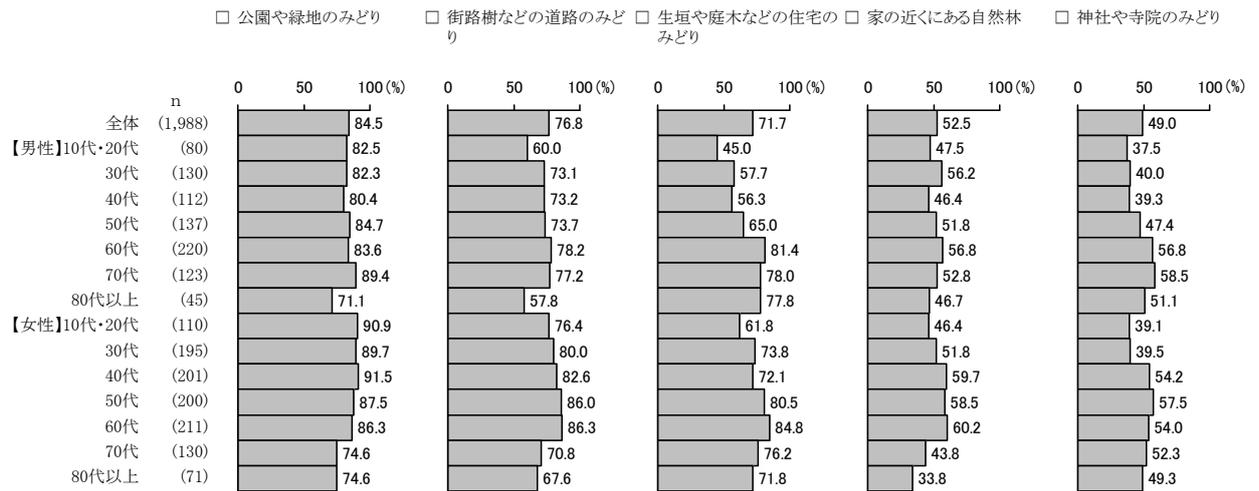
問9 あなたにとっての身近なみどりとは何ですか。

「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなた自身が身近だと感じているみどりも含めます。(あてはまる番号すべてに○)



身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」(84.5%)が最も多く、以下「街路樹などの道路のみどり」(76.8%)、「生垣や庭木などの住宅のみどり」(71.7%)、「家の近くにある自然林」(52.5%)、「神社や寺院のみどり」(49.0%)、「周辺の山地や丘陵地のみどり」(48.2%)、「田や畑」(44.7%)となっている。

● 性年齢別 ●

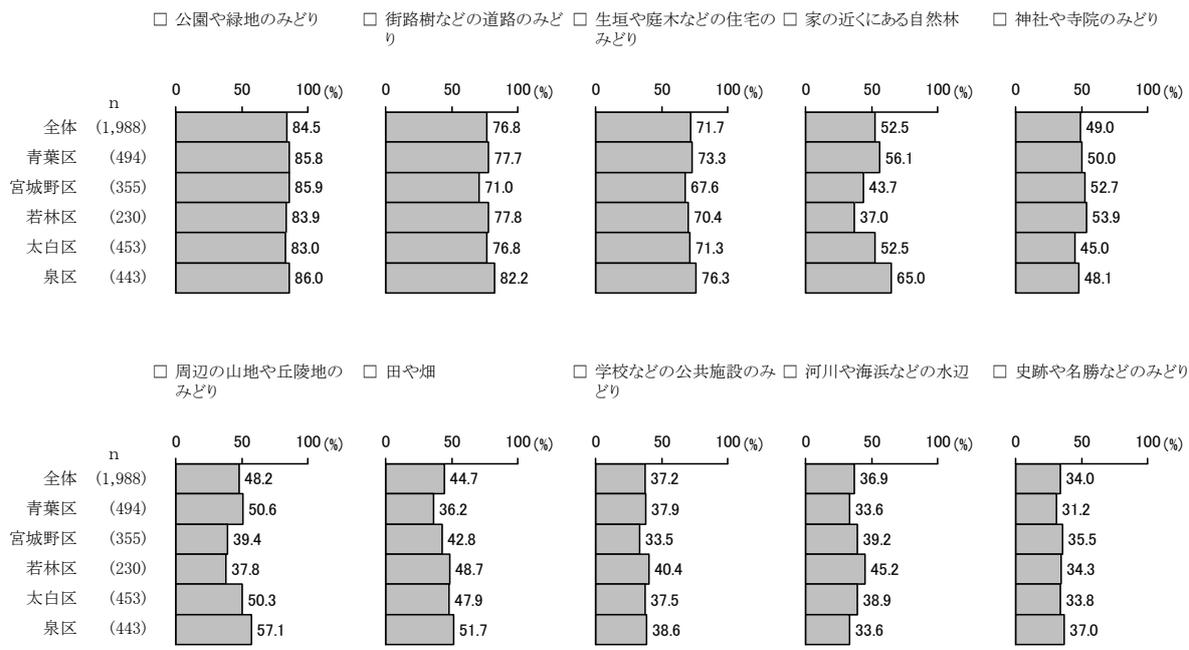


※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「公園や緑地のみどり」は、男性の【80代以上】及び女性の【70代以上】で7割台と、他の性年齢では8割を超えているのに比べて少なくなっている。

また、「周辺の山地や丘陵地のみどり」は、男性の【10代・20代】から【50代】までは4割、【60代以上】では5割をそれぞれ超えている。

● 居住地区別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

居住地区別にみると、【泉区】が多くの項目において上位を占めている。

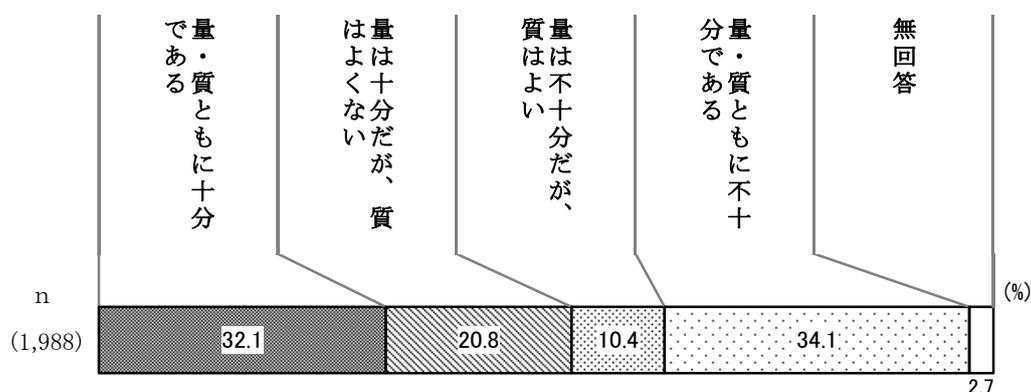
【宮城野区】や【若林区】は他の地区に比べて、「家の近くにある自然林」や「周辺の山地や丘陵地のみどり」が少なくなっている。

(2) 身近なみどりの満足度

問 10 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

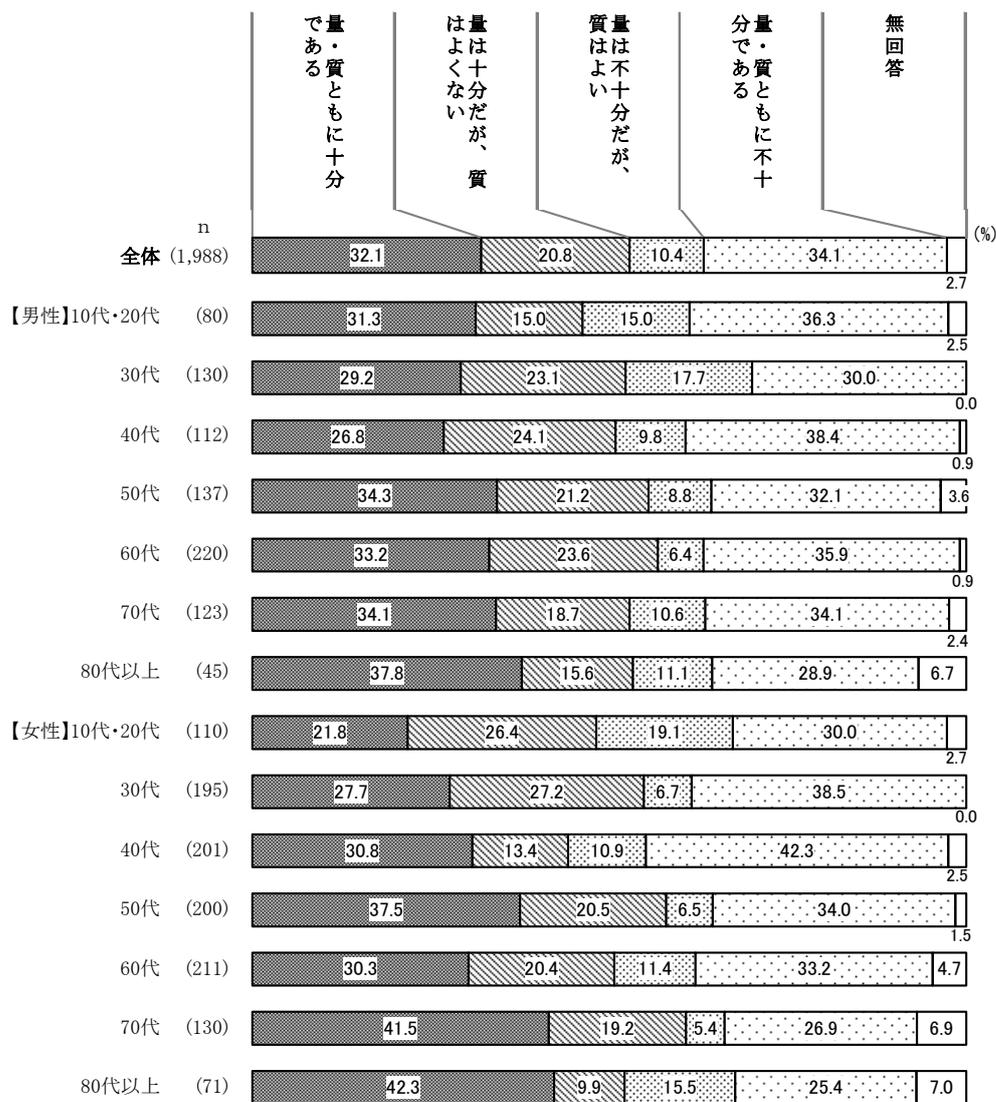
「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し（いやし）になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)



身近なみどりの満足度については、「量・質ともに不十分である」が34.1%、「量・質ともに十分である」が32.1%となっている。以下「量は十分だが、質はよくない」(20.8%)、「量は不十分だが、質はよい」(10.4%)となっている。

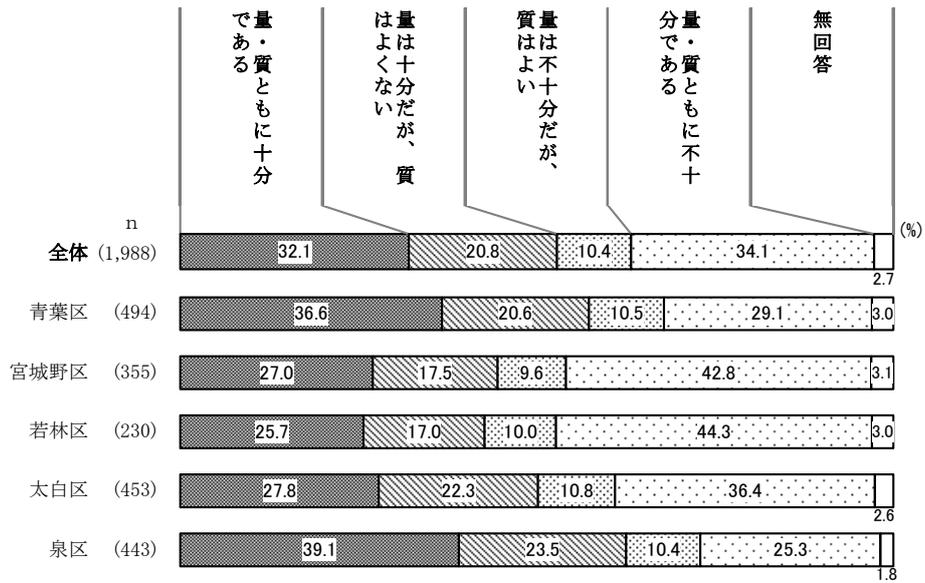
● 性年齢別 ●



性年齢別にみると、「量・質ともに十分である」は、女性の【70代以上】で4割を超えている。

一方、「量・質ともに不十分である」は、男性の【40代】(38.4%)、女性の【30代】(38.5%)及び【40代】(42.3%)で4割前後と多くなっている。

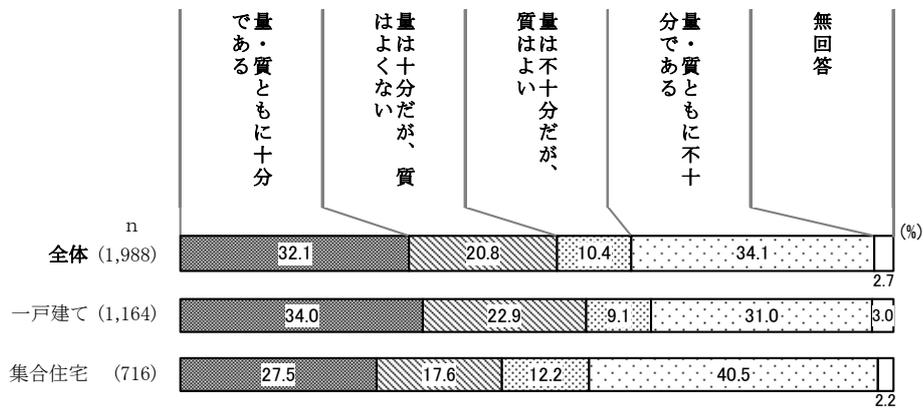
● 居住地区別 ●



居住地区別にみると、「量・質ともに十分である」は、【泉区】で39.1%、【青葉区】で36.6%と、他の地区に比べて多くなっている。

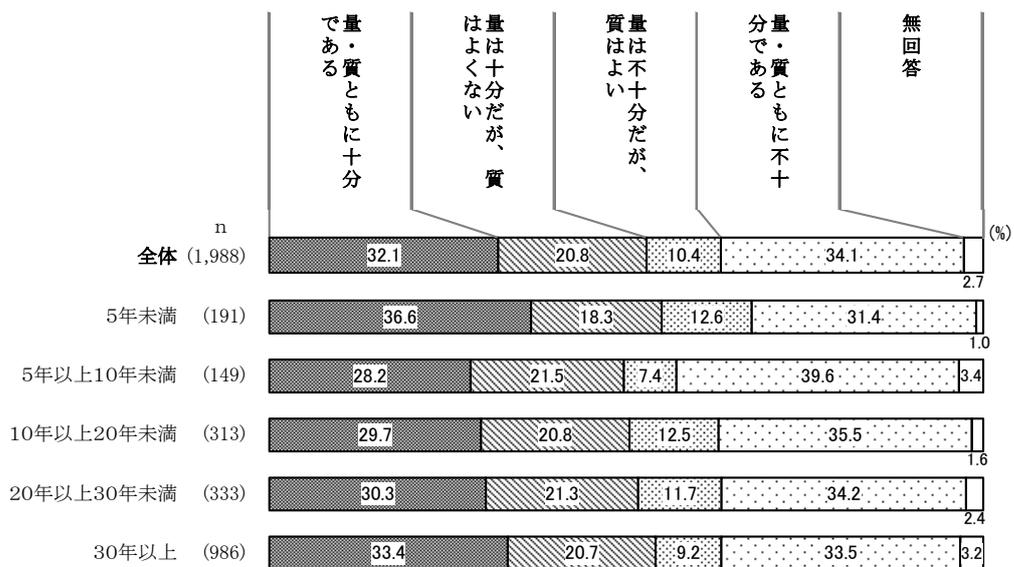
一方、「量・質ともに不十分である」は、【若林区】で44.3%、【宮城野区】で42.8%と、他の地区に比べて多くなっている。

● 現在の住まい別 ●



現在の住まい別にみると、「量・質ともに不十分である」は、【集合住宅】で40.5%と、【一戸建て】(31.0%)に比べて多くなっている。

● 居住年数別 ●

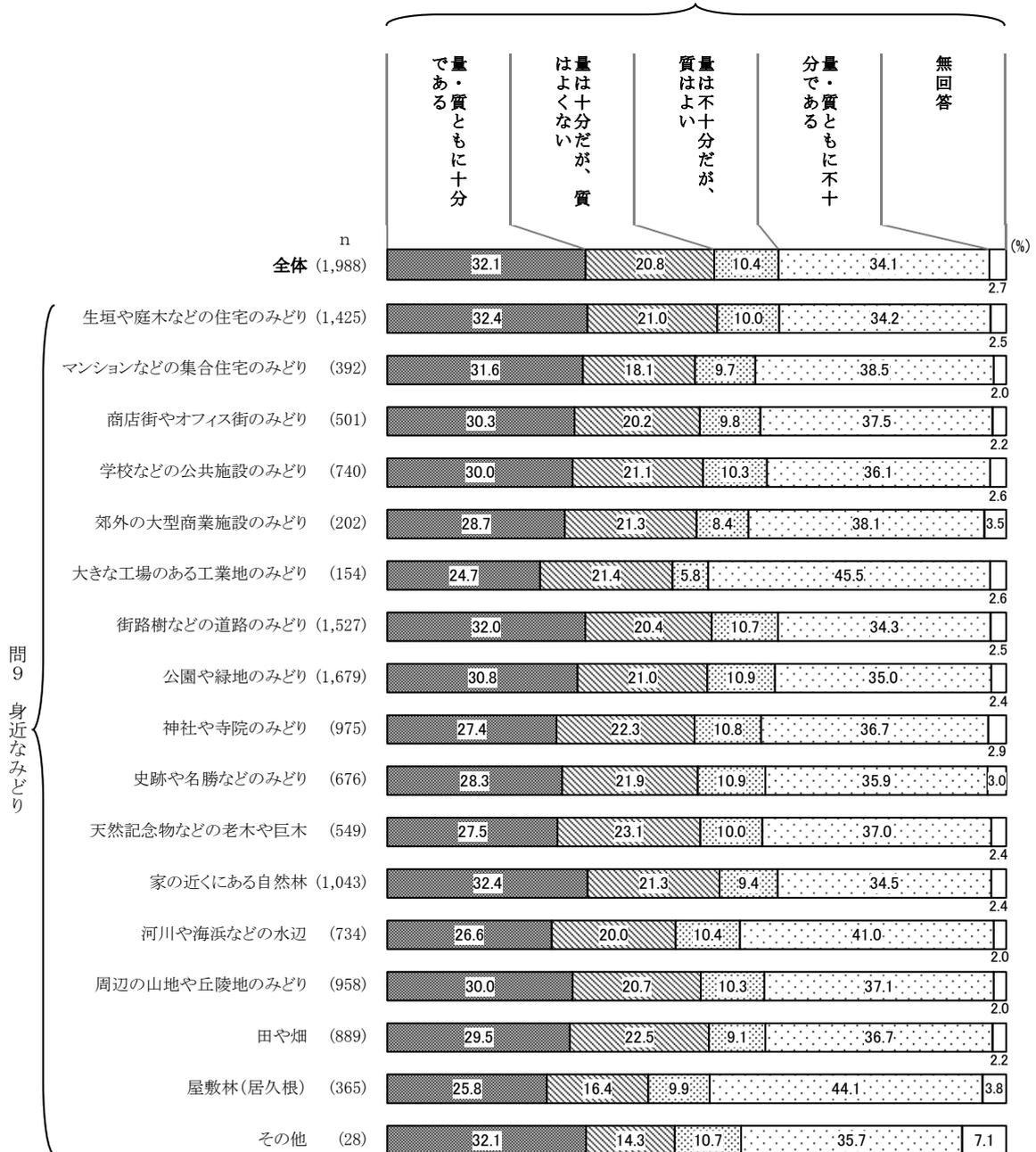


居住年数別にみると、「量・質ともに十分である」は、【5年未満】で36.6%と、最も多くなっている。

また、【5年以上10年未満】以降は、居住年数が長くなるに従って、「量・質ともに十分である」が多くなる傾向にある。

● 身近なみどり (問9) 別 ●

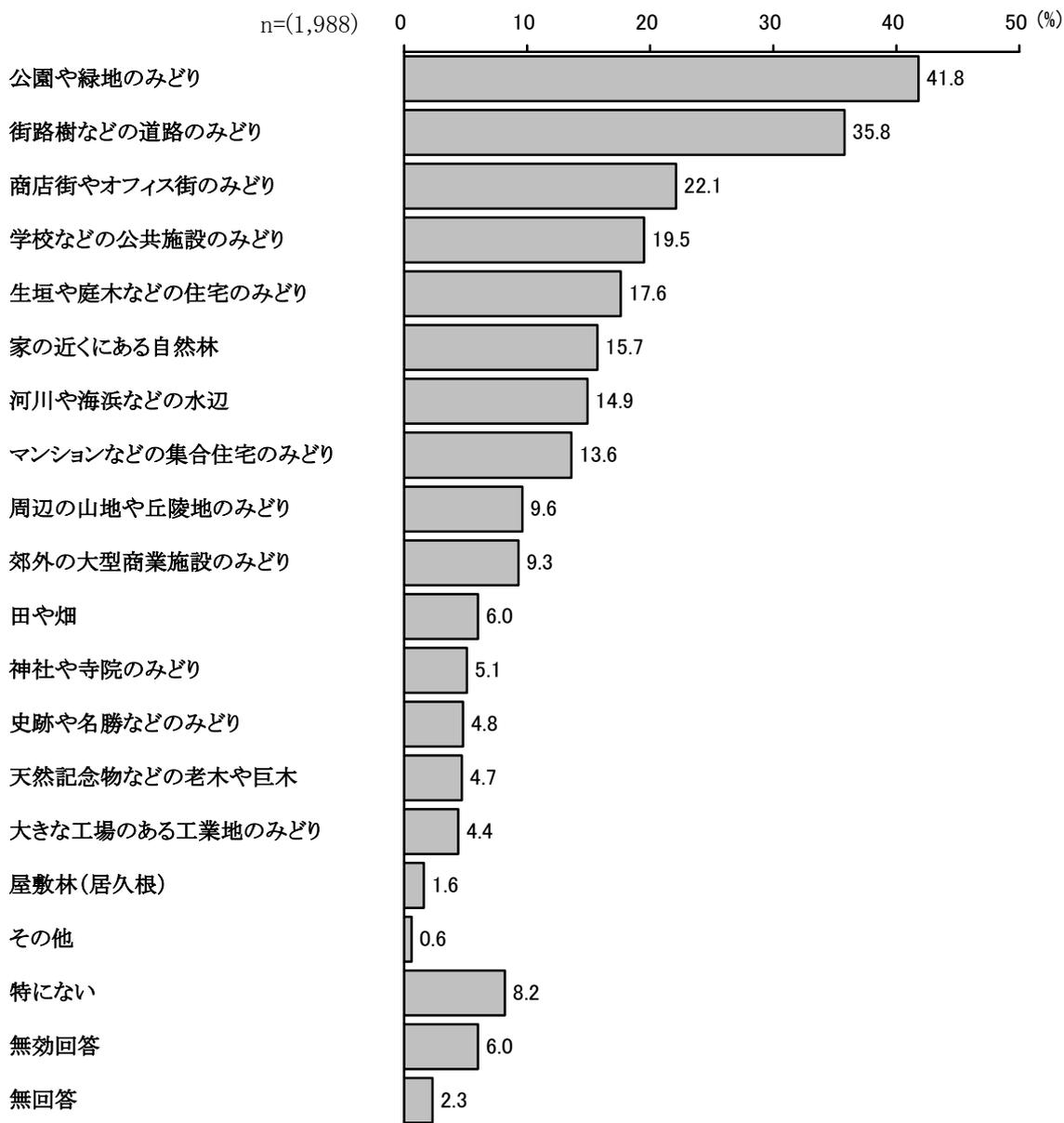
問10 身近なみどりの満足度



身近なみどり別にみると、「量・質ともに不十分である」は、【大きな工場のある工業地のみどり】(45.5%)、【屋敷林(居久根)】(44.1%)、【河川や海浜などの水辺】(41.0%)で4割を超えている。

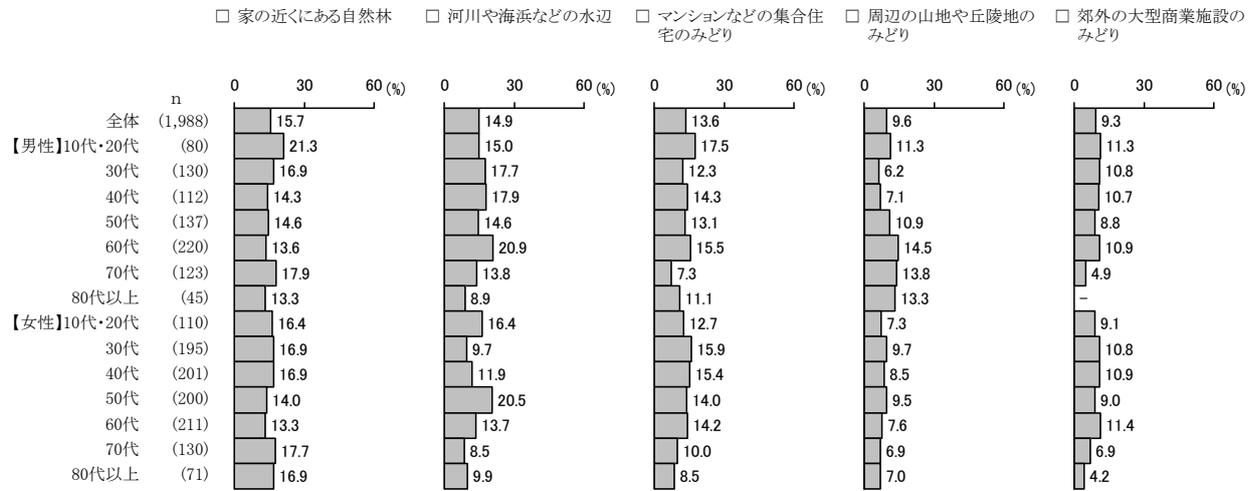
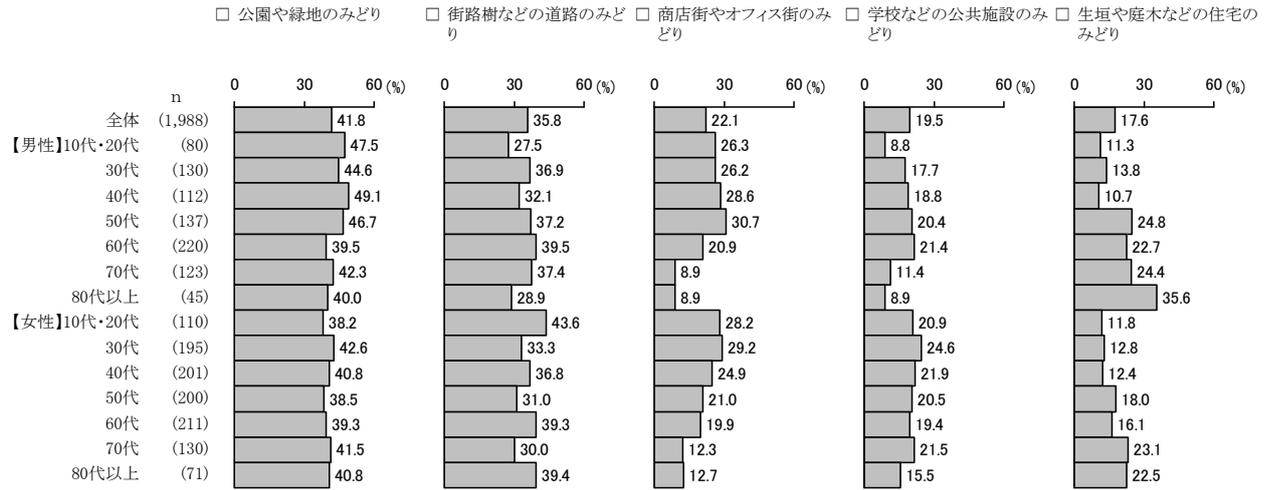
(3) 欲しいと思う身近なみどり

問 11 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。(あてはまる番号3つに○)



欲しいと思う身近なみどりについては、「公園や緑地のみどり」(41.8%)が最も多く、以下「街路樹などの道路のみどり」(35.8%)、「商店街やオフィス街のみどり」(22.1%)、「学校などの公共施設のみどり」(19.5%)、「生垣や庭木などの住宅のみどり」(17.6%)、「家の近くにある自然林」(15.7%)、「河川や海浜などの水辺」(14.9%)、「マンションなどの集合住宅のみどり」(13.6%)となっている。

● 性年齢別 ●



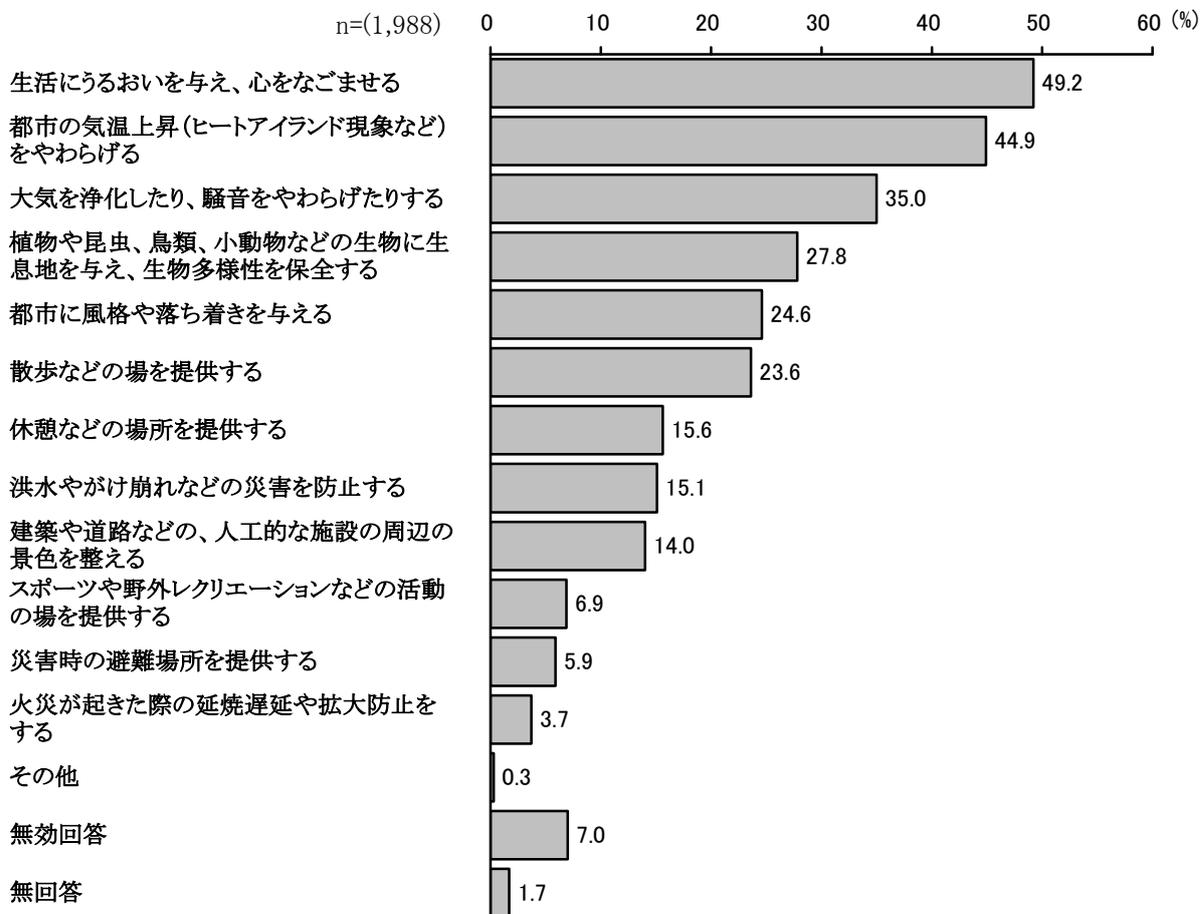
※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「商店街やオフィス街のみどり」は、男性の【50代】、女性の【30代】をピークとして、以降の年齢では減少している。

(4) 身近なみどりに期待する機能

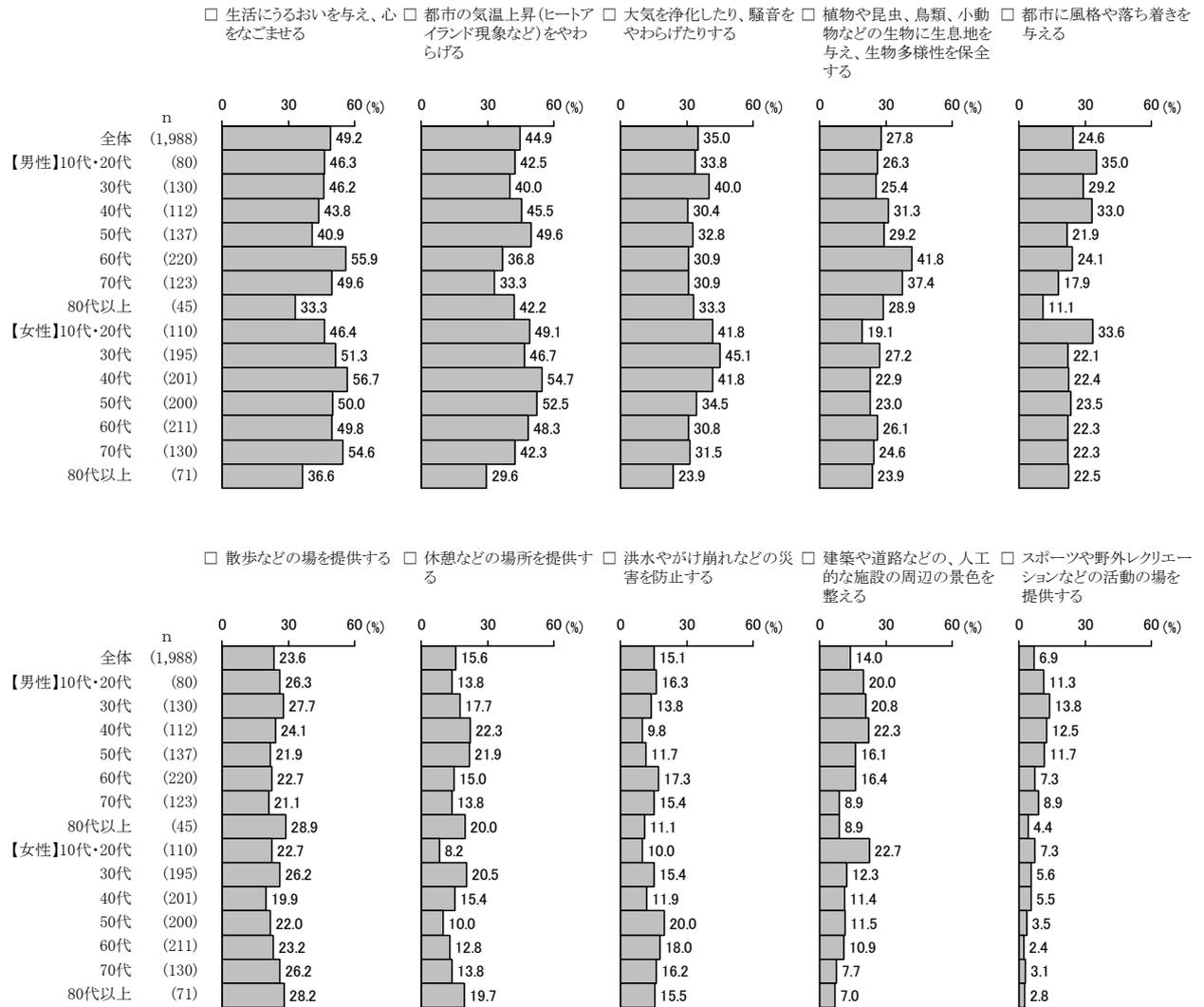
問 12 身近なみどりは市民の皆さまの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。
 身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

(あてはまる番号3つに○)



身近なみどりに期待する機能については、「生活にうるおいを与え、心をなごませる」(49.2%)が最も多く、以下「都市の気温上昇(ヒートアイランド現象など)をやわらげる」(44.9%)、「大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする」(35.0%)となっている。

● 性年齢別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

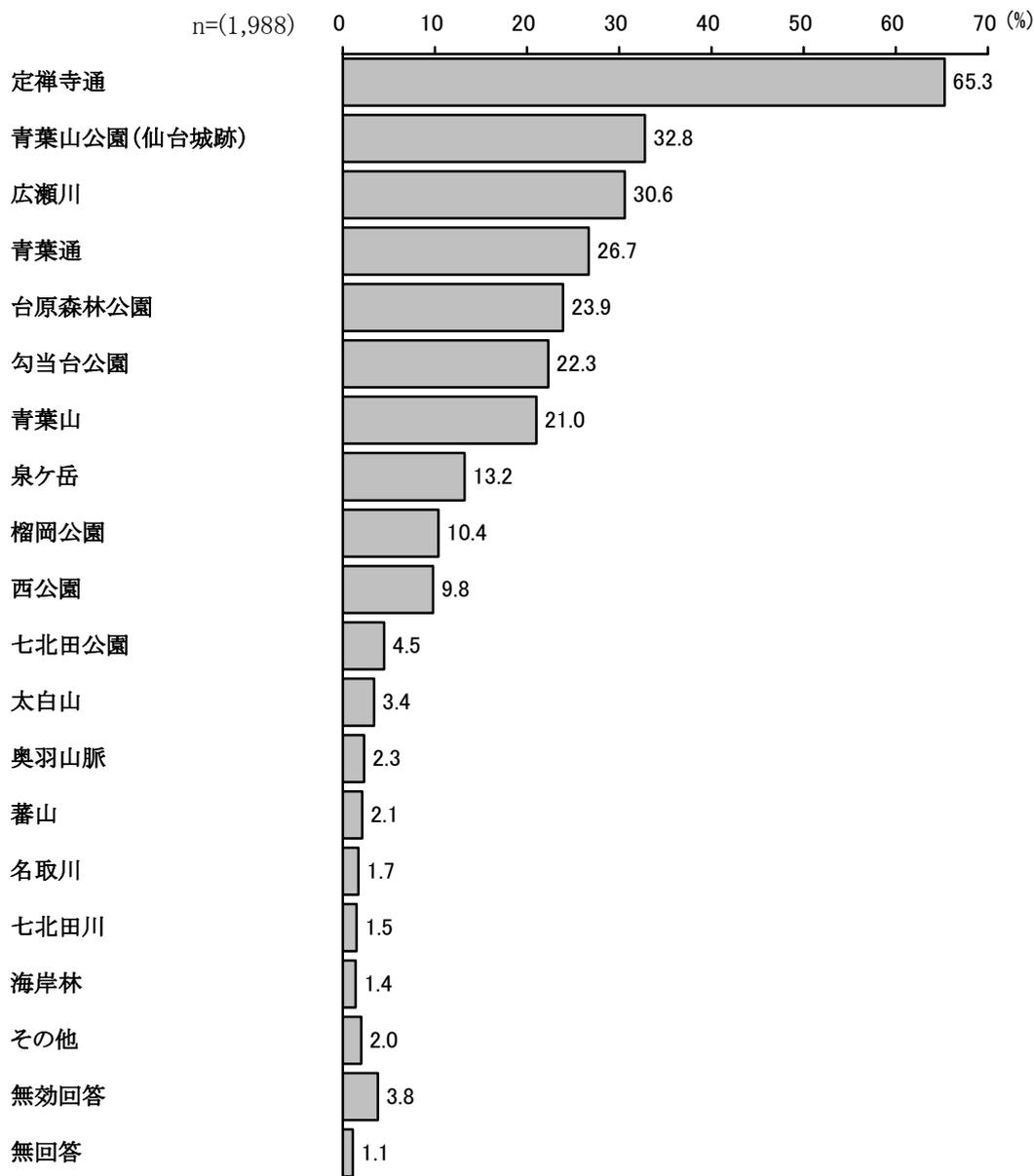
性年齢別にみると、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する」は、男性の【60代】(41.8%)及び【70代】(37.4%)で4割前後と多くなっている。

また、「都市に風格や落ち着きを与える」は、男性の【10代・20代】(35.0%)及び【40代】(33.0%)、女性の【10代・20代】(33.6%)で3割を超えている。

2. 「杜の都」という言葉について

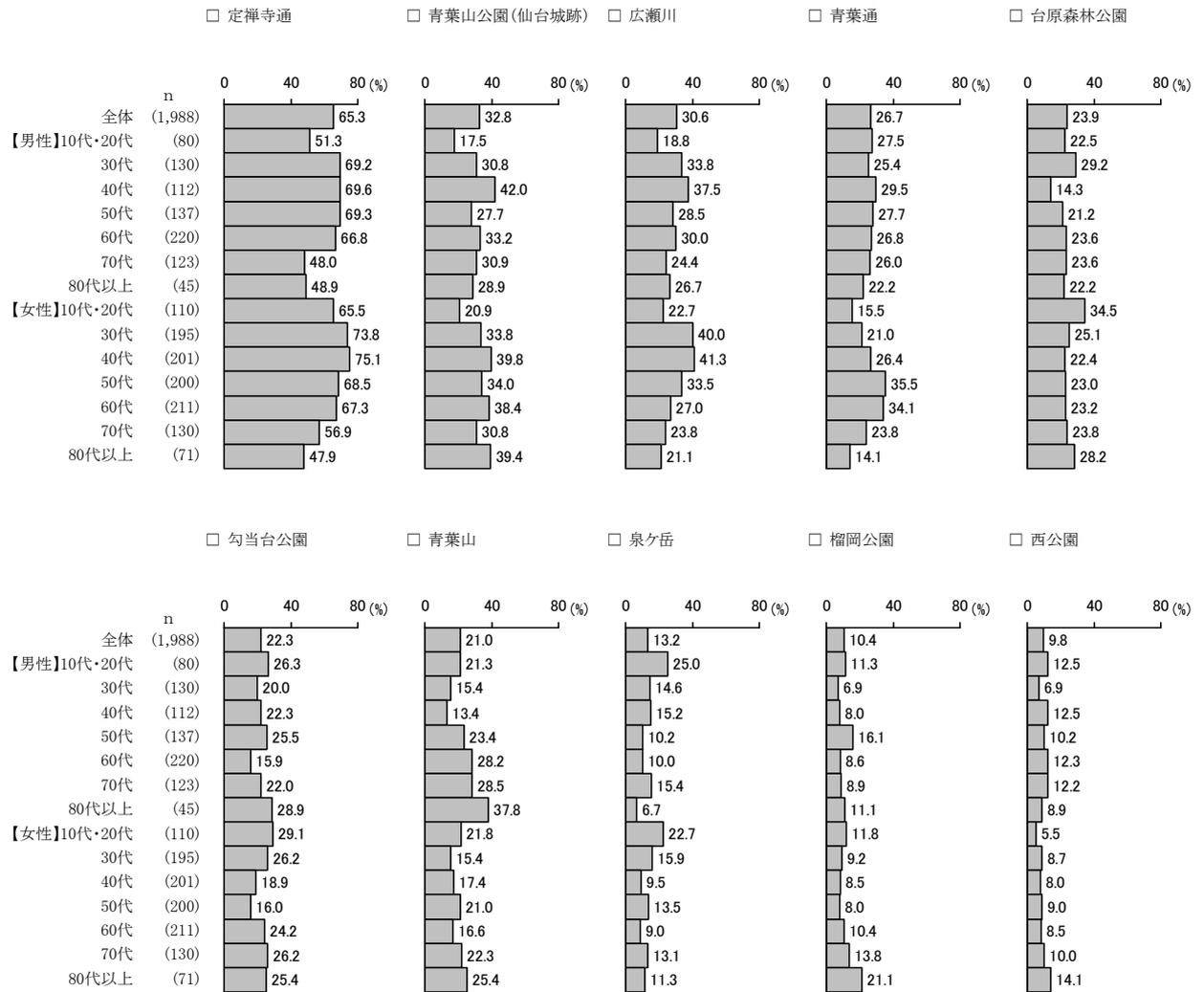
(1) 杜の都を代表するみどり

問 13 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。(あてはまる番号3つに○)



杜の都を代表するみどりについては、「定禅寺通」(65.3%)が最も多く、以下「青葉山公園(仙台北城跡)」(32.8%)、「広瀬川」(30.6%)、「青葉通」(26.7%)、「台原森林公園」(23.9%)、「勾当台公園」(22.3%)、「青葉山」(21.0%)となっている。

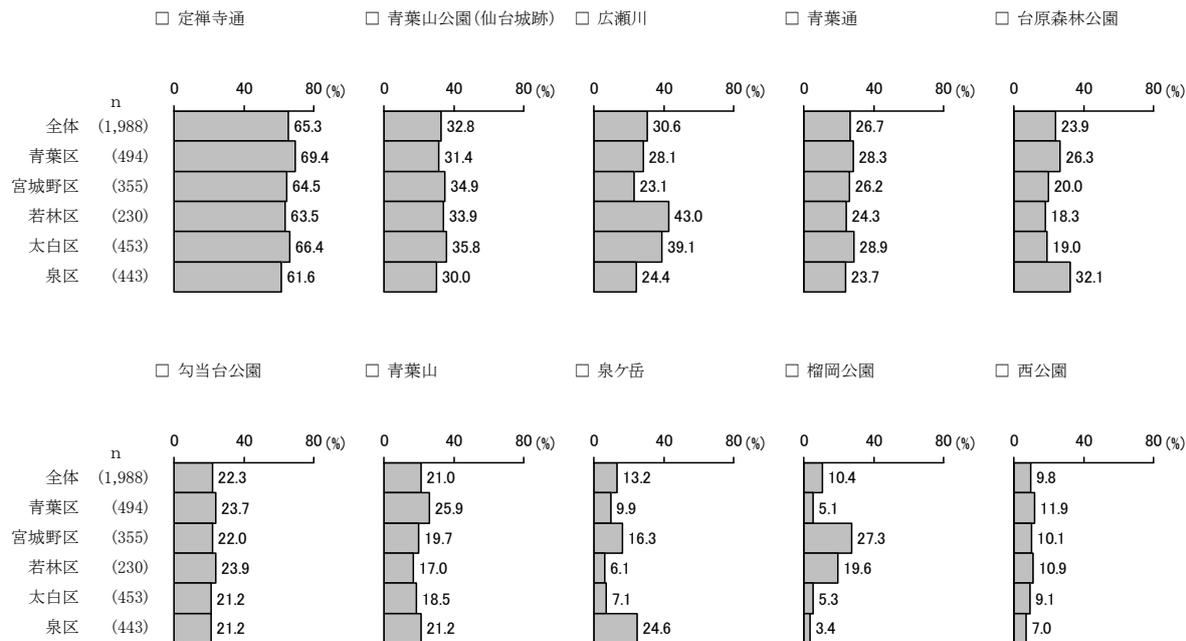
● 性年齢別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、女性では、「定禅寺通」は【40代】(75.1%)、「広瀬川」は【40代】(41.3%)、「青葉通」は【50代】(35.5%)をそれぞれピークとして、以降の年齢では減少している。

● 居住地区別 ●

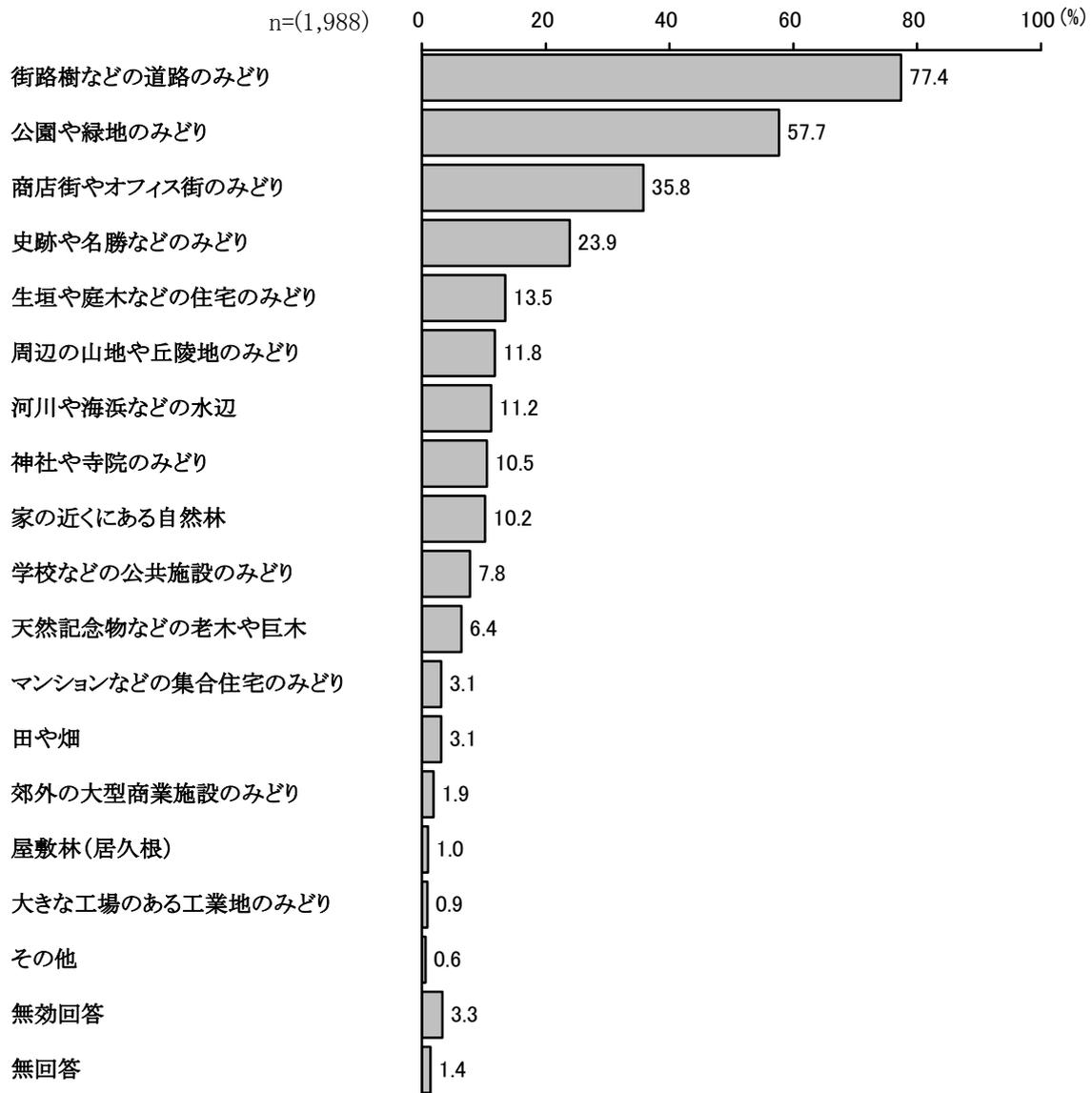


※上位 10 項目のみ抜粋

居住地区別にみると、「広瀬川」は【若林区】(43.0%) 及び【太白区】(39.1%)、「泉ヶ岳」は【泉区】(24.6%)、「榴岡公園」は【宮城野区】(27.3%) で、それぞれ他の地区に比べて多くなっている。

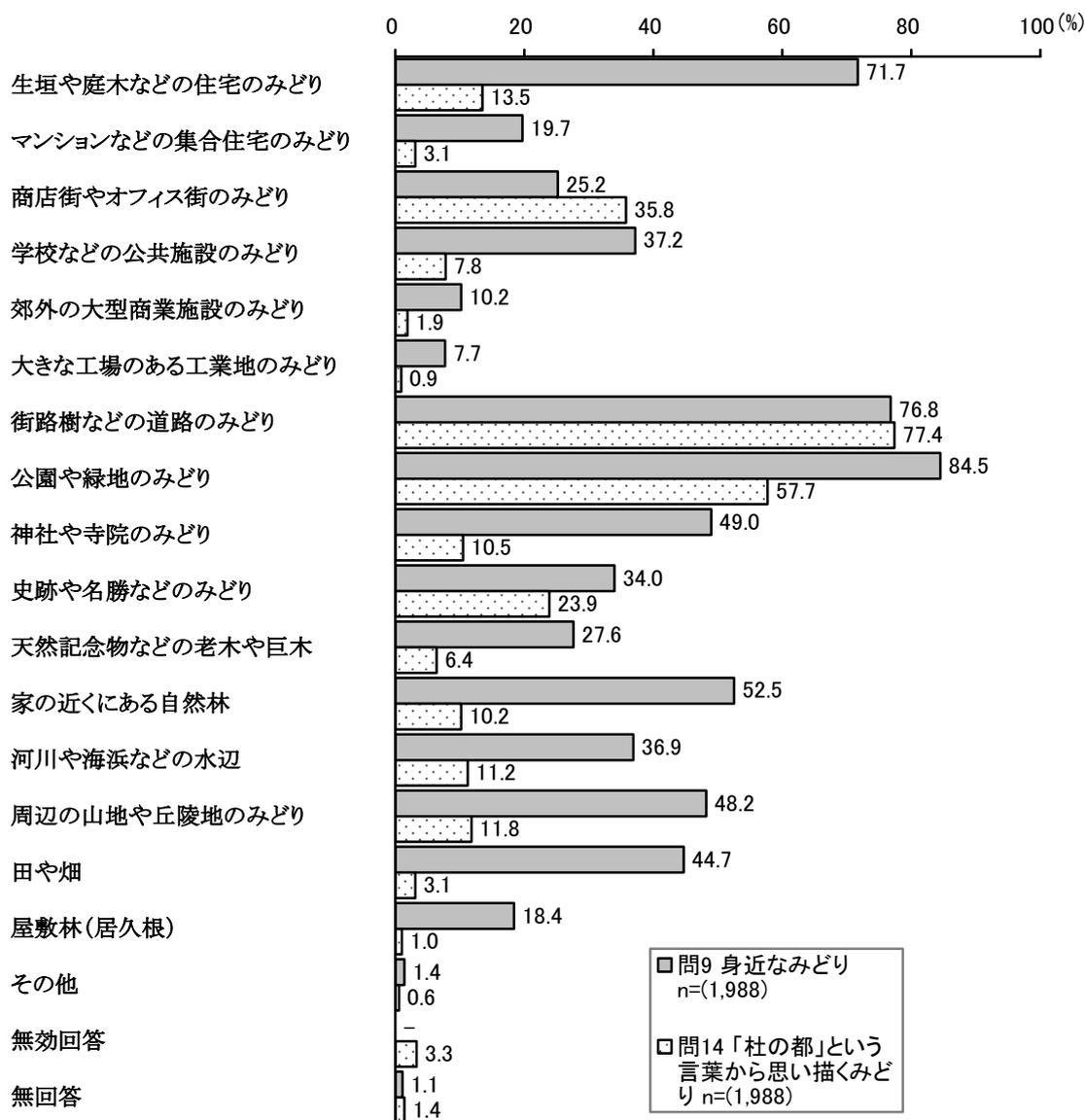
(2)「杜の都」という言葉から思い描くみどり

問 14 「杜の都」という言葉からあなたが思い描く街は、どのようなみどりが沢山ある街ですか。(あてはまる番号3つに○)



「杜の都」という言葉から思い描くみどりについては、「街路樹などの道路のみどり」(77.4%)が最も多く、以下「公園や緑地のみどり」(57.7%)、「商店街やオフィス街のみどり」(35.8%)、「史跡や名勝などのみどり」(23.9%)となっている。

● 身近なみどりと杜の都のみどりの比較 ●



『問9 身近なみどり』(21 ページ参照) と、『問14 「杜の都」という言葉から思い描くみどり』を比較すると、「街路樹などの道路のみどり」、「公園や緑地のみどり」は、両設間に共通して多い。

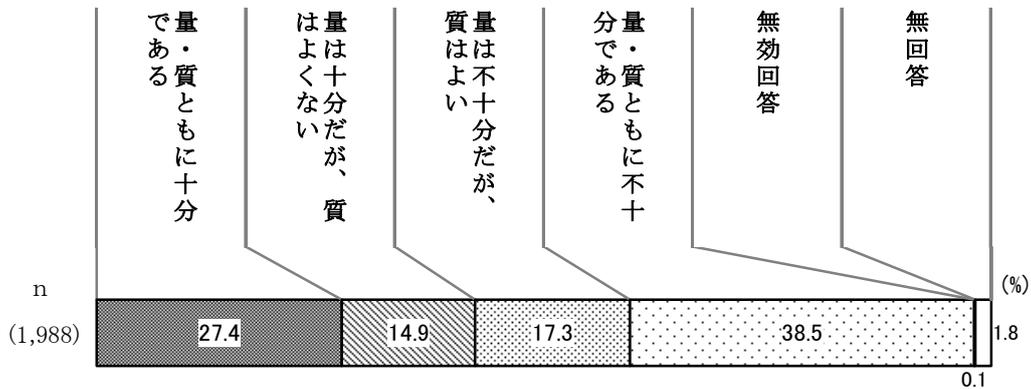
また、「生垣や庭木などの住宅のみどり」は、身近なみどりでは71.7%と多いが、「杜の都」という言葉から思い描くみどりでは13.5%と少なくなっている。一方、「商店街やオフィス街のみどり」は、身近なみどりでは25.2%となっているが、「杜の都」という言葉から思い描くみどりでは、35.8%と多くなっている。

(3) 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度

問 15 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

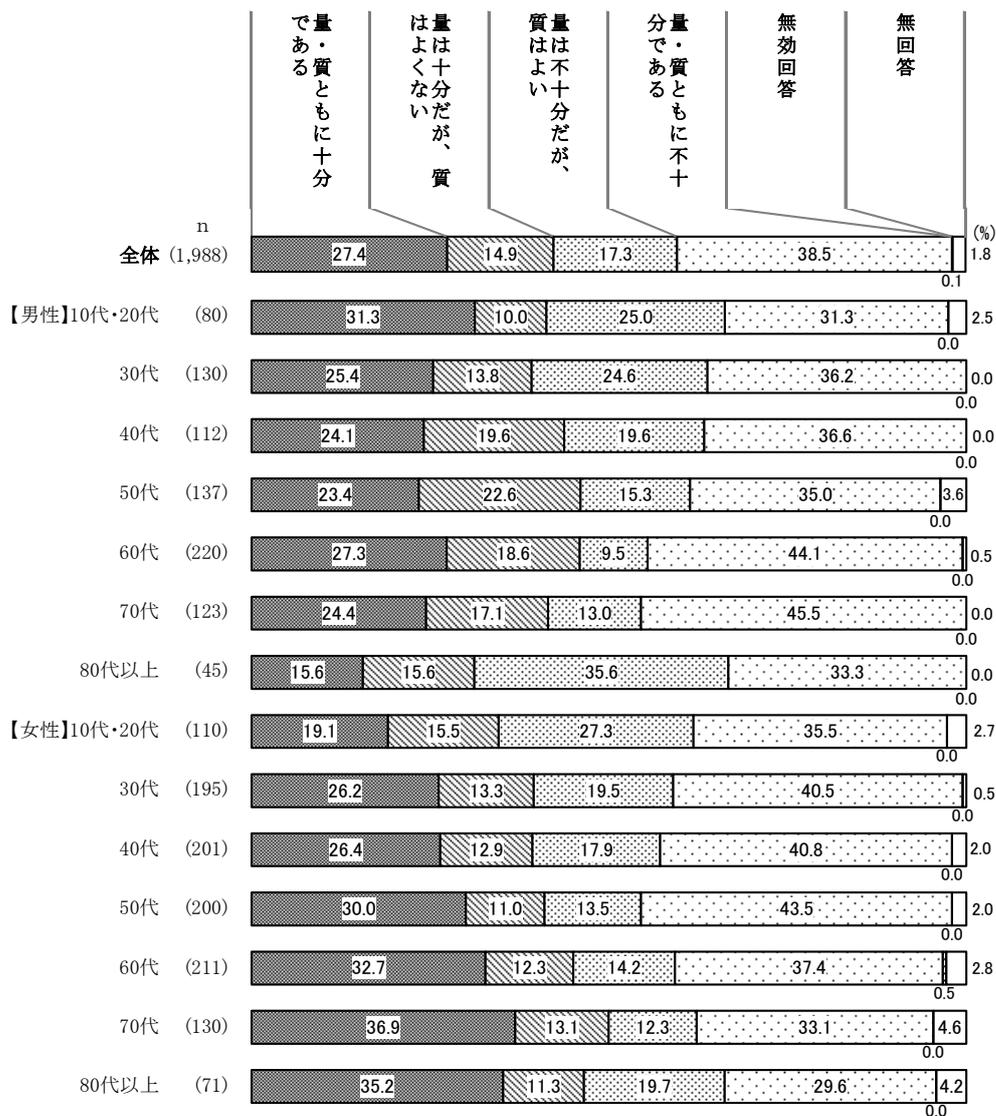
「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し（いやし）になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)



「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度については、「量・質ともに不十分である」(38.5%)が最も多く、以下「量・質ともに十分である」(27.4%)、「量は不十分だが、質はよい」(17.3%)、「量は十分だが、質はよくない」(14.9%)となっている。

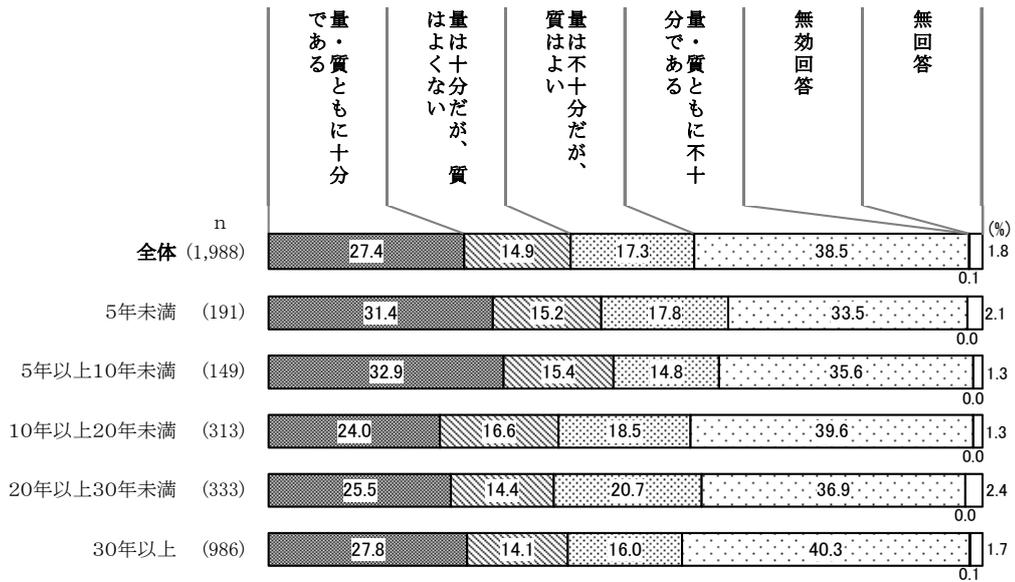
● 性年齢別 ●



性年齢別にみると、男性では、【10代・20代】から【70代】にかけて、「量・質ともに不十分である」が、概ね年齢が上がるに従って多くなる傾向にある。

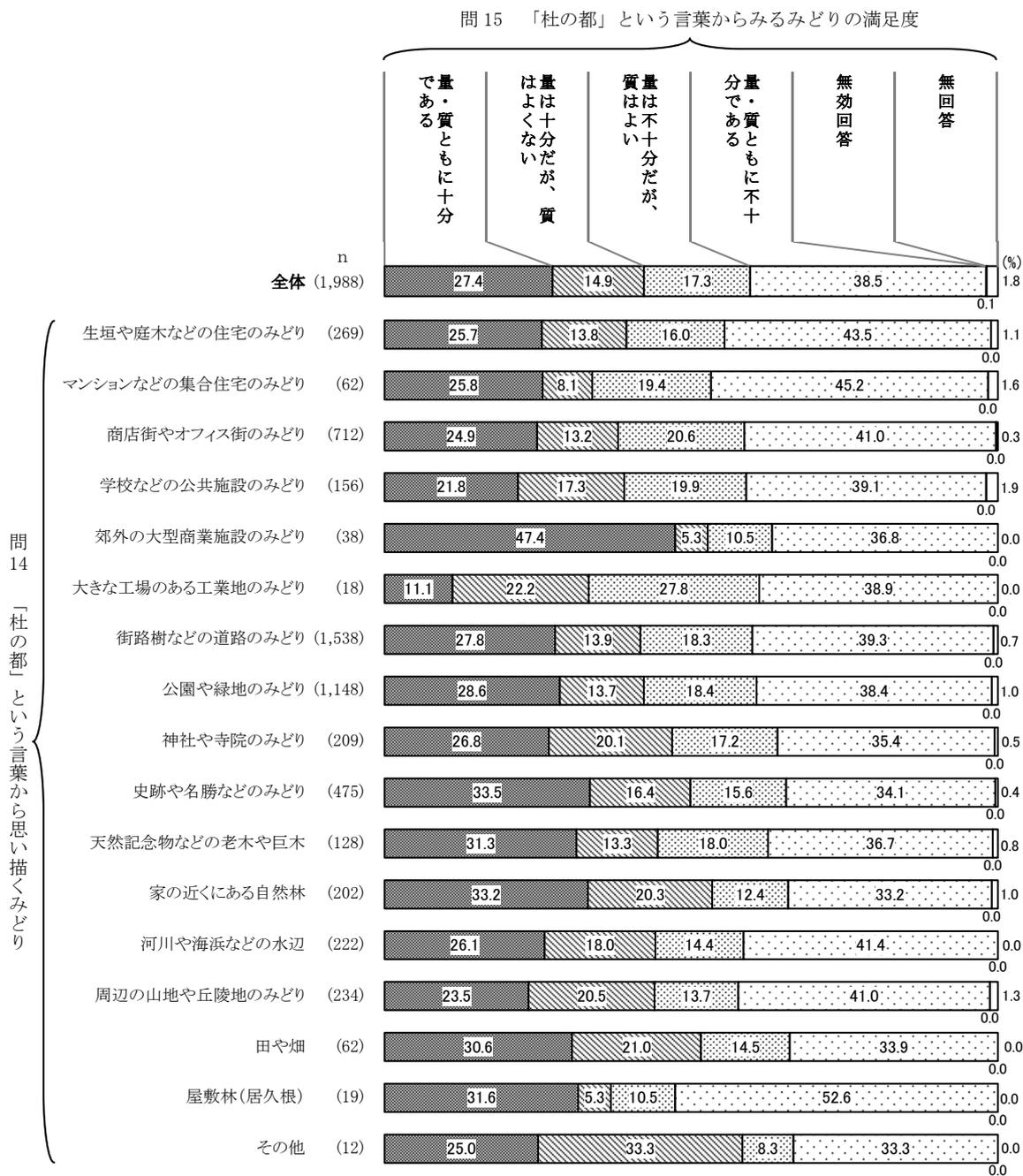
一方、女性では【10代・20代】から【70代】にかけて、「量・質ともに十分である」が、年齢が上がるに従って多くなる傾向にある。

● 居住年数別 ●



居住年数別にみると、「量・質ともに十分である」は、【5年未満】(31.4%)、【5年以上10年未満】(32.9%)で3割台と、他の居住年数に比べて多くなっている。

● 「杜の都」という言葉から思い描くみどり (問14) 別 ●



「杜の都」という言葉から思い描くみどり別にみると、「量・質ともに十分である」は、【郊外の大型商業施設のみどり】(47.4%)、【史跡や名勝などのみどり】(33.5%)、【家の近くにある自然林】(33.2%)、【天然記念物などの老木や巨木】(31.3%)、【田や畑】(30.6%)で3割を超え、多くなっている。

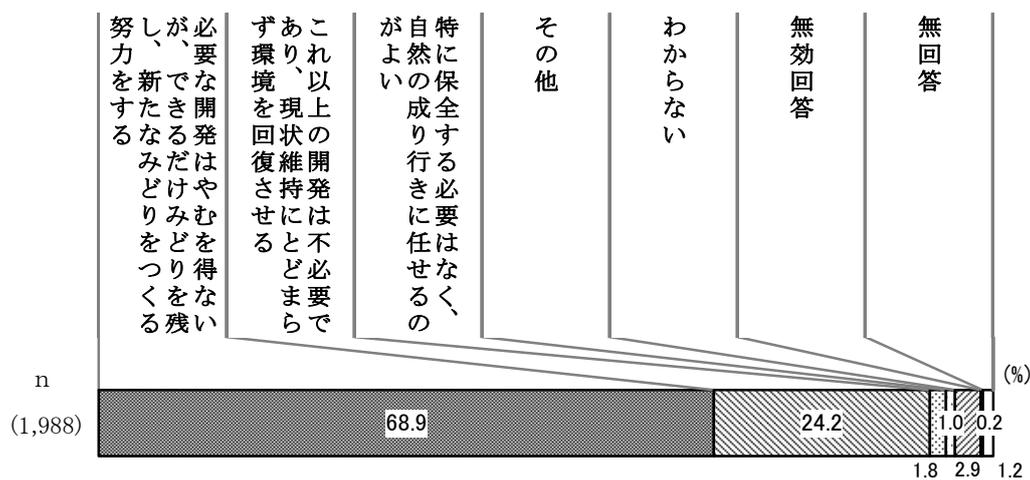
一方、「量・質ともに不十分である」は、【マンションなどの集合住宅のみどり】(45.2%)、【生垣や庭木などの住宅のみどり】(43.5%)、【河川や海浜などの水辺】(41.4%)、【商店街やオフィス街のみどり】(41.0%)、【周辺の山地や丘陵地のみどり】(41.0%)で4割を超え、多くなっている。

3. みどりのまちづくりについて

(1) 樹林地などの身近なみどりの保全について

①自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性

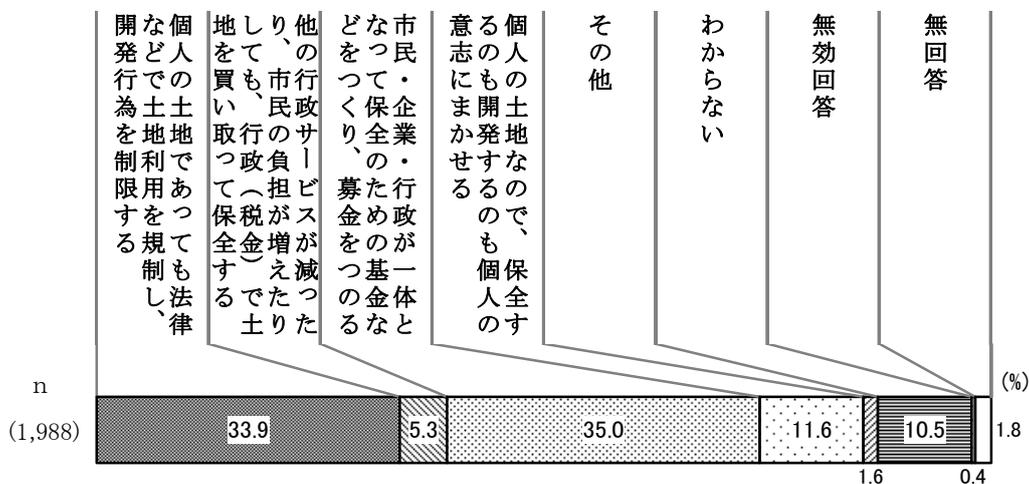
問 16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)



自然のみどりの保全と都市開発との調和の方向性については、「必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする」が 68.9%を占めている。次に「これ以上の開発は不必要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる」(24.2%)となっている。

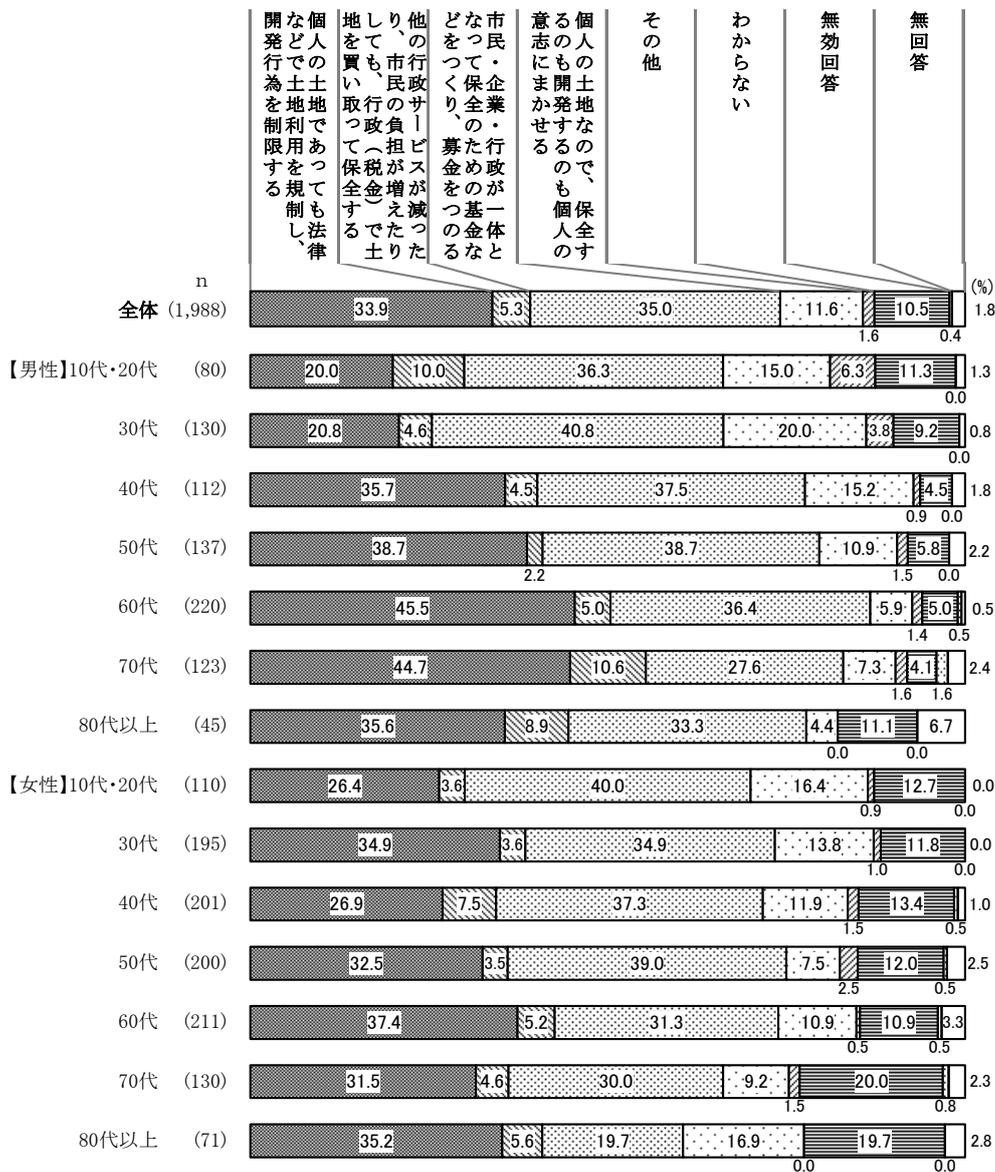
②私有地のみどりの保全方法

問 17 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。
(あてはまる番号1つに○)



私有地のみどりの保全方法については、「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」(35.0%)、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」(33.9%) がともに多くなっている。

● 性年齢別 ●



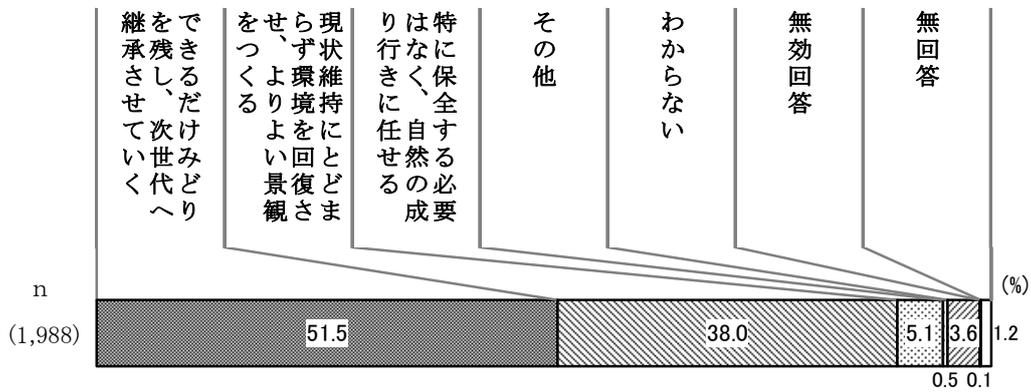
性年齢別にみると、男女ともに【60代以上】では、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」が最も多くなっている。

男性の【40代以下】、女性の【10代・20代】、【40代】、【50代】では、「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」が最も多くなっている。

男性の【50代】及び女性の【30代】では、「個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する」と「市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつのる」が同率となっている。

③屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性

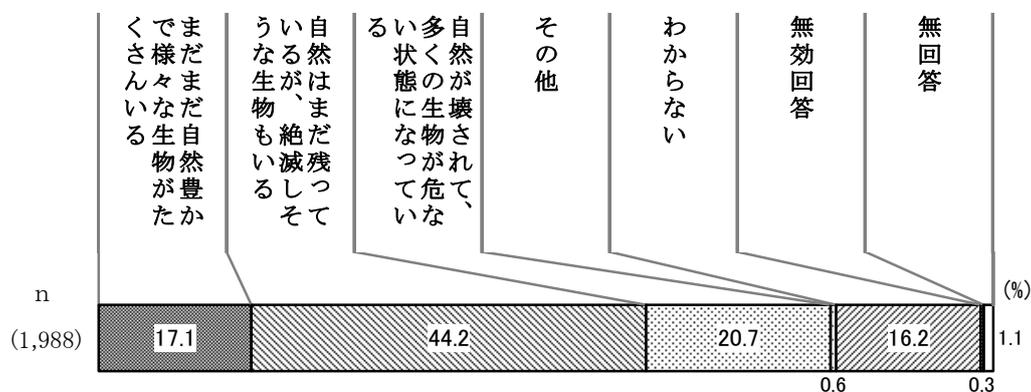
問 18 市街地や田園地帯に点在する屋敷林（居久根）や社寺林の保全について、どのようにしていきべきだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）



屋敷林（居久根）や社寺林の保全の方向性については、「できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく」（51.5%）が最も多く、以下「現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる」（38.0%）となっている。

④仙台市の生物多様性の印象

問 19 仙台市の生物多様性の現状について、あなたはどのような印象を持っていますか。生物多様性とは、様々な種類の生物がいたり、生物が暮らす自然環境が豊富にあるなどのことです。(あてはまる番号1つに○)

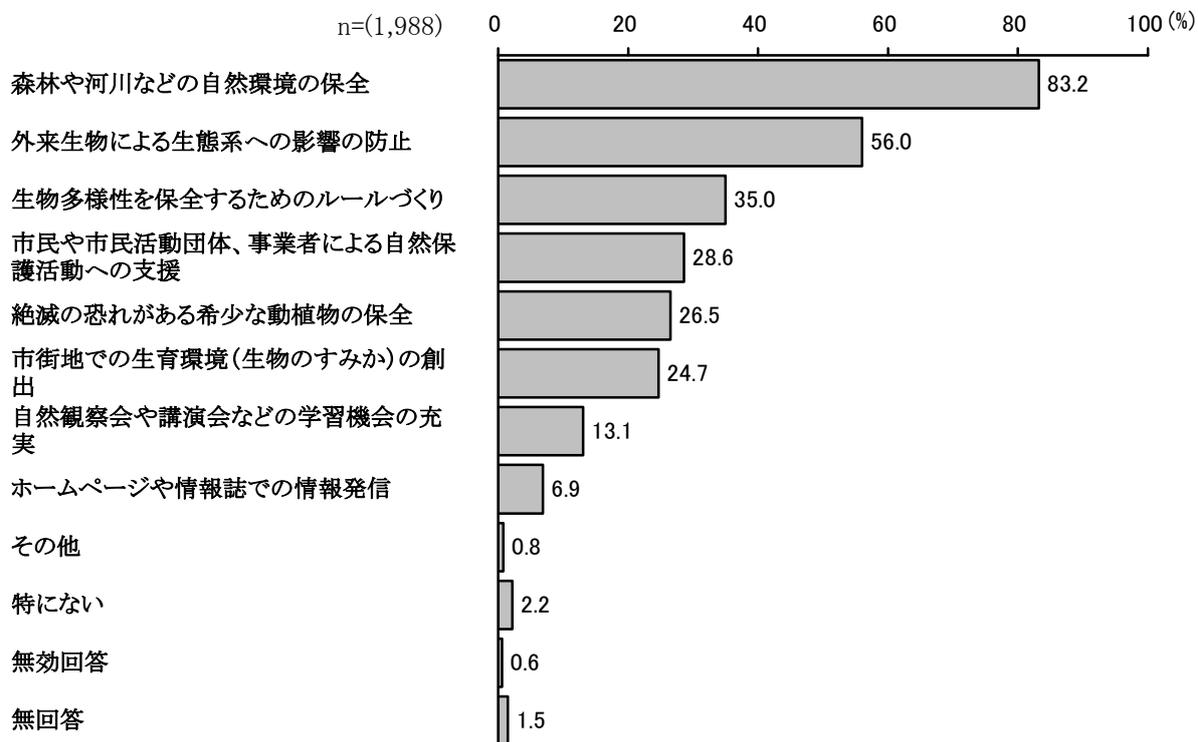


仙台市の生物多様性の印象については、「自然はまだ残っているが、絶滅しそうな生物もいる」(44.2%)が最も多く、以下「自然が壊されて、多くの生物が危ない状態になっている」(20.7%)、「まだまだ自然豊かで様々な生物がたくさんいる」(17.1%)となっている。
 なお、「わからない」は16.2%となっている。

⑤生物多様性の保全・回復に必要な取り組み

問 20 生物多様性を保全・回復するために、特に必要な取り組みは何だと思えますか。

(あてはまる番号3つに○)

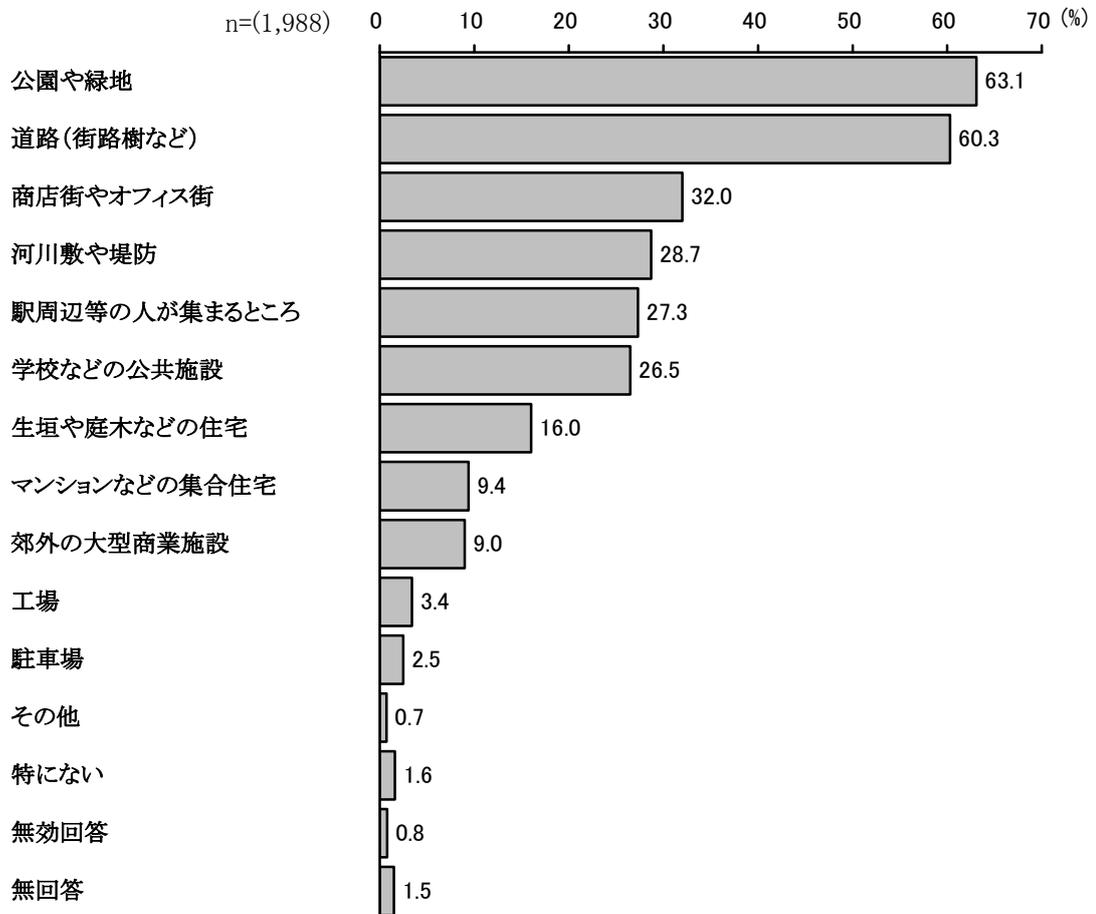


生物多様性の保全・回復に必要な取り組みについては、「森林や河川などの自然環境の保全」(83.2%)が最も多く、以下「外来生物による生態系への影響の防止」(56.0%)、「生物多様性を保全するためのルールづくり」(35.0%)となっている。

(2) 市街地の緑化について

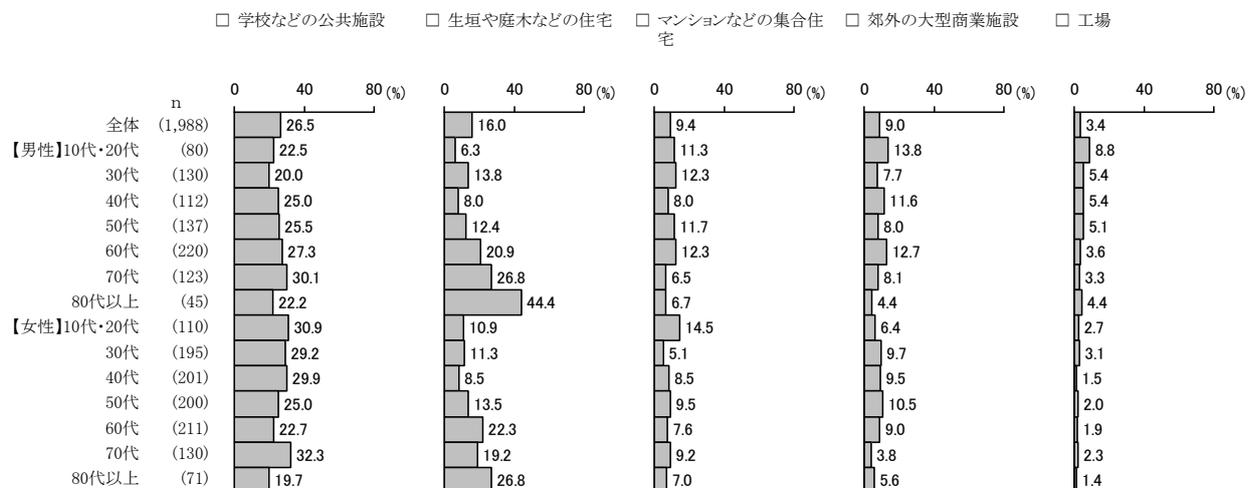
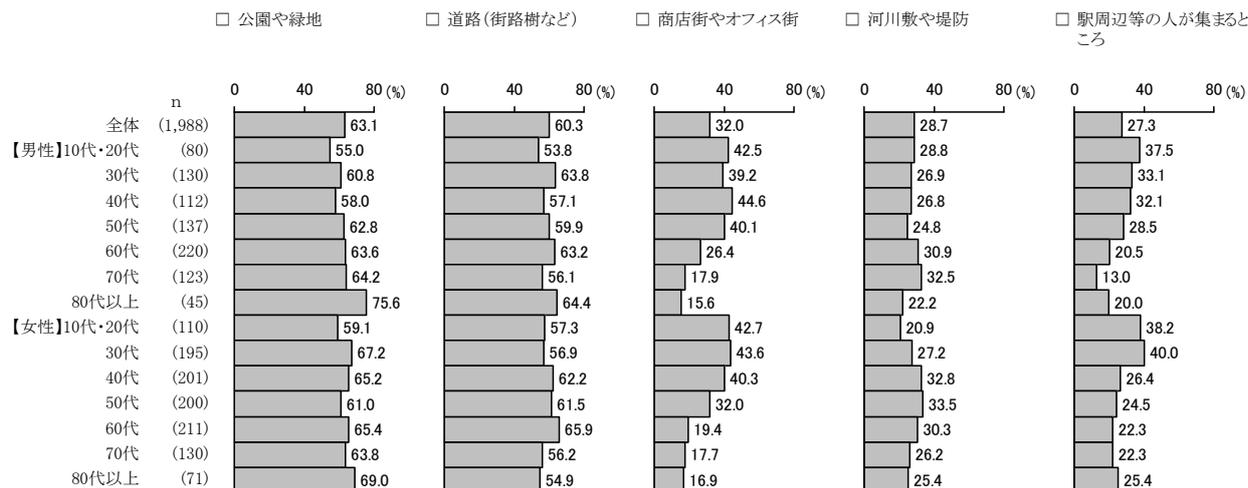
①重点を置くべき緑化箇所

問 21 市街地の緑化を進めるにあたり、どこに重点を置くべきだと思いますか。
(あてはまる番号3つに○)



重点を置くべき緑化箇所については、「公園や緑地」(63.1%)が最も多く、以下「道路(街路樹など)」(60.3%)、「商店街やオフィス街」(32.0%)、「河川敷や堤防」(28.7%)、「駅周辺等の人が集まる場所」(27.3%)、「学校などの公共施設」(26.5%)となっている。

● 性年齢別 ●



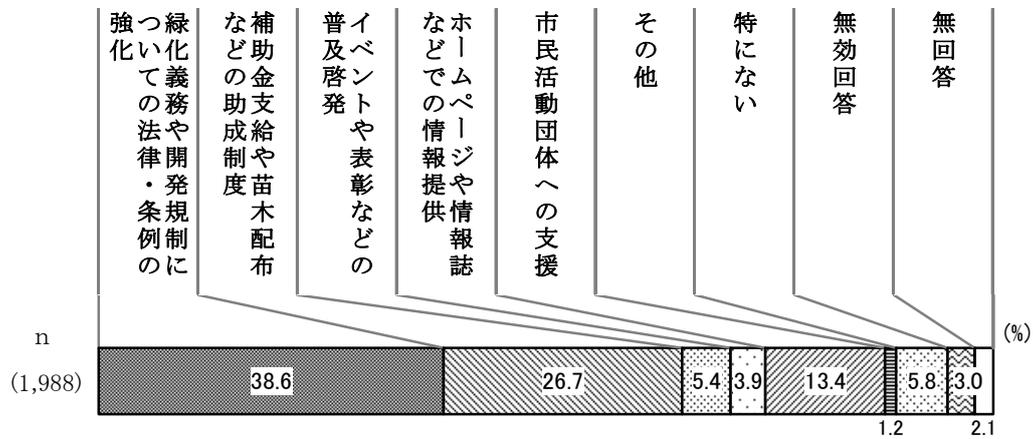
※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「商店街やオフィス街」は、男女ともに【60代以上】で3割未満と、少ない一方、【40代以下】では4割前後と多くなっている。

また、「駅周辺等の人が集まる場所」は男性の【10代・20代】、女性の【30代以下】で多く、「生垣や庭木などの住宅」は男性の【70代以上】、女性の【80代以上】で多くなっている。

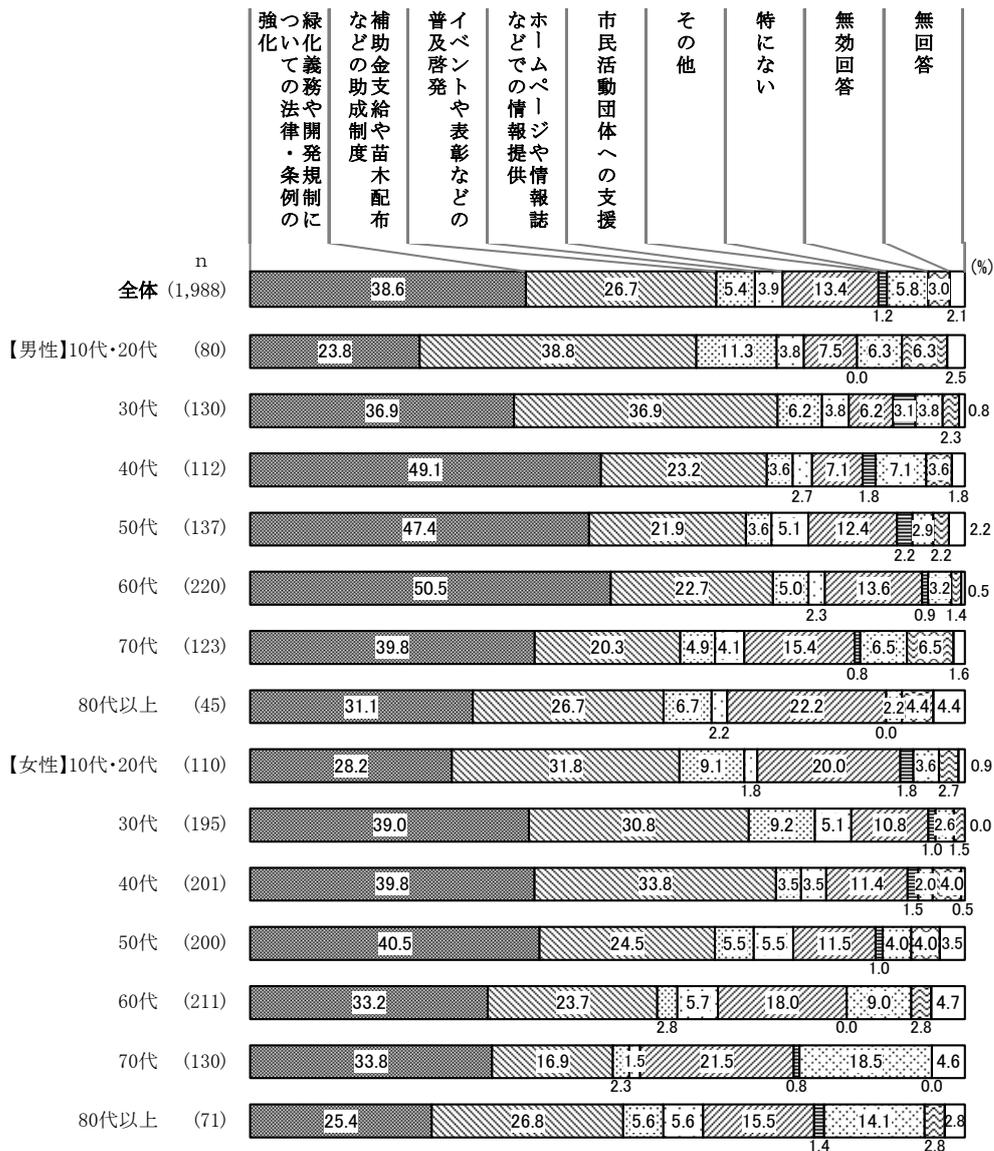
②みどりの増加に必要な行政の取り組み

問 22 市街地のみどりを増やすために行政が行う取り組みで、特に必要なものは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)



みどりの増加に必要な行政の取り組みについては、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」(38.6%)が最も多く、以下「補助金支給や苗木配布などの助成制度」(26.7%)、「市民活動団体への支援」(13.4%)となっている。

● 性年齢別 ●



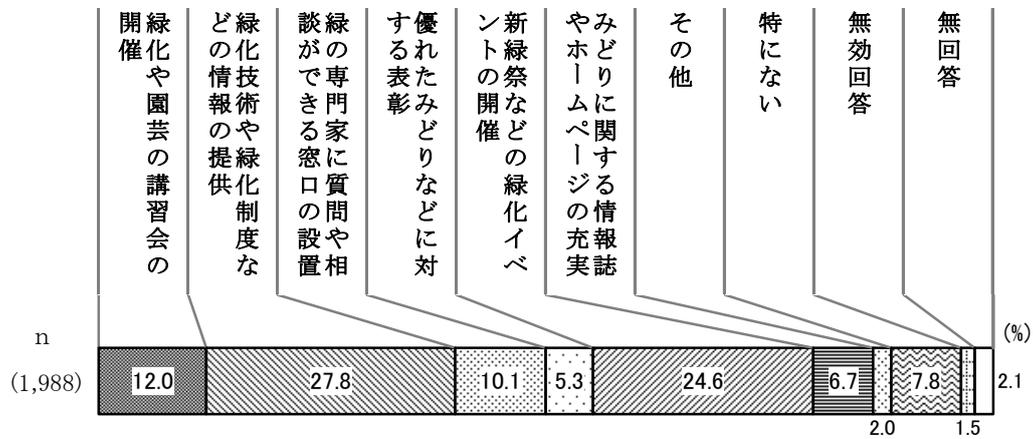
性年齢別にみると、「緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化」は、男性の【40代】から【60代】で5割前後と、他の性年齢に比べて多くなっている。

また、「補助金支給や苗木配布などの助成制度」は、男性の【30代以下】及び女性の【40代以下】で3割台と、他の性年齢に比べて多くなっている。

③緑化活動に必要な行政の支援

問 23 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。

(あてはまる番号1つに○)



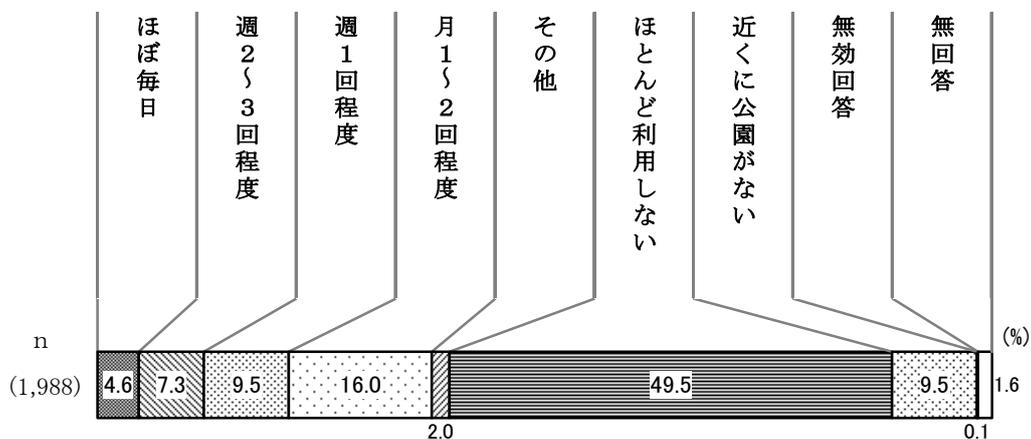
緑化活動に必要な行政の支援については、「緑化技術や緑化制度などの情報の提供」(27.8%)が最も多く、以下「新緑祭などの緑化イベントの開催」(24.6%)、「緑化や園芸の講習会の開催」(12.0%)、「緑の専門家に質問や相談ができる窓口の設置」(10.1%)となっている。

(3) 公園について

①住まいの近くの公園の利用頻度

問 24 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。

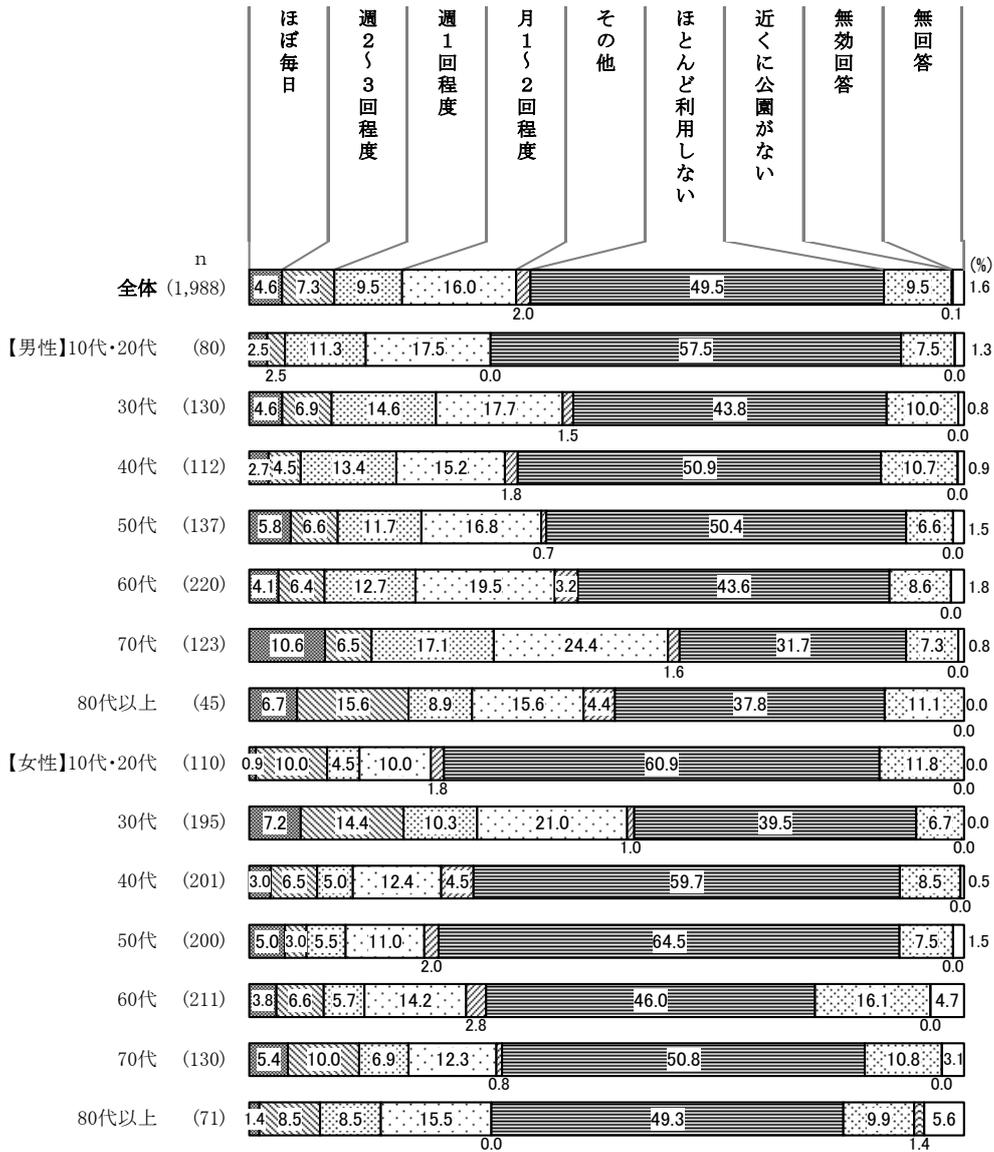
「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて5分～10分程度の場所にある公園のことです。(あてはまる番号1つに○)



住まいの近くの公園の利用頻度については、「月1～2回程度」が16.0%で、これに「週1回程度」(9.5%)、「週2～3回程度」(7.3%)、「ほぼ毎日」(4.6%)を合わせた《利用している》は37.4%となっている。

なお、「近くに公園がない」は9.5%、「ほとんど利用しない」は49.5%となっている。

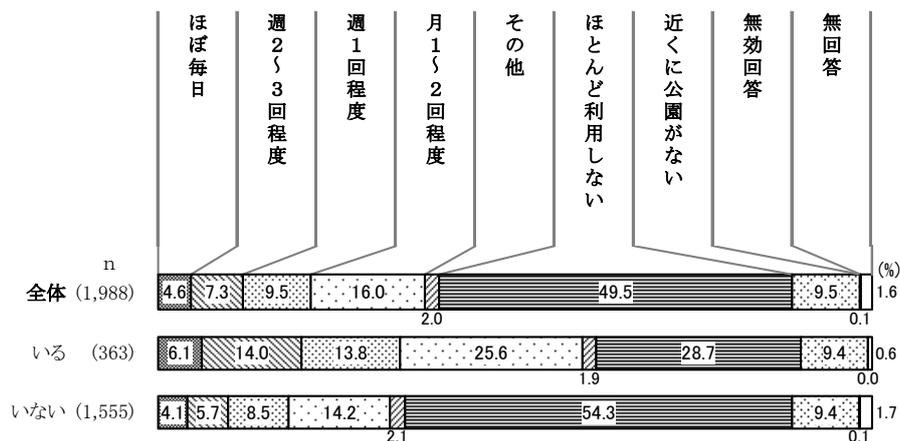
● 性年齢別 ●



性年齢別にみると、「利用している」は、男性の【70代】(58.6%)及び女性の【30代】(52.9%)で5割を超え、他の性年齢に比べて多くなっている。

性別全体でみると【30代】を除き、女性より男性のほうが「利用している」割合が多くなっている。

● 小学生以下の子どもの有無別 ●

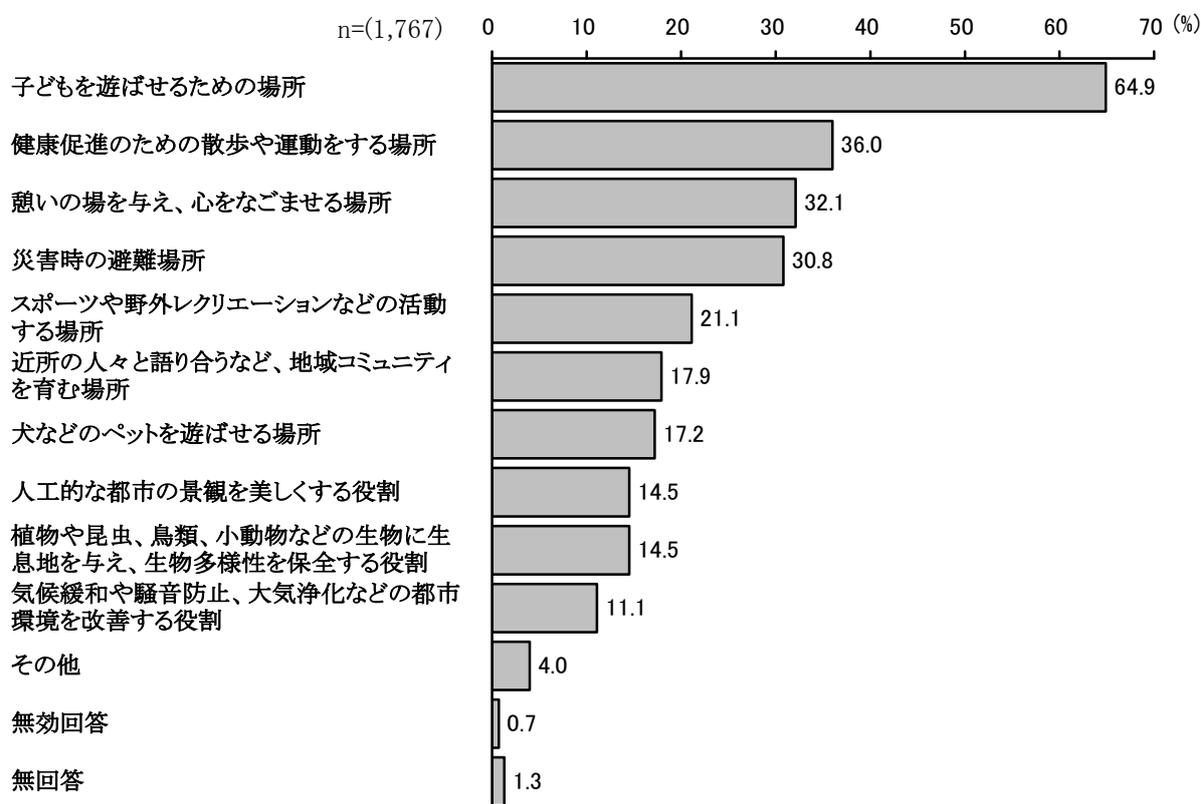


小学生以下の子どもの有無別にみると、《利用している》は、【子どもがいる】と答えた人で59.5%、【子どもがいない】と答えた人で32.5%となっている。

②住まいの近くの公園の役割

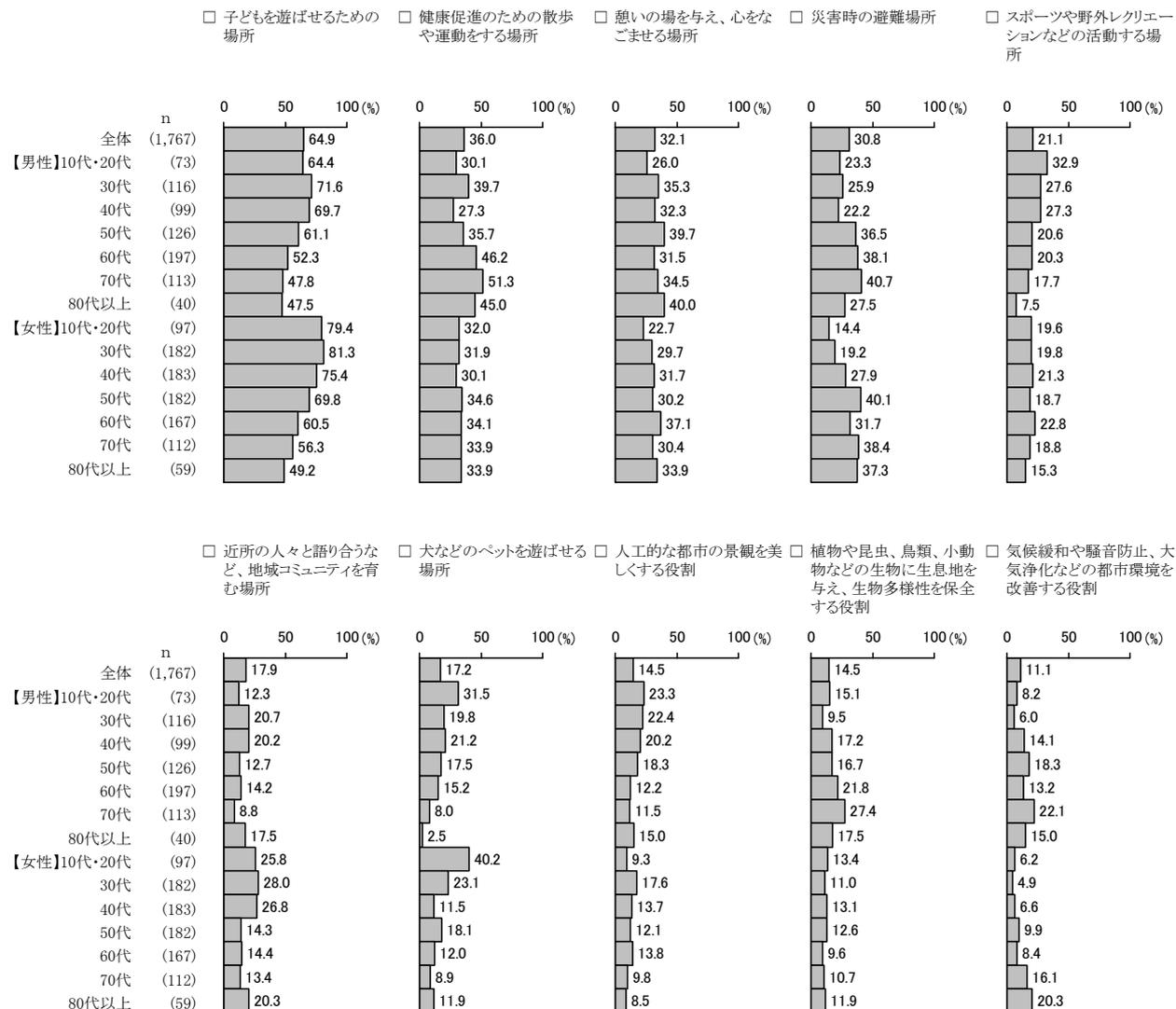
問 25 あなたの住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていますか。

(あてはまる番号3つに○)



住まいの近くに公園がある人に、住まいの近くの公園の役割についてたずねたところ、「子どもを遊ばせるための場所」(64.9%)が最も多く、以下「健康促進のための散歩や運動をする場所」(36.0%)、「憩いの場を与え、心をなごませる場所」(32.1%)、「災害時の避難場所」(30.8%)となっている。

● 性年齢別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「子どもを遊ばせるための場所」は、男女ともに【30代】をピークとして、以降の年齢では減少している。

また、「健康促進のための散歩や運動をする場所」は、男性の【60代以上】で4割を超えて多くなっている。

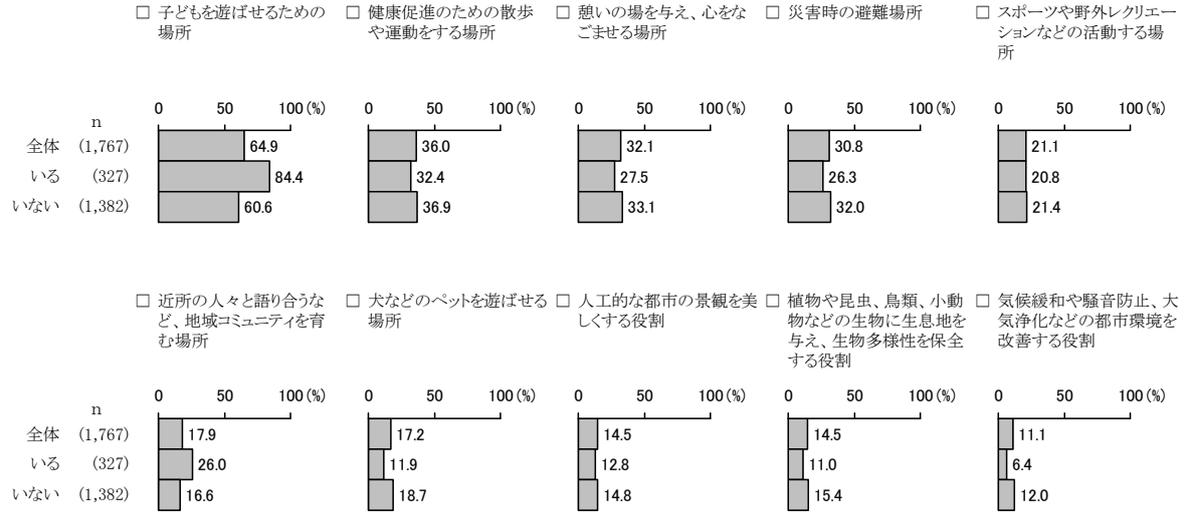
「災害時の避難場所」は、男性の【70代】、女性の【50代】で4割を超えて多くなっている。

「スポーツや野外レクリエーションなどの活動する場所」は、男性の【10代・20代】で3割を超えて多くなっている。

「近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所」は、女性の【30代】が3割近くと最も多くなっている。

「犬などのペットを遊ばせる場所」は男女ともに【10代・20代】で3割を超えて多くなっている。

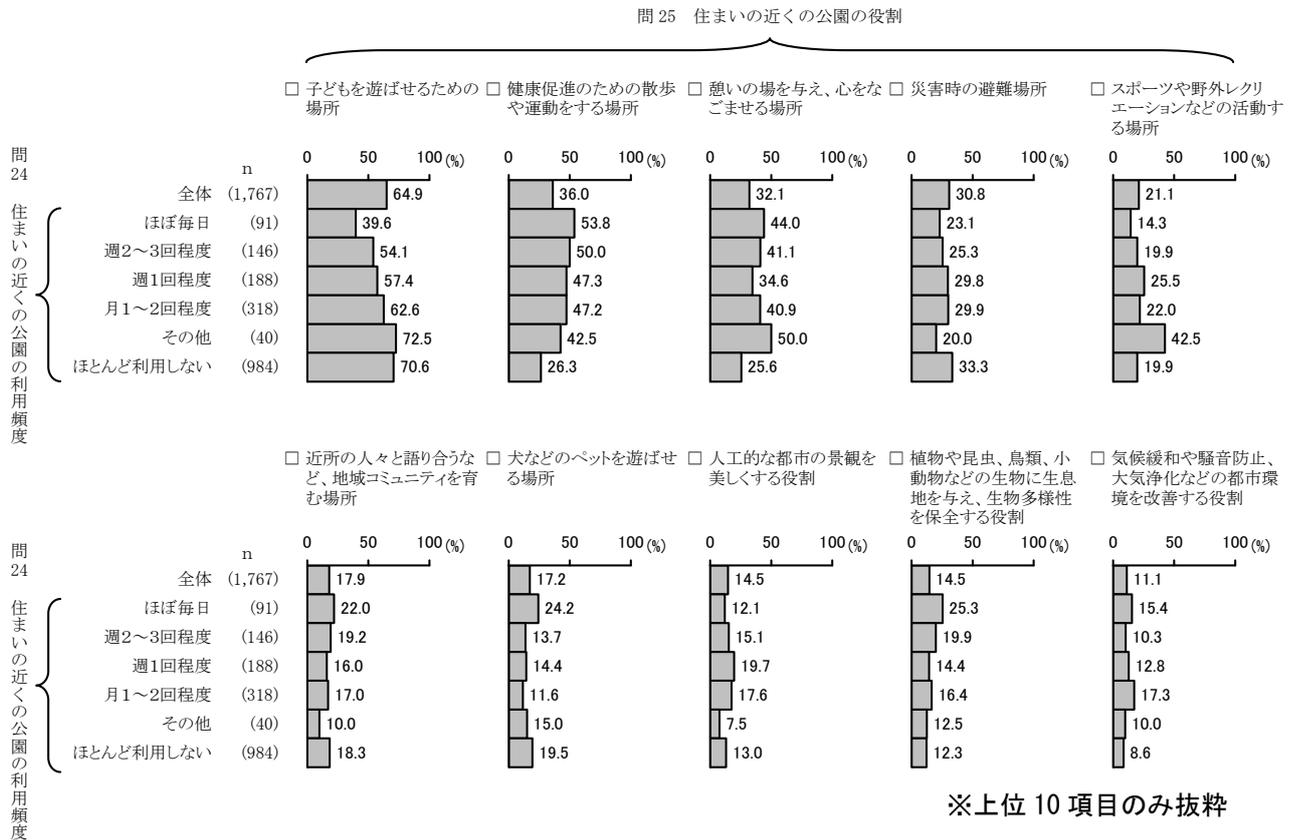
● 小学生以下の子どもの有無別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

小学生以下の子どもの有無別にみると、「子どもを遊ばせるための場所」、「近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所」は、【子どもがいる】人が【子どもがいない】人よりも多くなっている。

● 住まいの近くの公園の利用頻度（問24）別 ●



住まいの近くの公園の利用頻度別にみると、「子どもを遊ばせるための場所」では、利用頻度が低いほど割合が多くなっている。

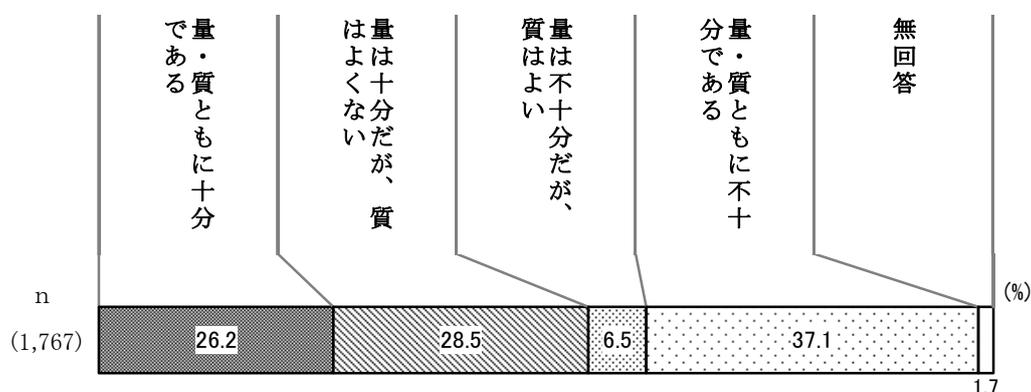
また、「健康促進のための散歩や運動をする場所」では、利用頻度が高いほど割合が多くなっている。

③住まいの近くの公園の満足度

問 26 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

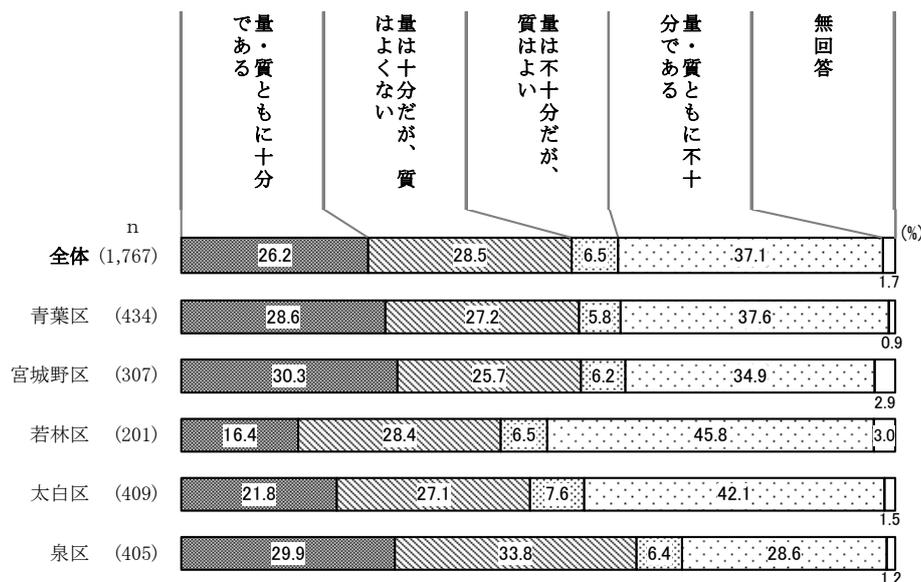
公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や管理の状況のことです。

(あてはまる番号1つに○)



住まいの近くに公園がある人に、住まいの近くの公園の満足度についてたずねたところ、「量・質ともに不十分である」(37.1%)が最も多く、以下「量は十分だが、質はよくない」(28.5%)、「量・質ともに十分である」(26.2%)、「量は不十分だが、質はよい」(6.5%)となっている。

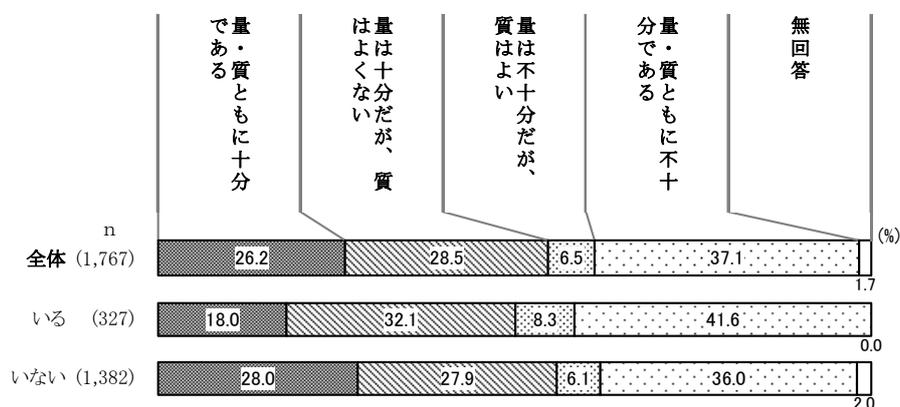
● 居住地区別 ●



居住地区別にみると、「量・質ともに不十分である」は、【若林区】(45.8%)及び【太白区】(42.1%)で4割を超え、他の地区に比べて多くなっている。

【泉区】では、「量・質ともに十分である」が29.9%、また、「量は十分だが、質はよくない」が33.8%と、「量は十分である」割合が他の地区と比べて多くなっている。

● 小学生以下の子どもの有無別 ●

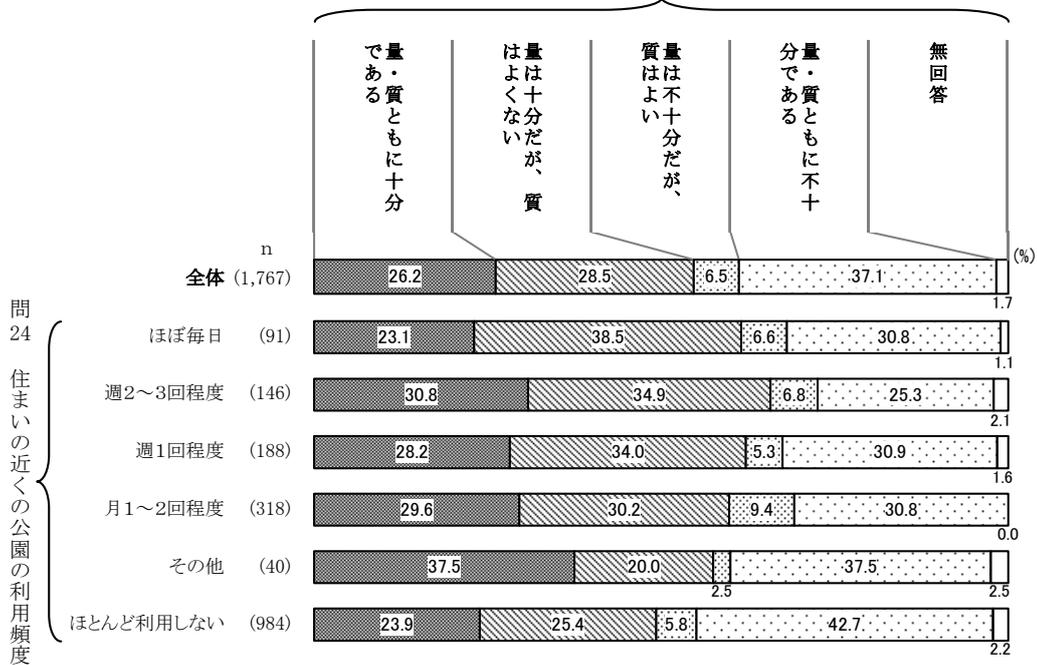


小学生以下の子どもの有無別にみると、「量・質ともに十分である」は、【子どもがいない】人(28.0%)が【子どもがいる】人(18.0%)を10.0ポイント上回っている。

また、「量・質ともに不十分である」では、【子どもがいる】人(41.6%)が【子どもがいない】人(36.0%)を5.6ポイント上回っている。

● 住まいの近くの公園の利用頻度（問 24）別 ●

問 26 住まいの近くの公園の満足度

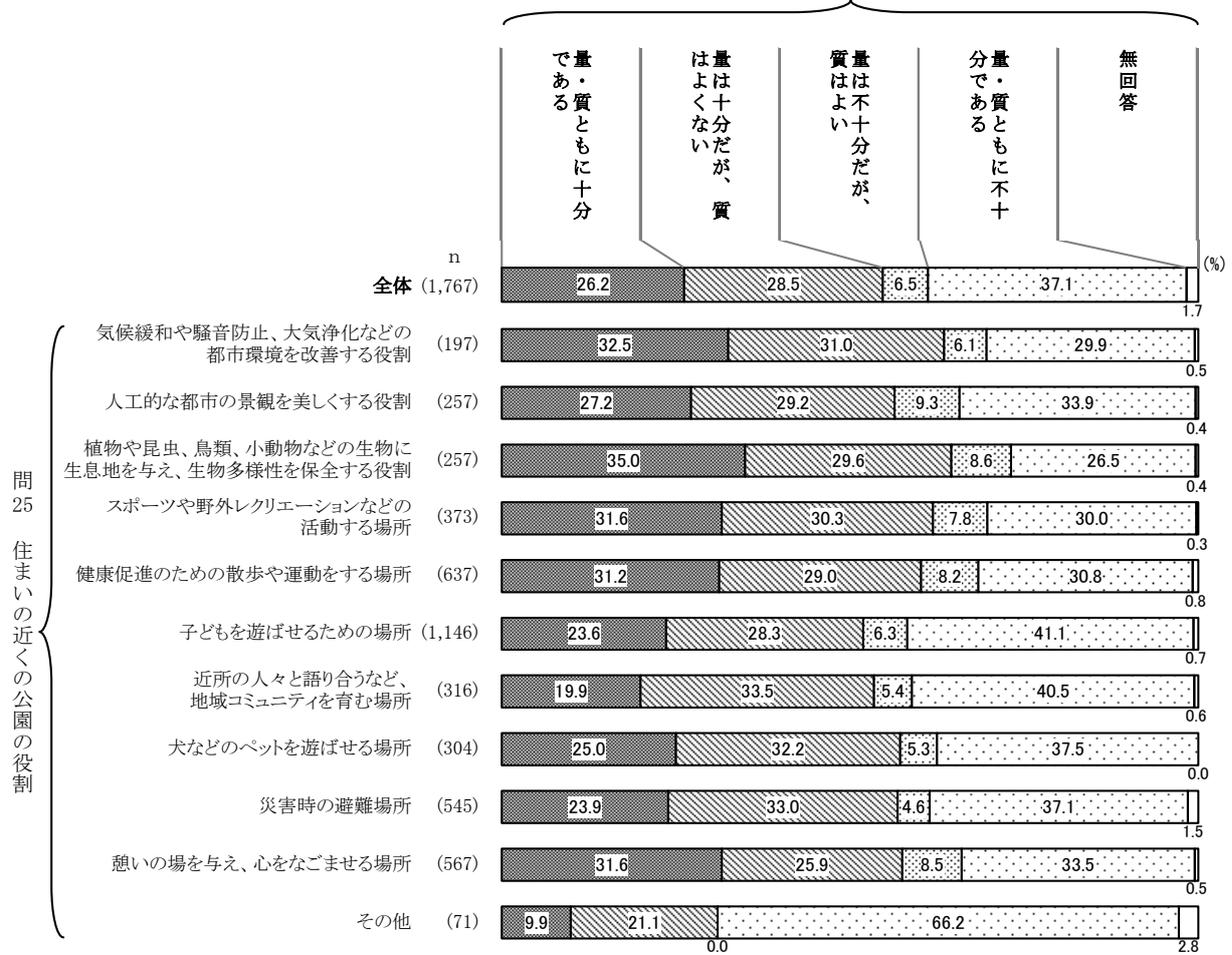


住まいの近くの公園の利用頻度別にみると、「量・質ともに不十分である」の割合は、【ほとんど利用しない】が、それ以外の【ほぼ毎日】などの公園を利用しているという項目よりも多くなっている。

また、利用頻度が高くなるほど、「量は十分だが、質はよくない」の割合が多くなっている。

● 住まいの近くの公園の役割（問25）別 ●

問26 住まいの近くの公園の満足度

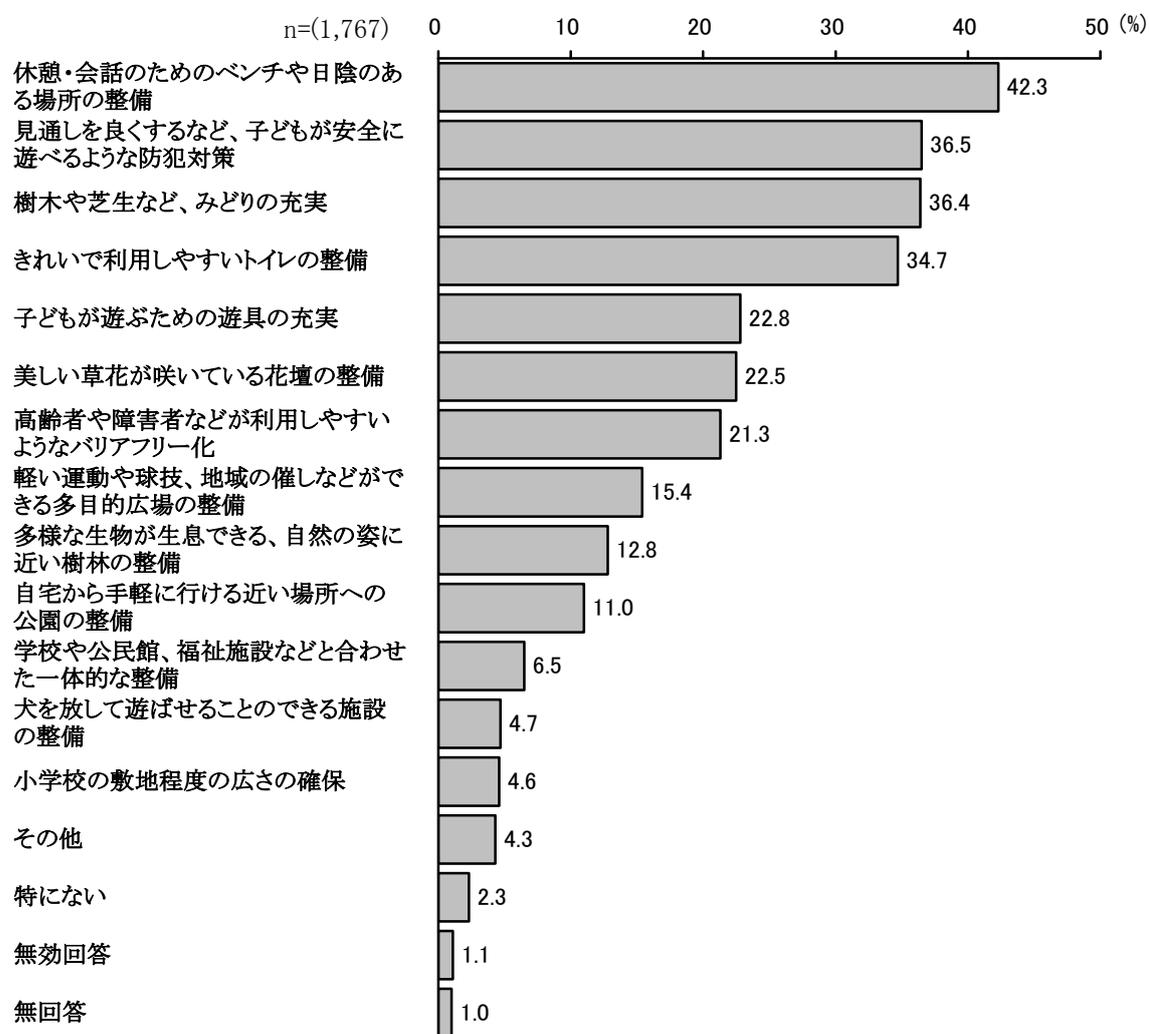


住まいの近くの公園の役割別にみると、「量・質ともに十分である」は、【植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する役割】(35.0%)、【気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する役割】(32.5%)、【スポーツや野外レクリエーションなどの活動する場所】(31.6%)、【憩いの場を与え、心をなごませる場所】(31.6%)、【健康促進のための散歩や運動をする場所】(31.2%)で3割を超えている。

また、「量・質ともに不十分である」は、【子どもを遊ばせるための場所】(41.1%)、【近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所】(40.5%)で4割を超えている。

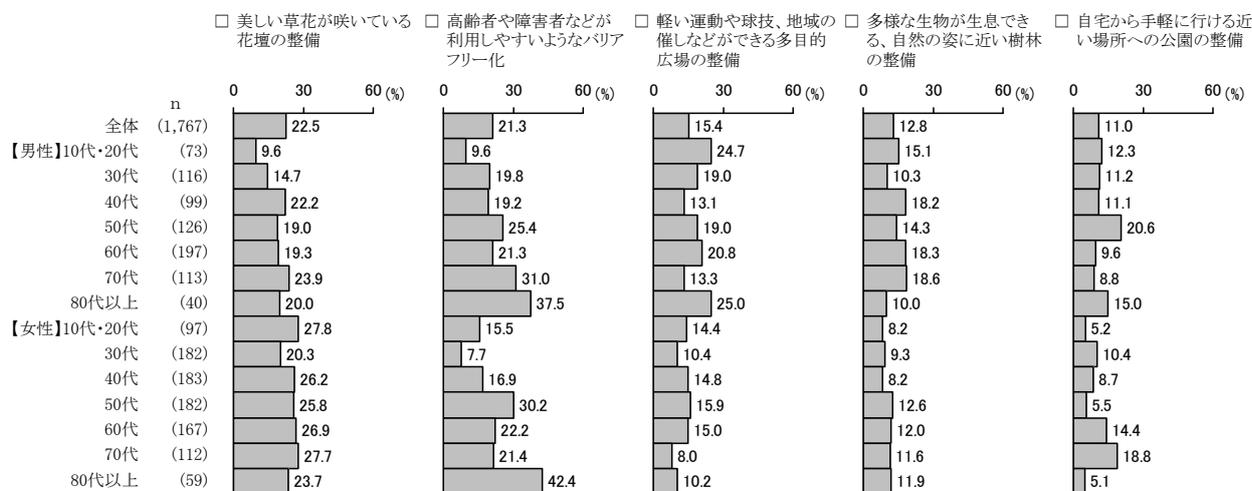
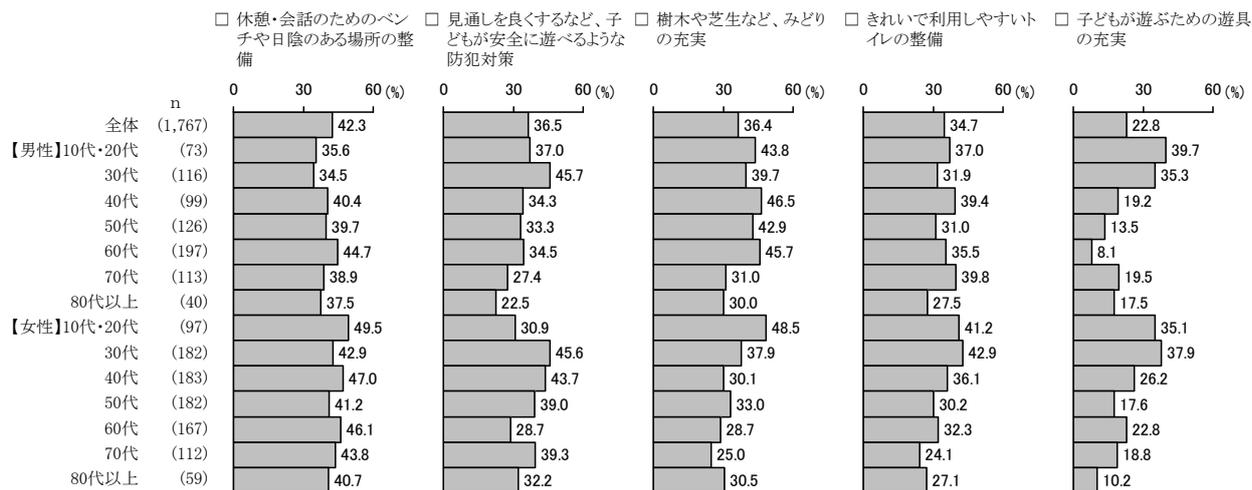
④住まいの近くの公園の整備に必要なこと

問 27 あなたの住まいの近くの公園を整備・再整備する場合に、特に必要なことは何ですか。(あてはまる番号3つに○)



住まいの近くに公園がある人に、住まいの近くの公園の整備に必要なことについてたずねたところ、「休憩・会話のためのベンチや日陰のある場所の整備」(42.3%)が最も多く、以下「見通しを良くするなど、子どもが安全に遊べるような防犯対策」(36.5%)、「樹木や芝生など、みどりの充実」(36.4%)、「きれいで利用しやすいトイレの整備」(34.7%)となっている。

● 性年齢別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「見通しを良くするなど、子どもが安全に遊べるような防犯対策」は、男性の【30代】、女性の【30代】と【40代】で4割を超え多くなっている。

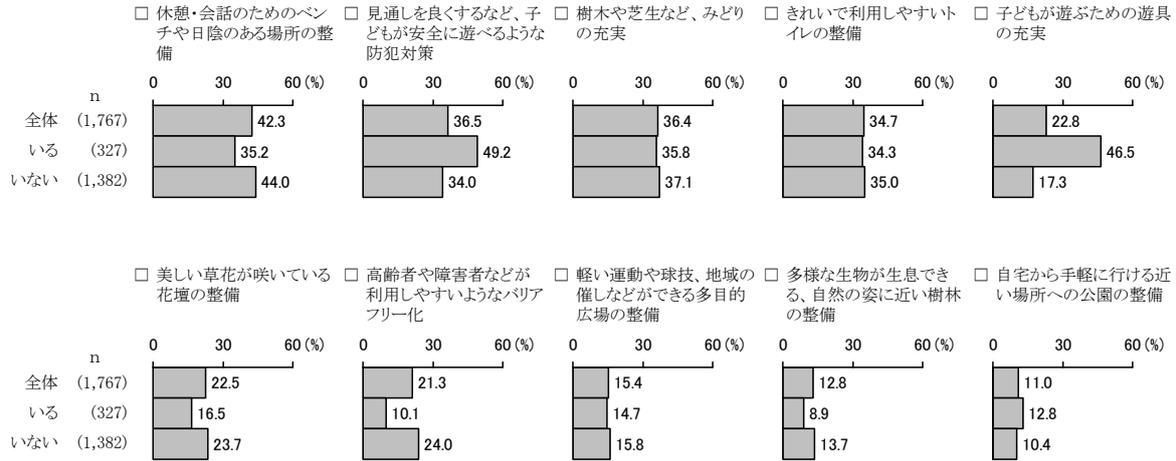
「樹木や芝生など、みどりの充実」は、男性の【60代以下】、女性の【30代以下】で4割前後と多くなっている。

「子どもが遊ぶための遊具の充実」は、男女ともに【30代以下】で3割を超え、他の年齢に比べて多くなっている。

「高齢者や障害者などが利用しやすいようなバリアフリー化」は、男女とも【80代以上】が4割近くと最も多くなっている。

「軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場の整備」は、男性の【10代・20代】と【80代以上】が25%程度と最も多くなっている。

● 小学生以下の子どもの有無別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

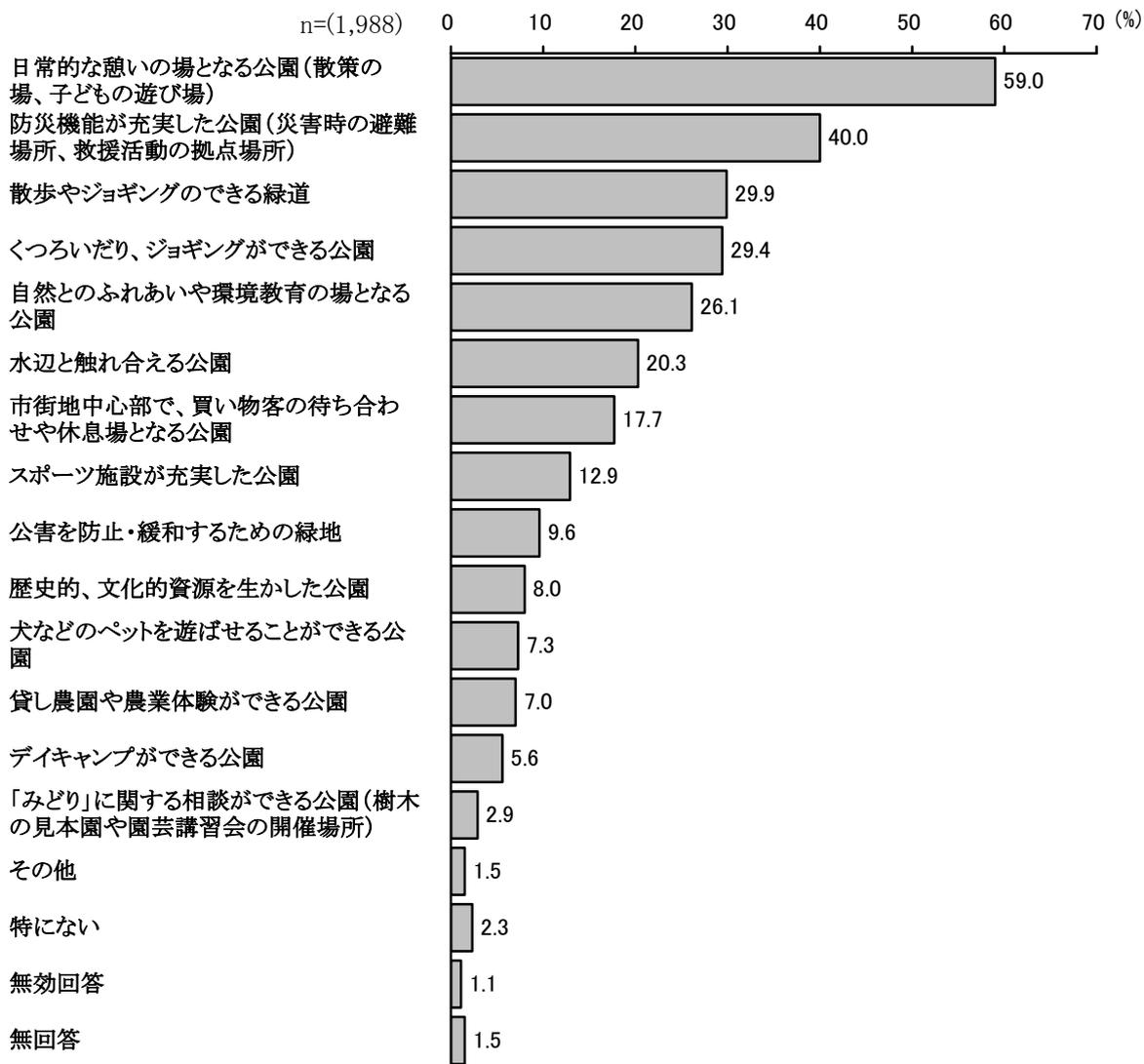
小学生以下の子どもの有無別にみると、【子どもがいる】人では、「見通しを良くするなど、子どもが安全に遊べるような防犯対策」(49.2%)、「子どもが遊ぶための遊具の充実」(46.5%)が、【子どもがいない】人をそれぞれ 15 ポイント以上上回っている。

一方、【子どもがいない】人では、「高齢者や障害者などが利用しやすいようなバリアフリー化」が 24.0%となっており、【子どもがいる】人 (10.1%) を 13.9 ポイント上回っている。

⑤仙台市全域で増やして欲しい公園

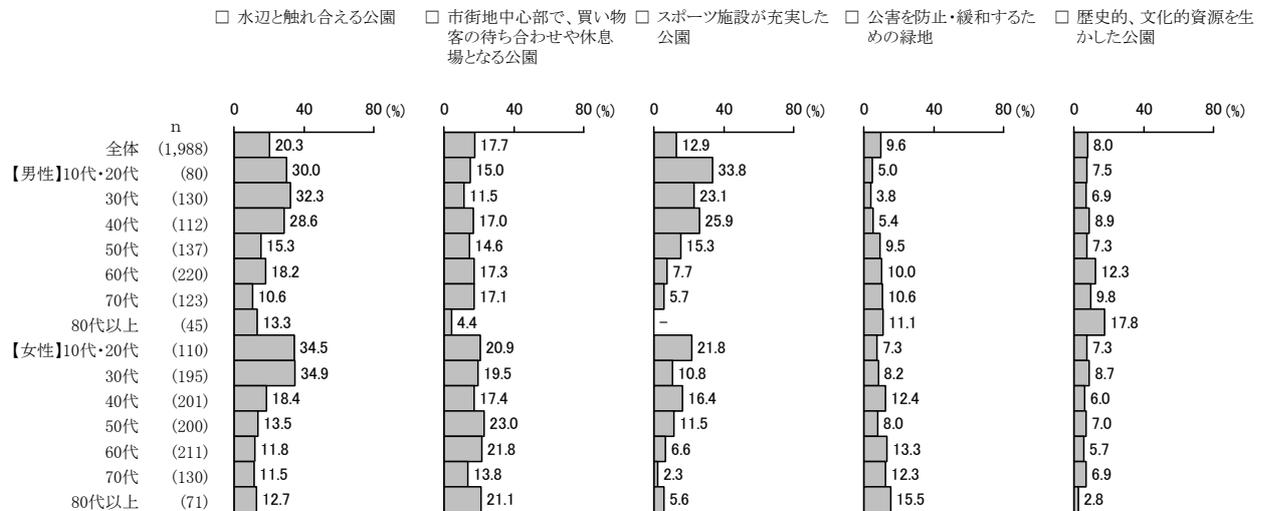
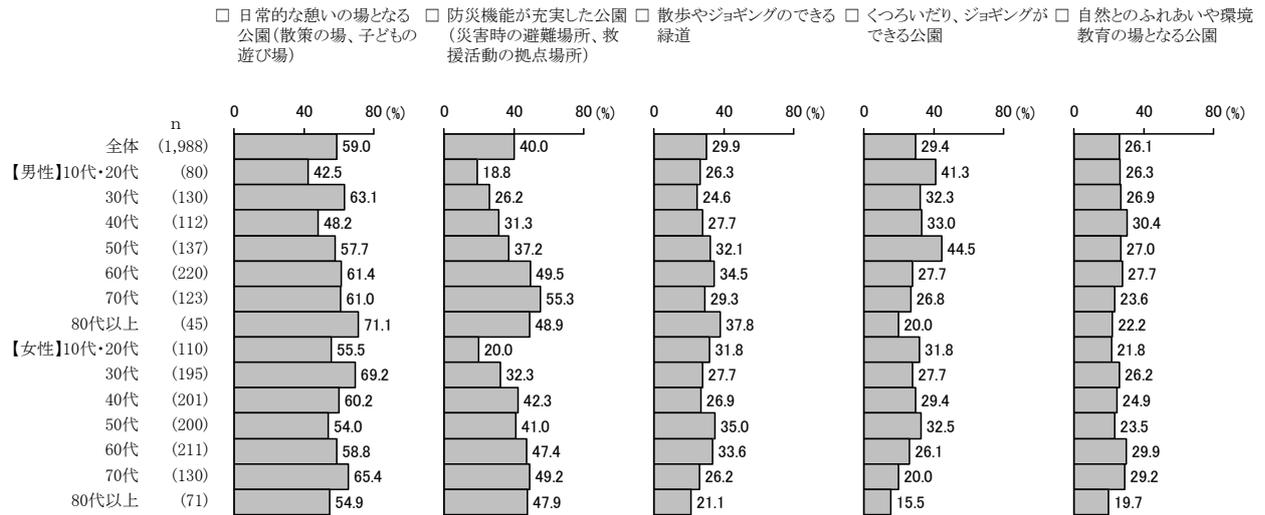
問 28 仙台市全域で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。

(あてはまる番号3つに○)



仙台市全域で増やして欲しい公園については、「日常的な憩いの場となる公園 (散策の場、子どもの遊び場)」(59.0%)が最も多く、以下「防災機能が充実した公園 (災害時の避難場所、救援活動の拠点場所)」(40.0%)、「散歩やジョギングのできる緑道」(29.9%)、「くつろいだり、ジョギングができる公園」(29.4%)、「自然とのふれあいや環境教育の場となる公園」(26.1%)となっている。

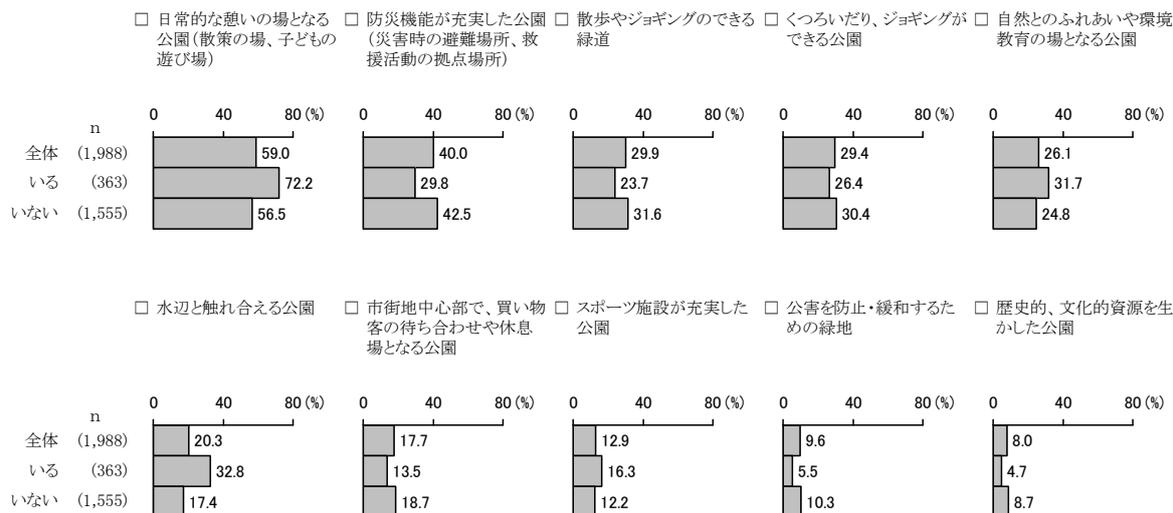
● 性年齢別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」では、男性の【80代以上】及び女性の【30代】、「防災機能が充実した公園（災害時の避難場所、救援活動の拠点場所）」では男性の【70代】、「くつろいだり、ジョギングができる公園」では男性の【10代・20代】及び【50代】、「水辺と触れ合える公園」では男性の【30代】及び女性の【30代以下】、「スポーツ施設が充実した公園」では男性の【40代以下】で、全体を10ポイント以上上回っている。

● 小学生以下の子どもの有無別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

小学生以下の子どもの有無別にみると、【子どもがいる】人では、「日常的な憩いの場となる公園（散策の場、子どもの遊び場）」(72.2%)、「水辺と触れ合える公園」(32.8%)が、【子どもがいない】人をそれぞれ 15 ポイント以上上回っている。

一方、【子どもがいない】人では、「防災機能が充実した公園（災害時の避難場所、救援活動の拠点場所）」が 42.5%となっており、【子どもがいる】人 (29.8%) を 12.7 ポイント上回っている。

(4)「都心部」と「住宅地」の街路樹について

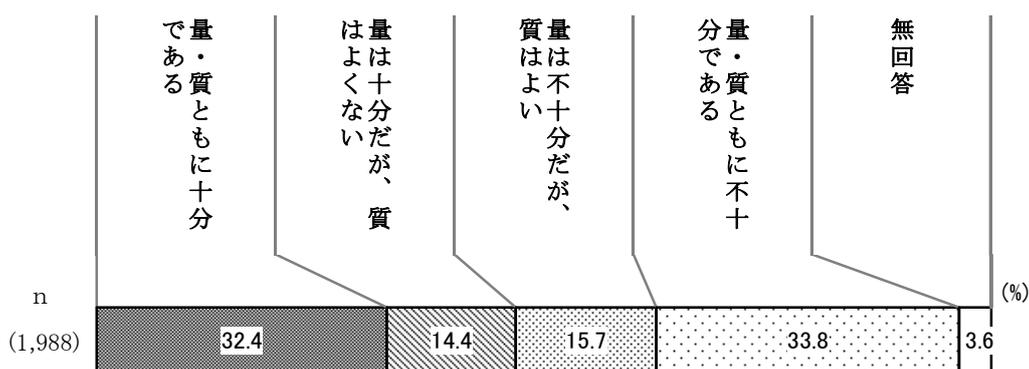
①街路樹の印象

問 29 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

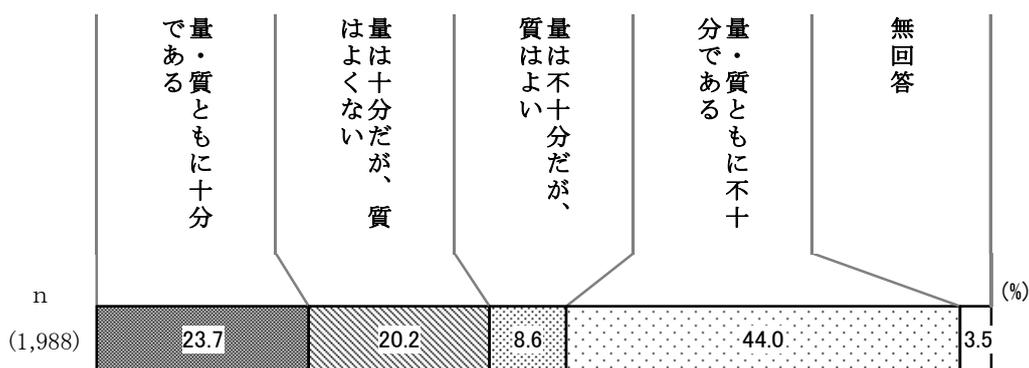
街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し（いやし）を与える機能などのことです。

（「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

【都心部】



【住宅地】

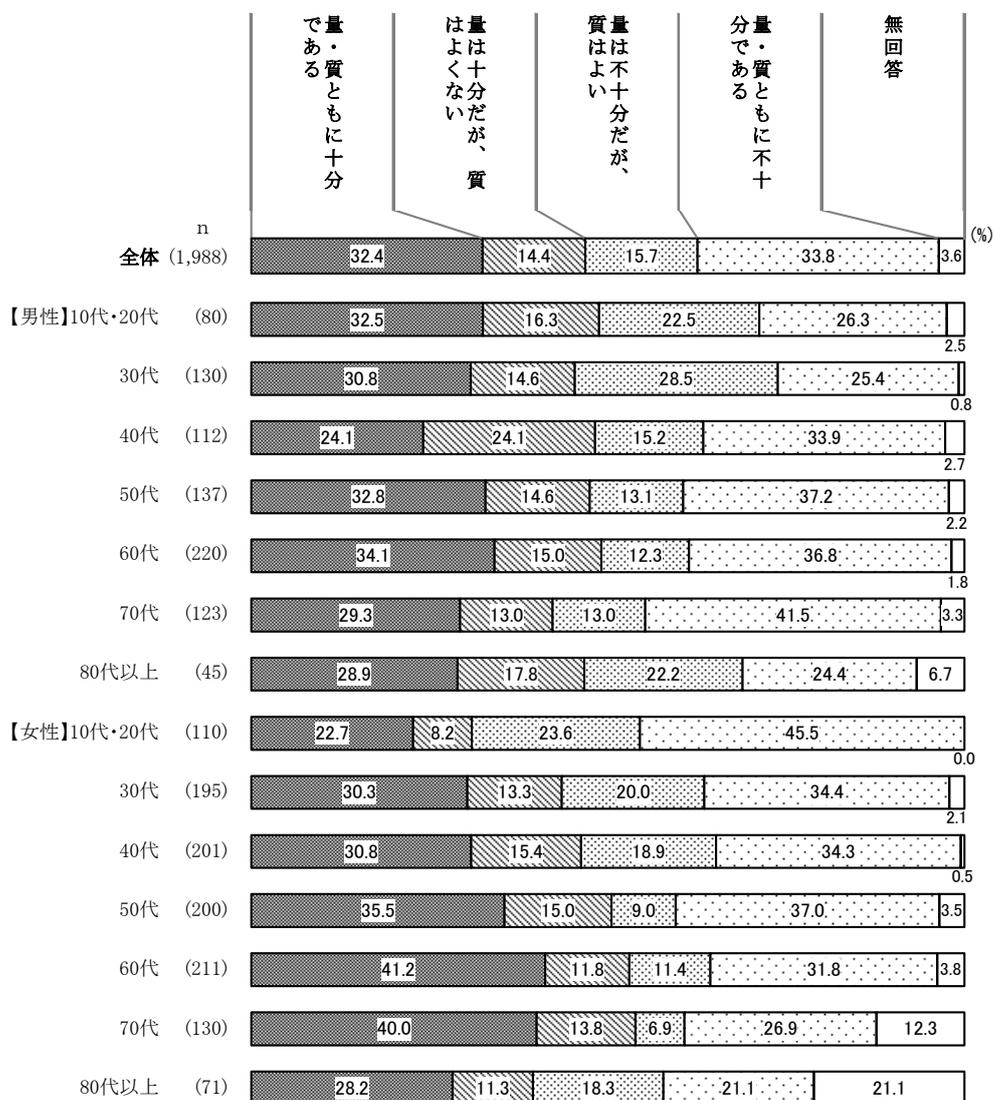


都心部の街路樹の印象については、「量・質ともに不十分である」(33.8%)、「量・質ともに十分である」(32.4%) がともに多く、以下「量は不十分だが、質はよい」(15.7%)、「量は十分だが、質はよくない」(14.4%) となっている。

住宅地の街路樹の印象については、「量・質ともに不十分である」(44.0%) が最も多く、以下「量・質ともに十分である」(23.7%)、「量は十分だが、質はよくない」(20.2%)、「量は不十分だが、質はよい」(8.6%) となっている。

都心部と住宅地を比較すると、全体として都心部の満足度が高い。また、量と質について比較すると、都心部では量の満足度が低く、住宅地では質の満足度が低い。

● 性年齢別 ●
【都心部】

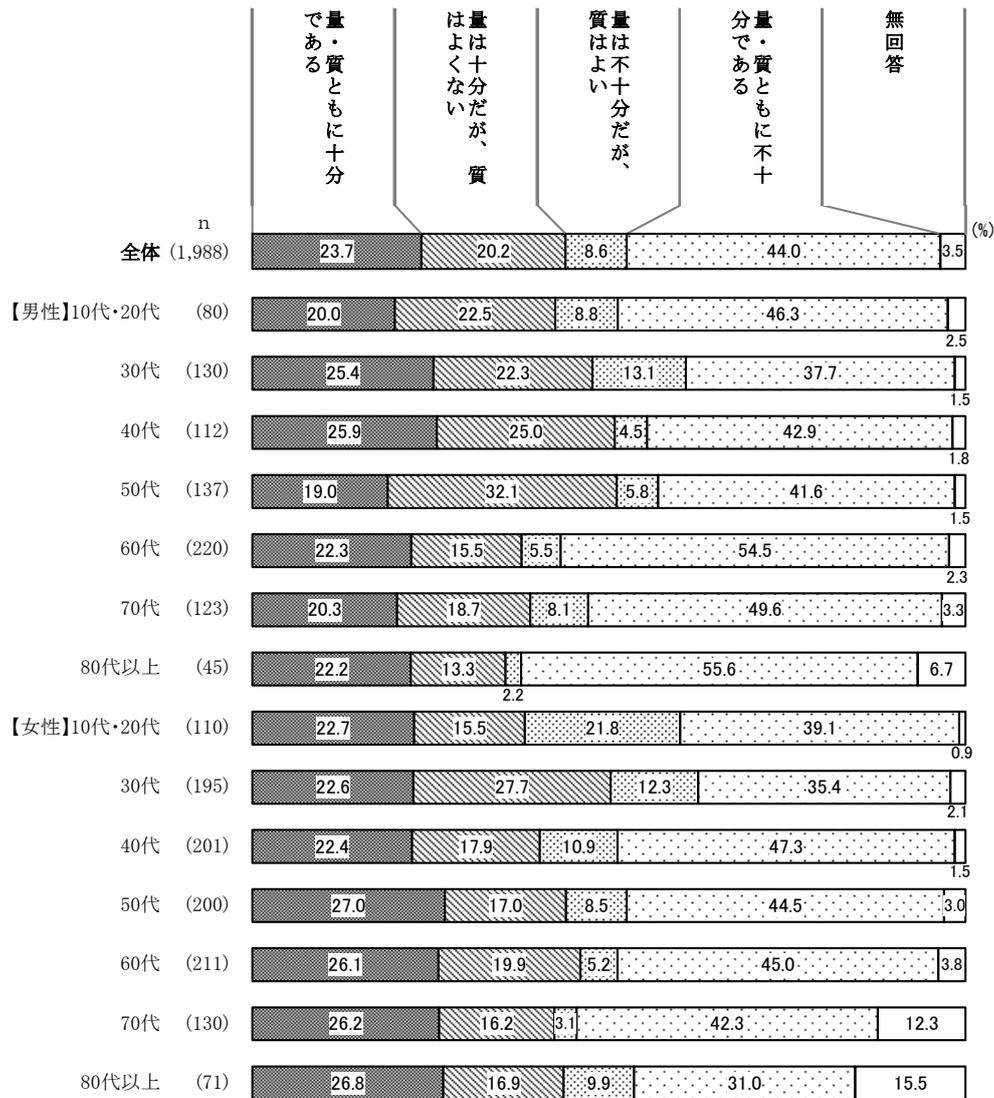


都心部の街路樹の印象を、性年齢別にみると、「量・質ともに十分である」が女性の【60代】(41.2%)及び【70代】(40.0%)で約4割となっている。

一方、「量・質ともに不十分である」では、男性の【70代】(41.5%)及び女性の【10代・20代】(45.5%)で4割を超え、他の性年齢に比べて多くなっている。

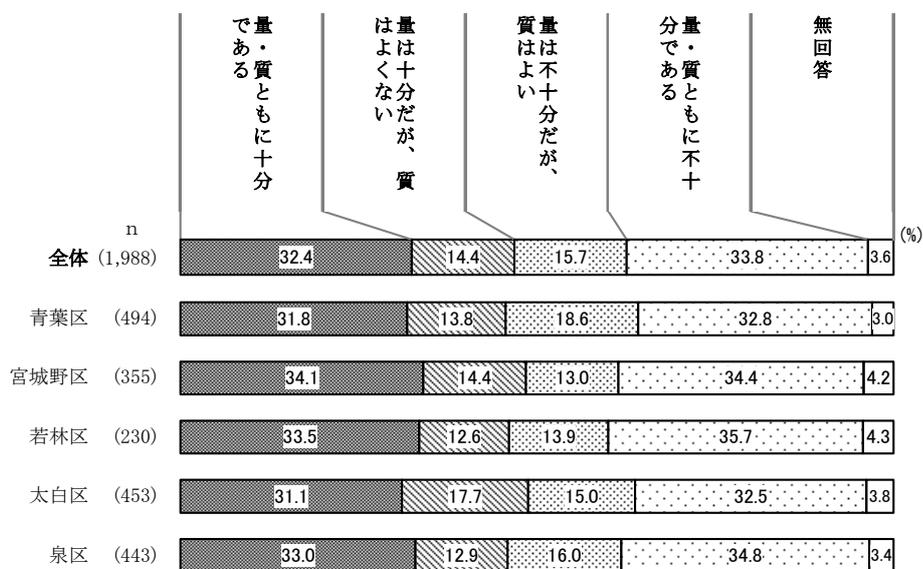
また、「量は不十分だが、質はよい」では、男女ともに【30代以下】と男性の【80代以上】で2割を超え多くなっている。

【住宅地】



住宅地の街路樹の印象を、性年齢別にみると、「量・質ともに不十分である」が、男性の【60代以上】で5割前後と、他の性年齢に比べて多くなっている。

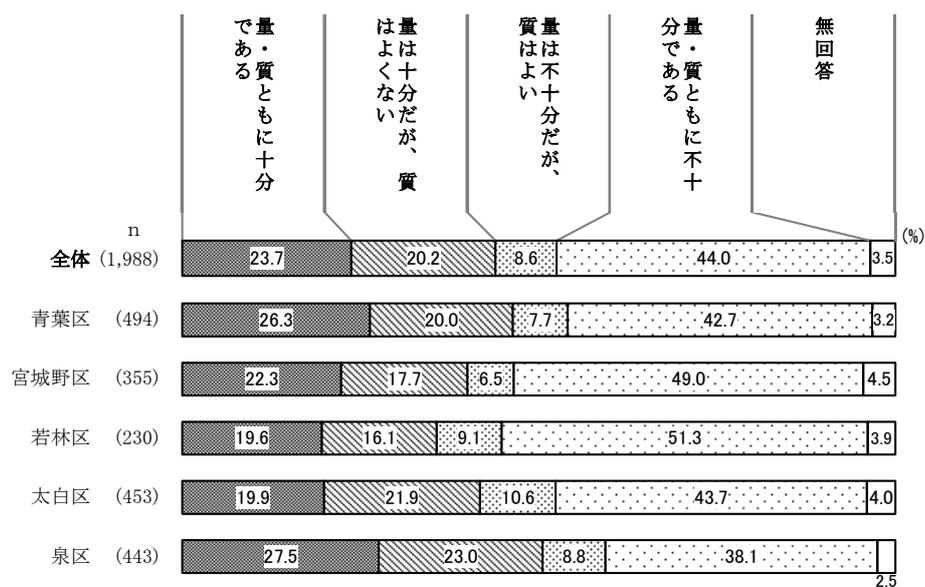
● 居住地区別 ●
【都心部】



都心部の街路樹の印象を、居住地区別にみると、「量は十分だが、質はよくない」は、【太白区】（17.7%）で他の地区に比べて多くなっている。

また、「量は不十分だが、質はよい」では、【青葉区】（18.6%）で他の地区に比べて多くなっている。

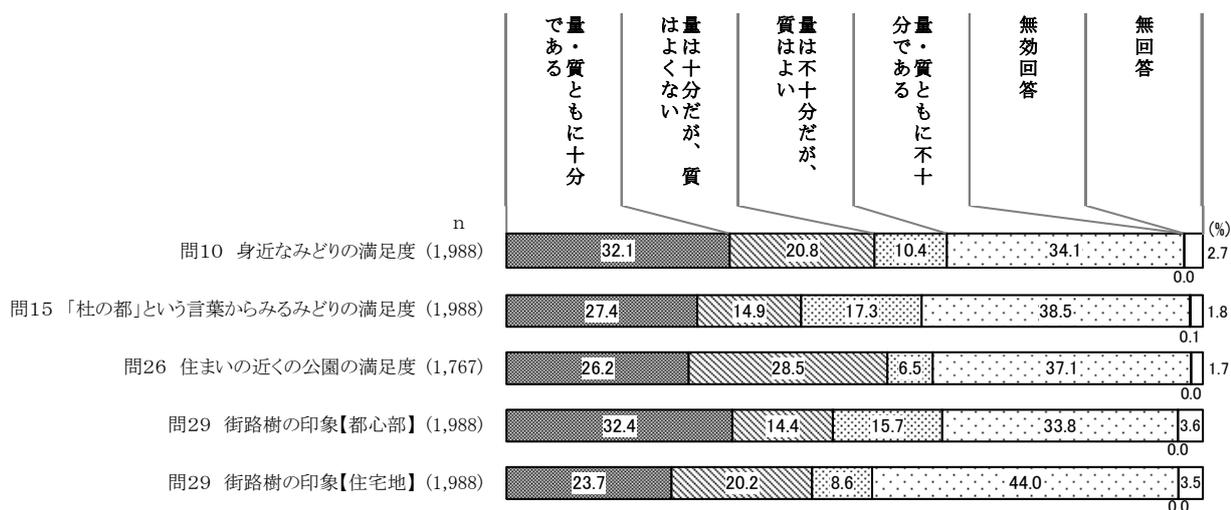
【住宅地】



住宅地の街路樹の印象を、居住地区別にみると、「量・質ともに十分である」は、【泉区】(27.5%) 及び【青葉区】(26.3%) で、他の地区に比べて多くなっている。

また、「量・質ともに不十分である」は、【若林区】(51.3%) 及び【宮城野区】(49.0%) で、他の地区に比べて多くなっている。

● 満足度の比較 ●



『問10 身近なみどりの満足度』(24 ページ参照)、『問15 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』(38 ページ参照)、『問26 住まいの近くの公園の満足度』(60 ページ参照)、『問29 街路樹の印象【都心部】』及び『問29 街路樹の印象【住宅地】』の比較である。

『問10 身近なみどりの満足度』と『問15 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』を比較すると、身近なみどりの満足度のほうが高い。また、身近なみどりは量に関する満足度が高い一方、「杜の都」という言葉からみるみどりは質に関する満足度が高い。

全ての設問で比較すると、共通して「量・質ともに不十分である」が最も多くなっている。特に、『問29 街路樹の印象【住宅地】』では44.0%と他の設問に比べて多く、「量・質ともに十分である」との差は20.3ポイントと大きくなっている。

「量・質ともに十分である」は、『問29 街路樹の印象【都心部】』(32.4%)及び『問10 身近なみどりの満足度』(32.1%)で3割を超え、他の設問に比べて多くなっている。

「量は十分だが、質はよくない」は、『問26 住まいの近くの公園の満足度』で28.5%と、他の設問に比べて多くなっている。

「量は不十分だが、質はよい」は、『問15 「杜の都」という言葉からみるみどりの満足度』(17.3%)及び『問29 街路樹の印象【都心部】』(15.7%)で他の設問に比べて多くなっている。

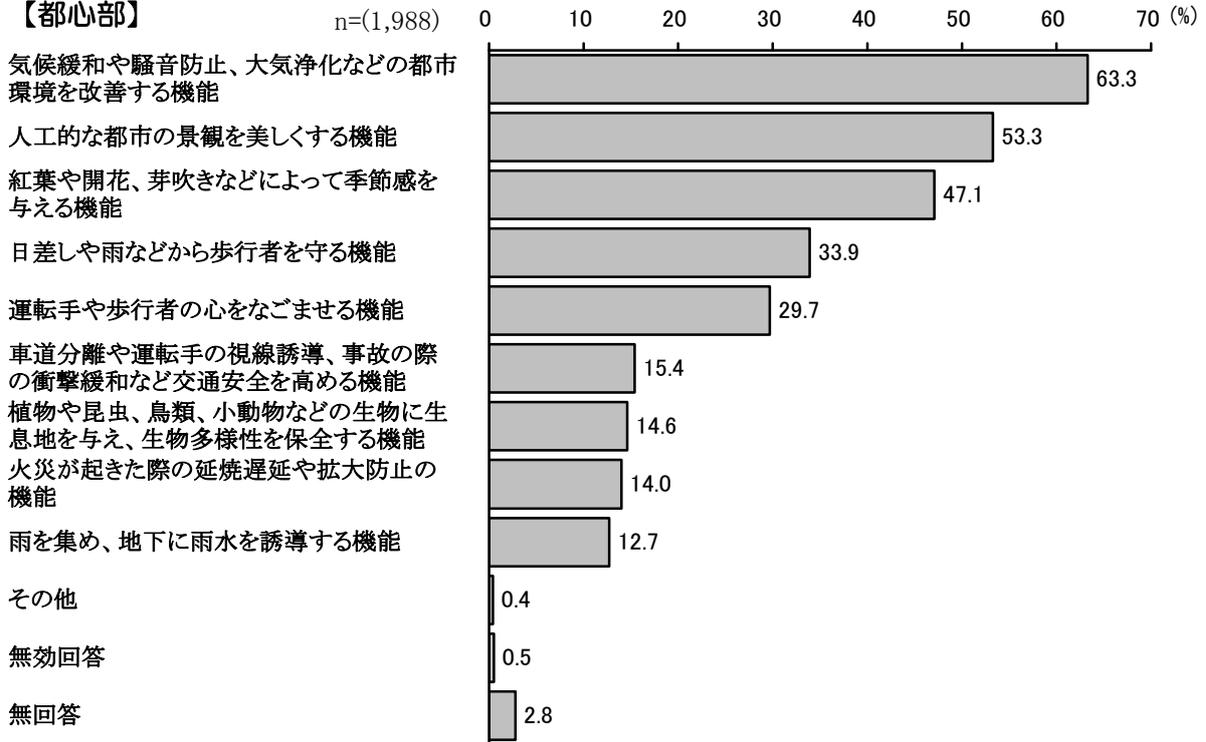
②街路樹に期待する機能

問 30 街路樹には、市民の皆さまの生活の質を高めるための様々な機能があります。あなたが都心部、住宅地で街路樹に期待する機能として、特に重要なものは何ですか。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号3つに○)

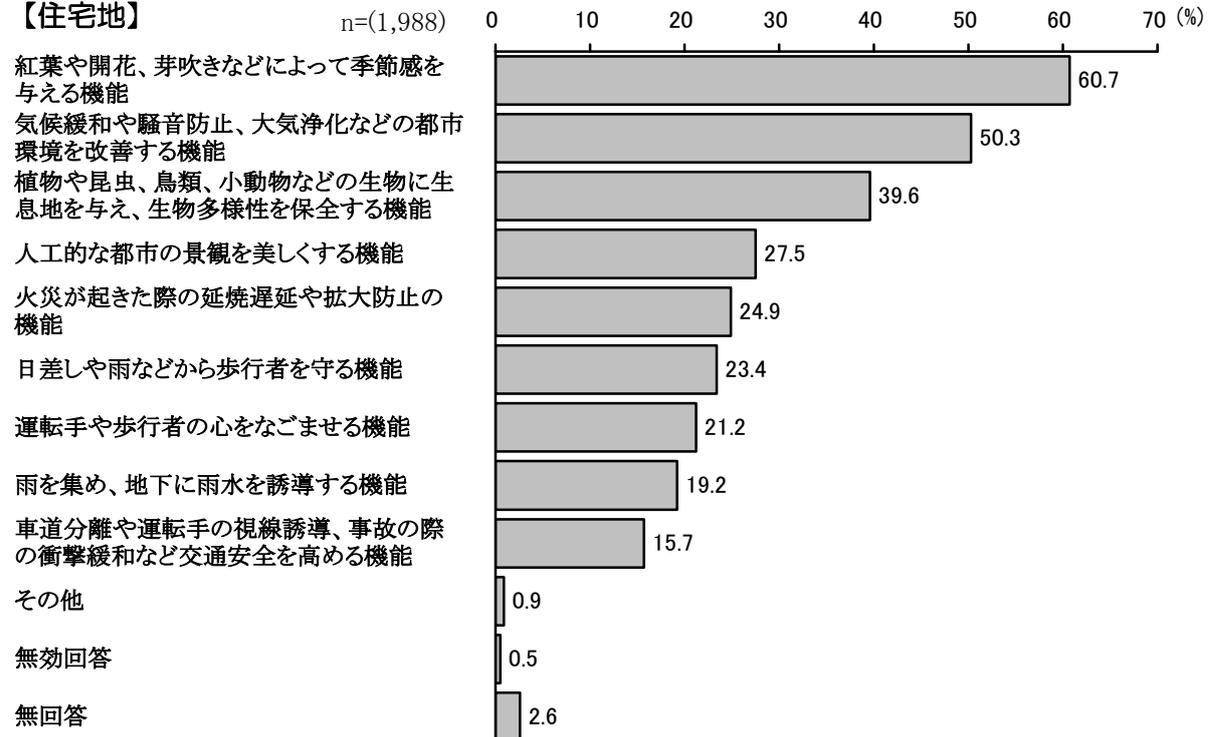
【都心部】

n=(1,988)



【住宅地】

n=(1,988)

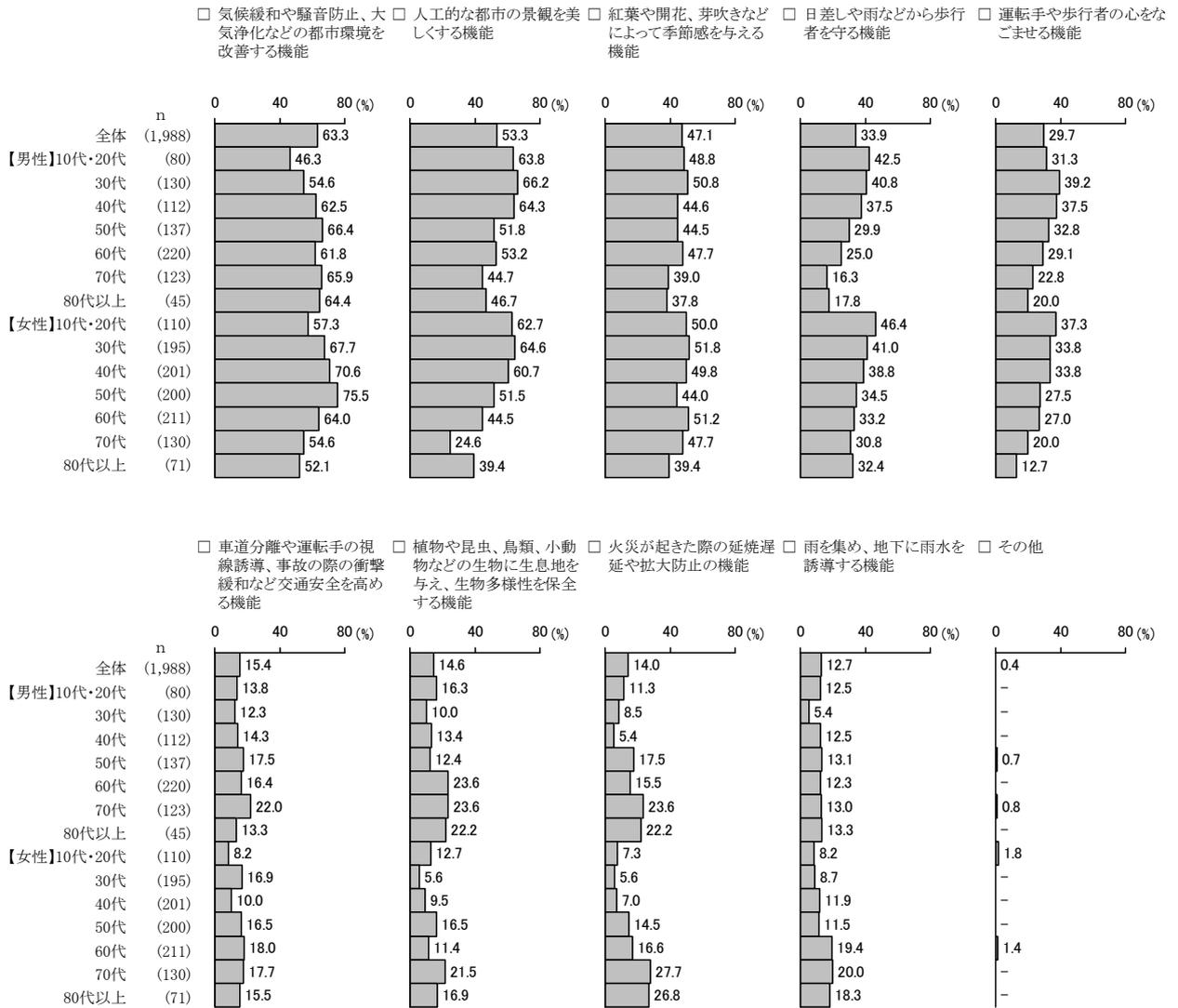


都心部の街路樹に期待する機能については、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(63.3%)が最も多く、以下「人工的な都市の景観を美しくする機能」(53.3%)、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(47.1%)、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」(33.9%)、「運転手や歩行者の心をなごませる機能」(29.7%)となっている。

住宅地の街路樹に期待する機能については、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」(60.7%)が最も多く、以下「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」(50.3%)、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」(39.6%)となっている。

● 性年齢別 ●

【都心部】

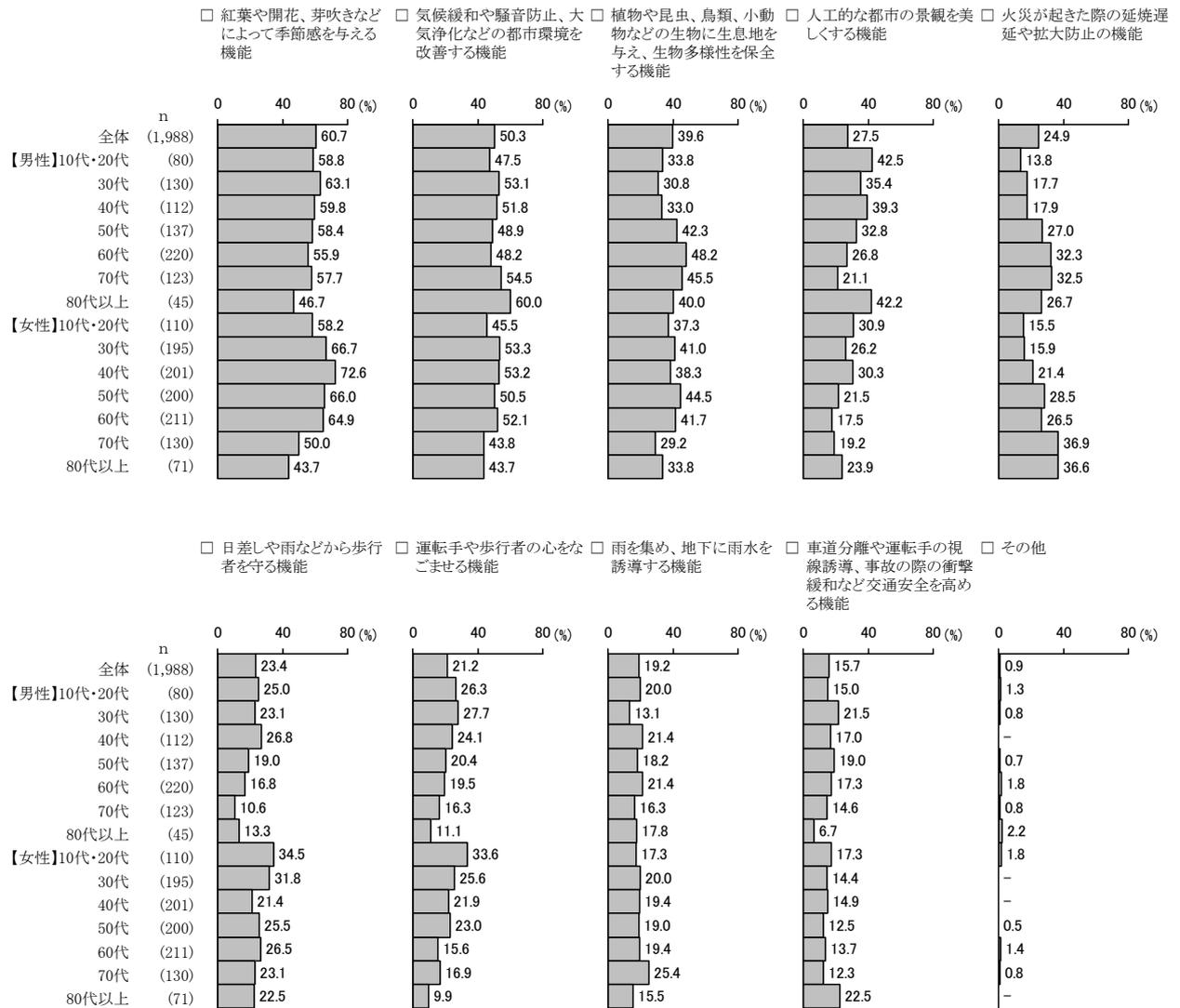


※上位 10 項目のみ抜粋

都心部の街路樹に期待する機能について、性年齢別にみると、「人工的な都市の景観を美しくする機能」及び「運転手や歩行者の心をなごませる機能」では、男女ともに【70代以上】で他の年齢に比べて少なくなっている。

また、「日差しや雨などから歩行者を守る機能」では、男性の【70代以上】で他の性年齢に比べて少なくなっている。

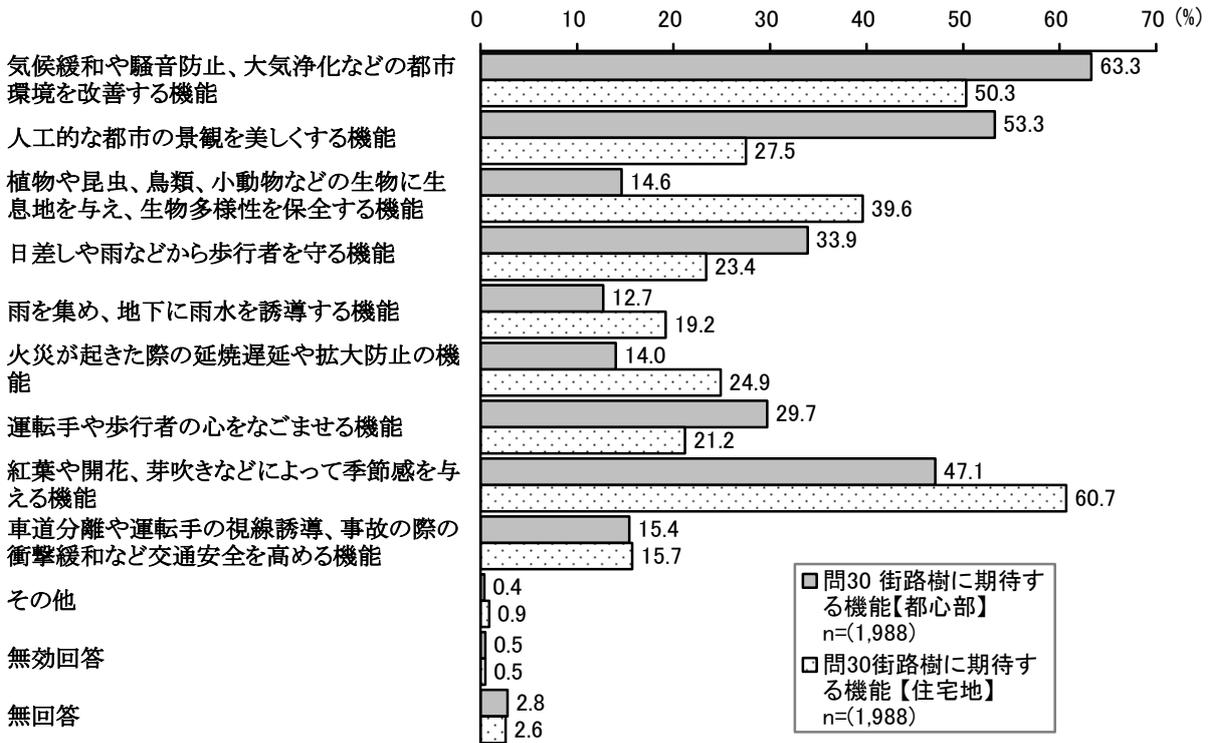
【住宅地】



※上位 10 項目のみ抜粋

住宅地の街路樹に期待する機能について、性年齢別にみると、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」は、女性の【40代】(72.6%)で7割を超え、他の性年齢に比べて多くなっている。

● 街路樹に期待する機能（都心部と住宅地の比較） ●



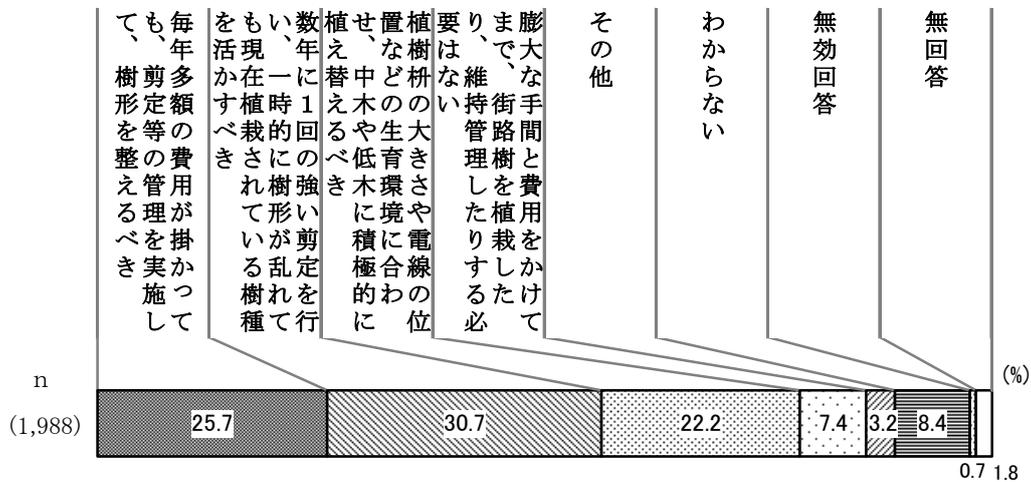
『問 30 街路樹に期待する機能【都心部】』と、『問 30 街路樹に期待する機能【住宅地】』を比較すると、「気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能」（都心部：63.3%、住宅地：50.3%）、「紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能」（都心部：47.1%、住宅地：60.7%）は、両設問に共通して多くなっている。

また、「人工的な都市の景観を美しくする機能」は都心部（53.3%）が住宅地（27.5%）の約2倍、「植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能」は住宅地（39.6%）が都心部（14.6%）の約3倍の割合となっている。

③街路樹の管理

問 31 街路樹の管理について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

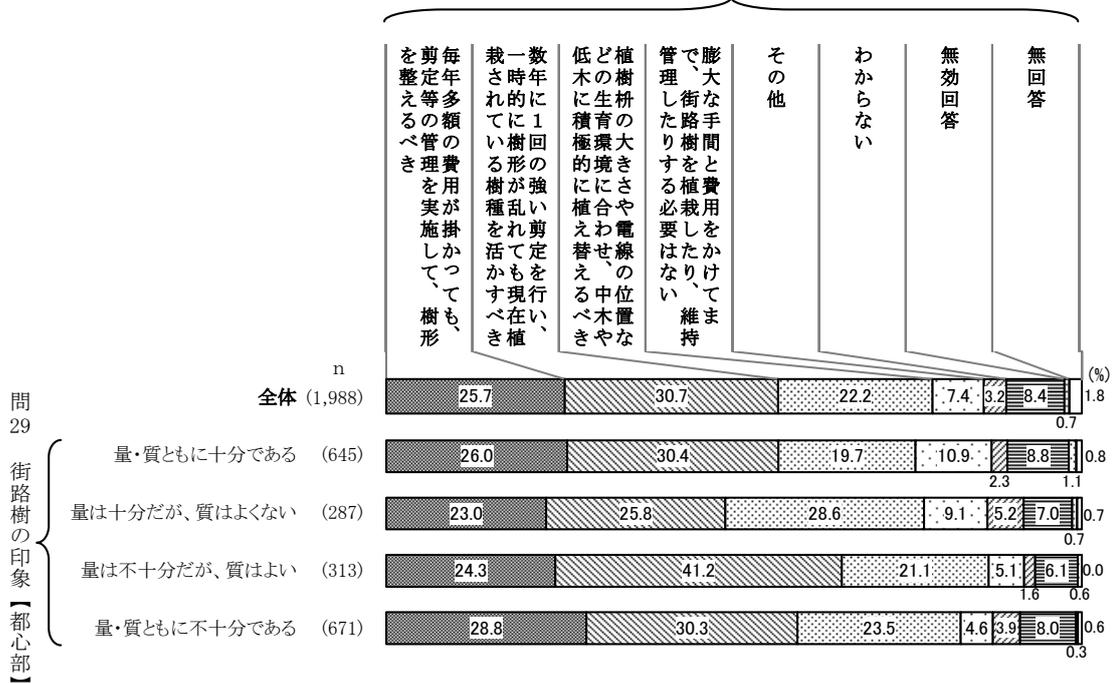
(あてはまる番号1つに○)



街路樹の管理については、「数年に1回の強い剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かすべき」(30.7%)が最も多く、以下「毎年多額の費用が掛かっても、剪定等の管理を実施して、樹形を整えるべき」(25.7%)、「植樹柀の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、中木や低木に積極的に植え替えるべき」(22.2%)となっている。

● 街路樹の印象【都心部】（問 29）別 ●

問 31 街路樹の管理

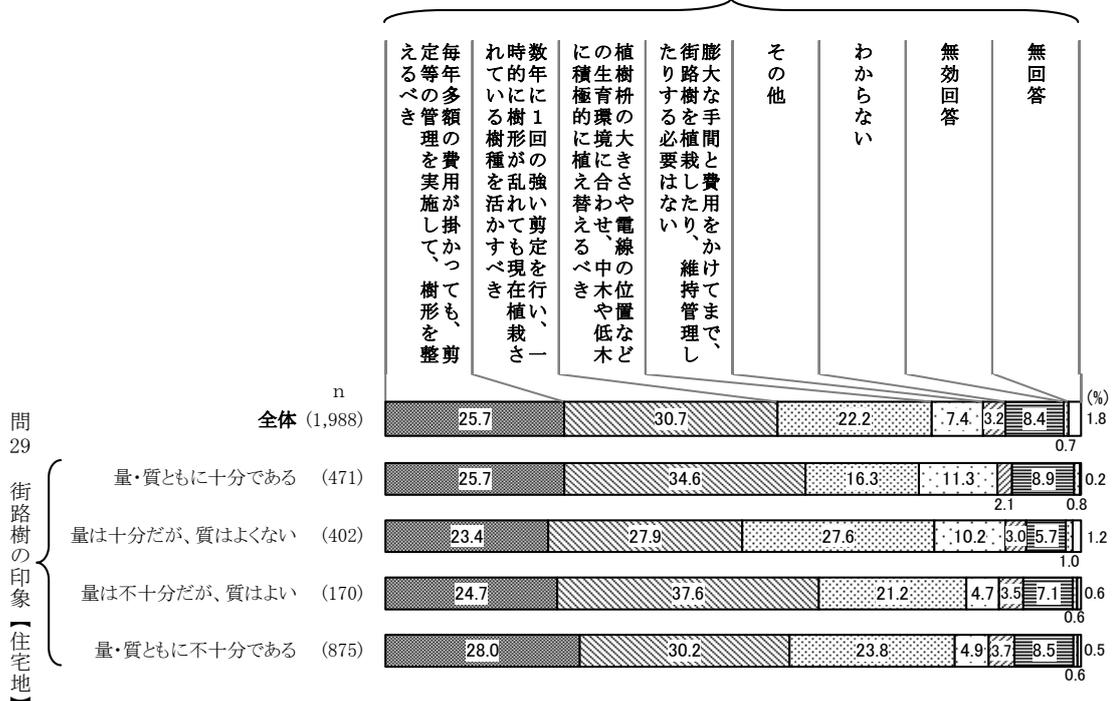


都心部の街路樹の印象別にみると、【量は十分だが、質はよくない】では「植樹柵の大きさや電線の位置などの生育環境に合わせ、中木や低木に積極的に植え替えるべき」(28.6%)が最も多くなっている。

それ以外の【量・質ともに十分である】、【量は不十分だが、質はよい】、【量・質ともに不十分である】では、「数年に1回の強い剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かすべき」が最も多くなっている。特に、【量は不十分だが、質はよい】では4割を超えている。

● 街路樹の印象【住宅地】(問29) 別 ●

問31 街路樹の管理



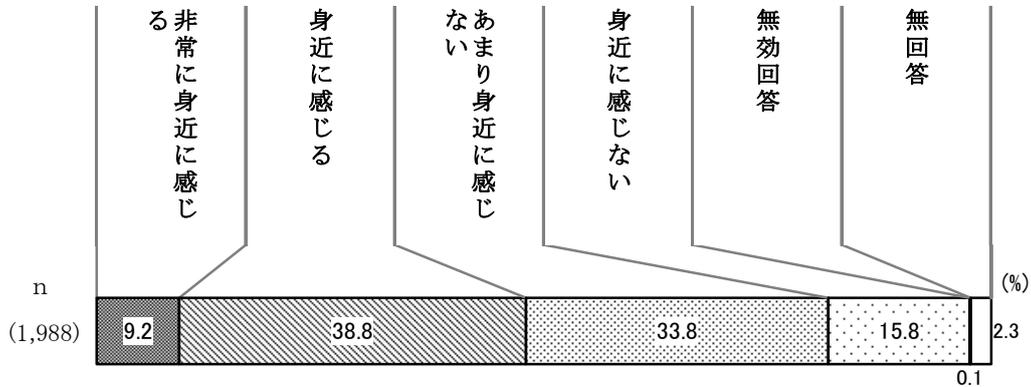
住宅地の街路樹の印象別にみると、「数年に1回の強い剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かすべき」では、【量・質ともに十分である】(34.6%)や【量は不十分だが、質はよい】(37.6%)といった、質は十分である人では3割半ばと、【量は十分だが、質はよくない】(27.9%)や【量・質ともに不十分である】(30.2%)といった、質は不十分である人に比べて多くなっている。

また、「膨大な手間と費用をかけてまで、街路樹を植栽したり、維持管理したりする必要はない」は、【量・質ともに十分である】(11.3%)や【量は十分だが、質はよくない】(10.2%)といった量は十分である人では1割を超えているが、【量は不十分だが、質はよい】(4.7%)や【量・質ともに不十分である】(4.9%)といった、量は不十分である人に比べて多くなっている。

(5) 河川について

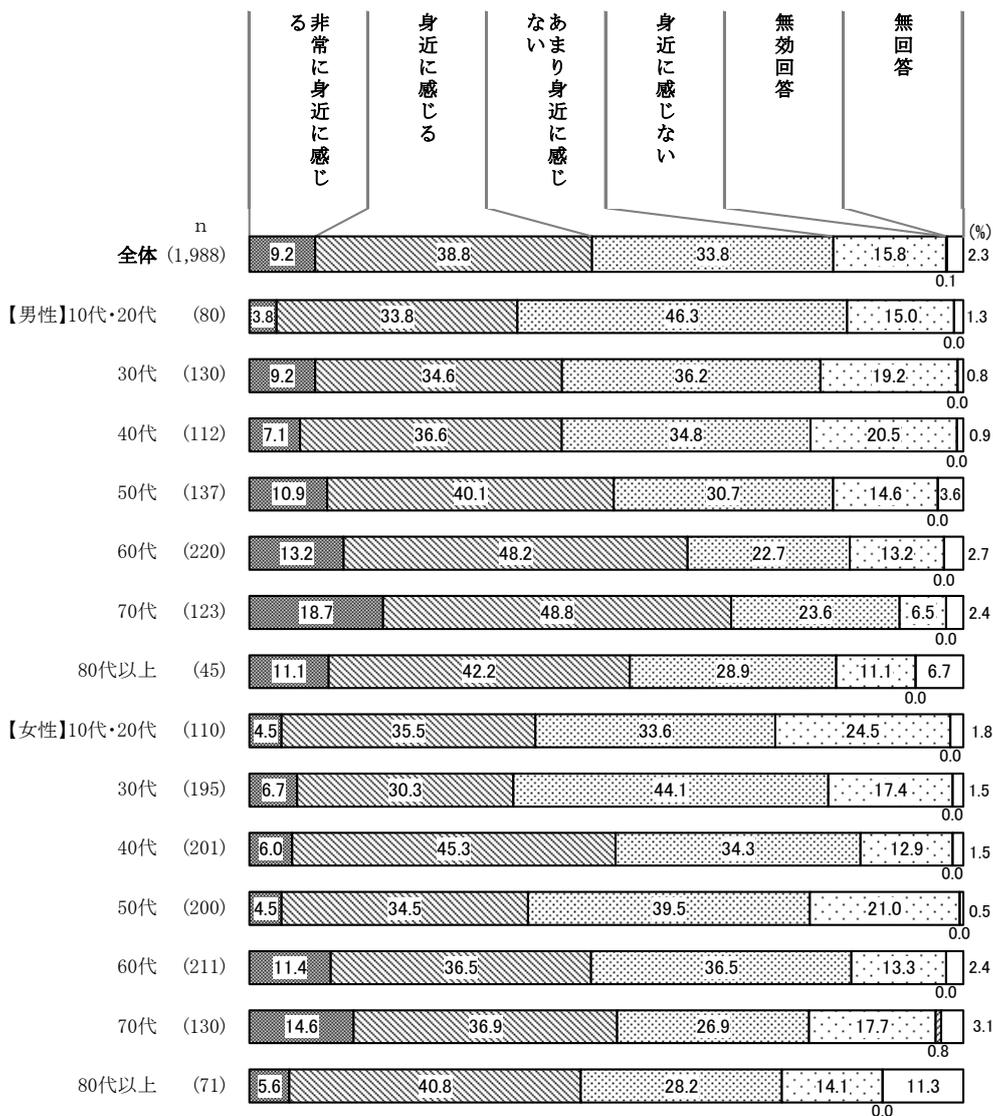
① 仙台市の河川への親しみ

問 32 現在の仙台市全域の河川について、身近に感じますか。(あてはまる番号1つに○)



仙台市の河川への親しみについては、「非常に身近に感じる」(9.2%)、「身近に感じる」(38.8%)を合わせた《親近感がある》は48.0%となっている。一方、「あまり身近に感じない」(33.8%)、「身近に感じない」(15.8%)を合わせた《親近感がない》は49.6%となっている。

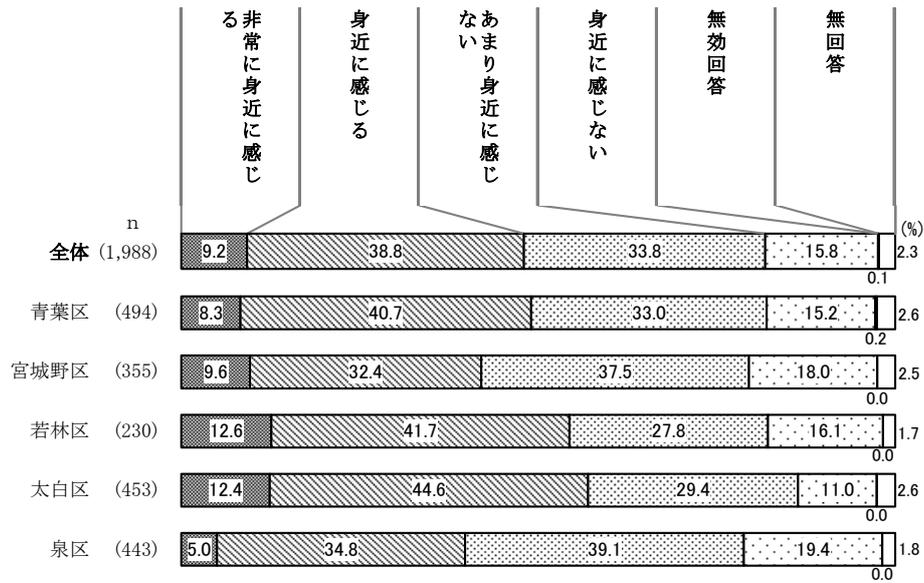
● 性年齢別 ●



性年齢別にみると、《親近感がある》は、男性の【50代以上】、女性の【40代】及び【70代】で5割を超えている。特に、男性の【70代】では67.5%が《親近感がある》と回答している。

一方、《親近感がない》は、男性の【40代以下】、女性の【30代以下】及び【50代】で5割を超えている。

● 居住地区別 ●

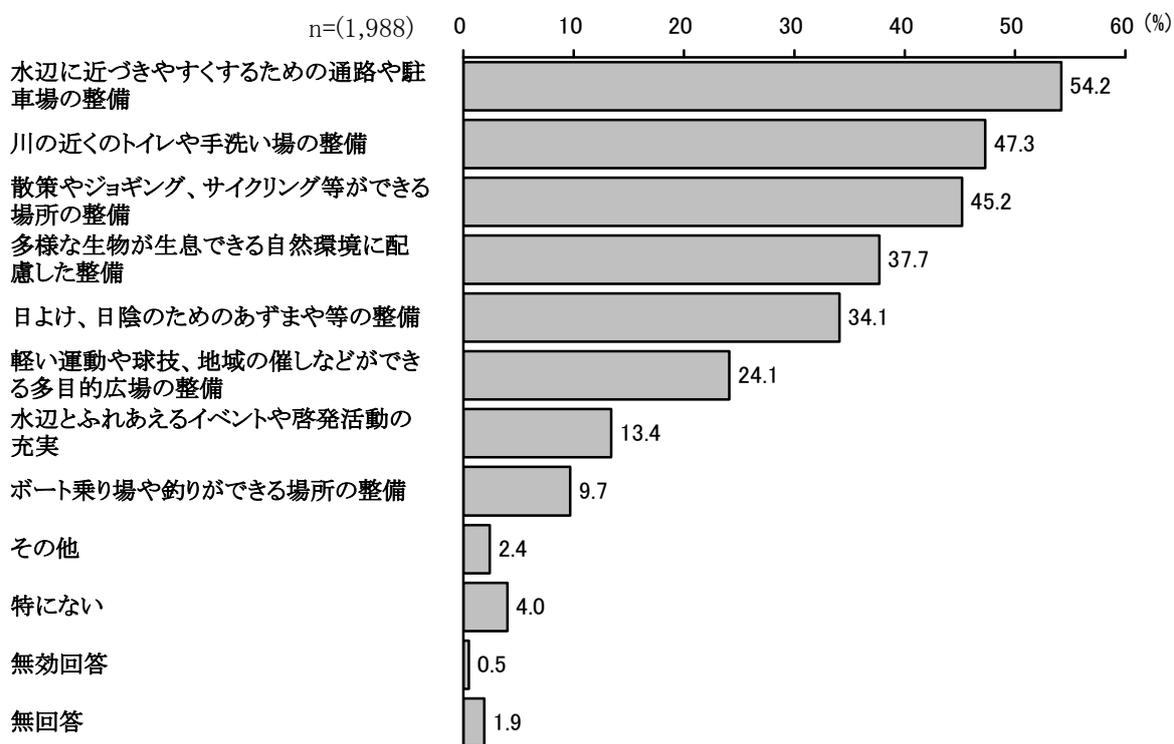


居住地区別にみると、《親近感がある》は【太白区】（57.0%）及び【若林区】（54.3%）で5割を超えている。

一方、《親近感がない》は【泉区】（58.5%）及び【宮城野区】（55.5%）で5割を超えている。

②河川区域の整備に必要なもの

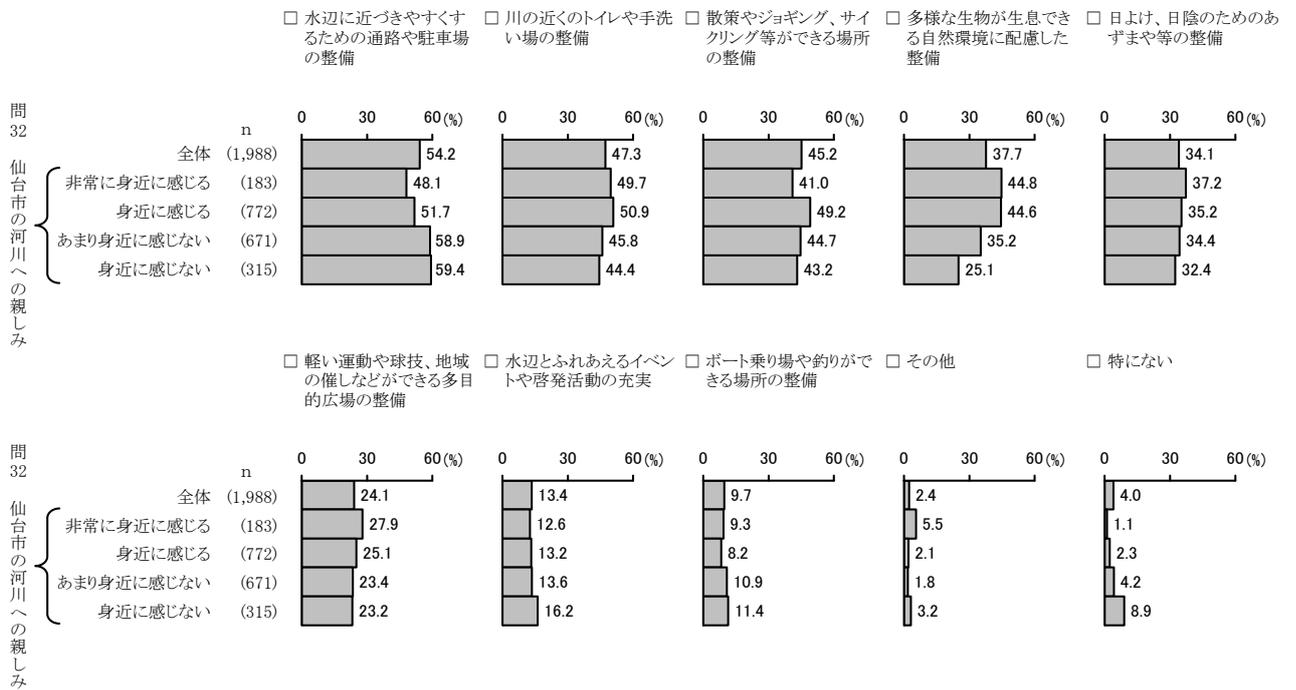
問 33 市民の皆さまが、水辺の空間を利用するために、今後の河川区域の整備に、特に必要なものは何ですか。（あてはまる番号3つに○）



河川区域の整備に必要なものについては、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場の整備」(54.2%)が最も多く、以下「川の近くのトイレや手洗い場の整備」(47.3%)、「散策やジョギング、サイクリング等ができる場所の整備」(45.2%)となっている。

● 仙台市の河川への親しみ（問 32）別 ●

問 33 河川区域の整備に必要なもの



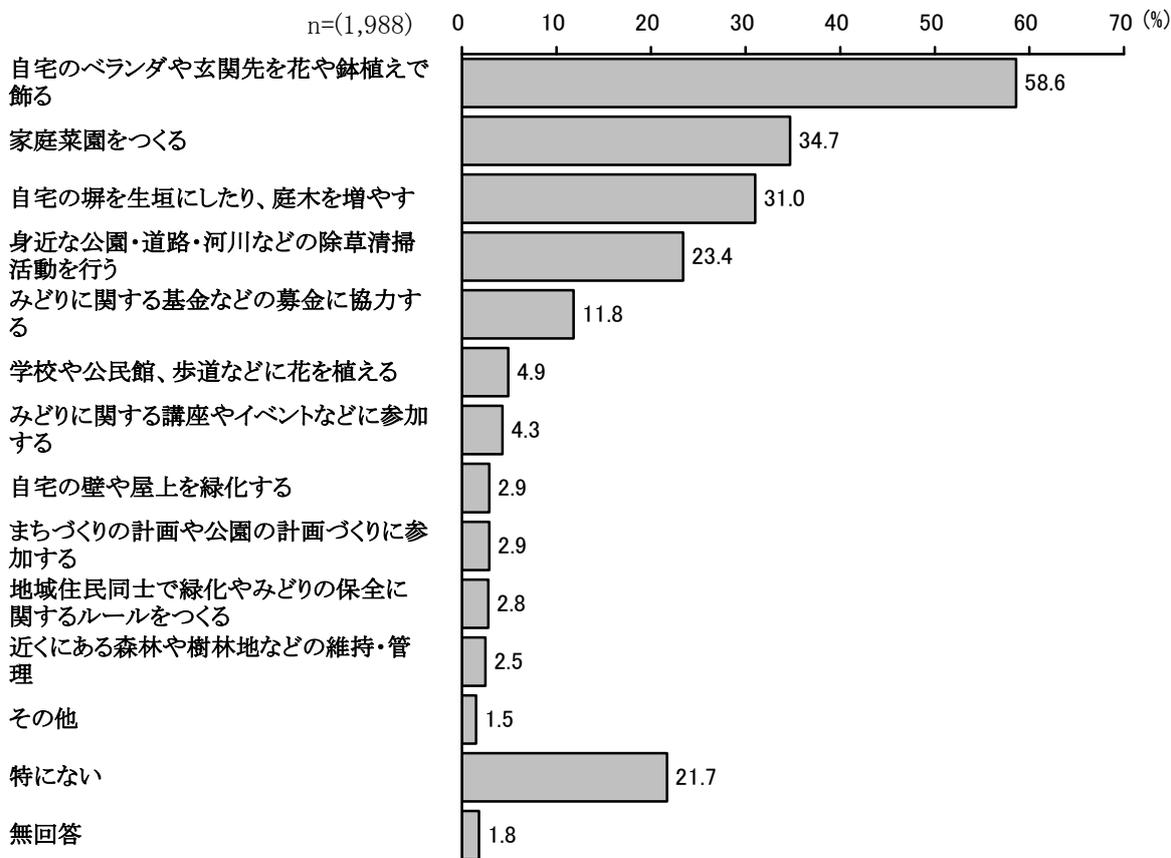
仙台市の河川への親しみ別にみると、「川の近くのトイレや手洗い場の整備」、「多様な生物が生息できる自然環境に配慮した整備」では、【非常に身近に感じる】や【身近に感じる】といった《親近感がある》人が、【あまり身近に感じない】や【身近に感じない】といった《親近感がない》人よりも、割合が多くなっている。

一方、「水辺に近づきやすくするための通路や駐車場の整備」では、《親近感がない》人で《親近感がある》人よりも、割合が多くなっている。

4. みどり豊かなまちづくりへの参加について

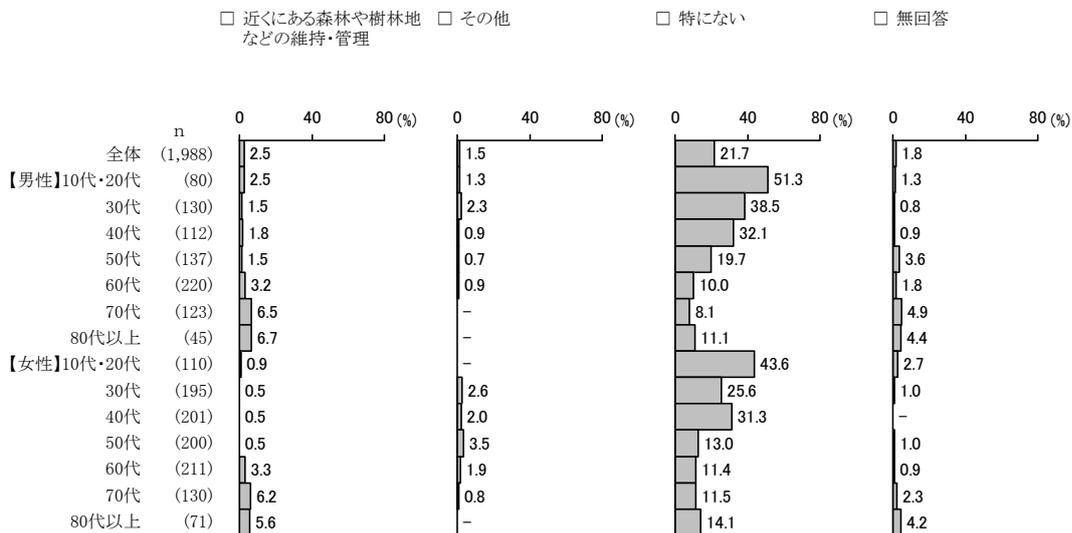
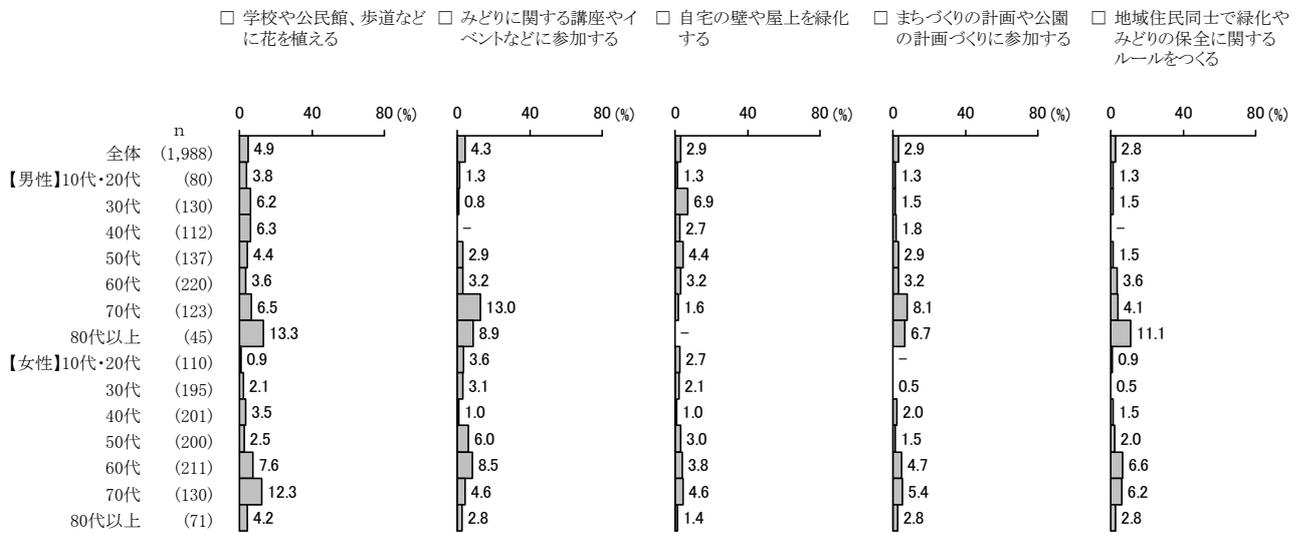
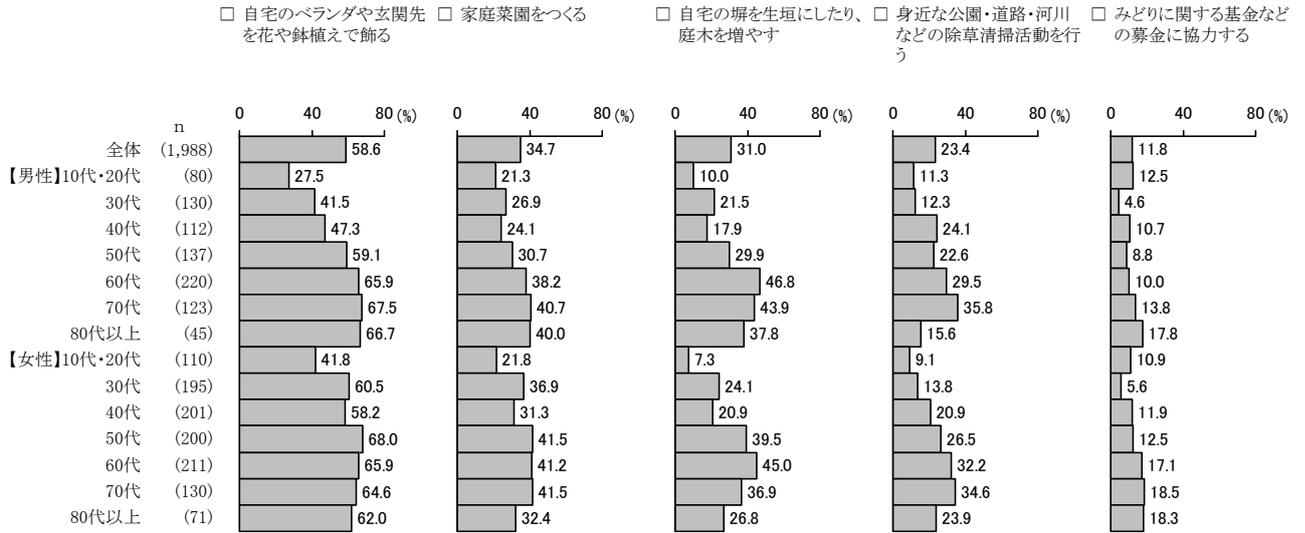
(1) みどり豊かなまちづくりのために実践している活動

問 34 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。
 (あてはまる番号すべてに○)



みどり豊かなまちづくりのために実践している活動については、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えて飾る」(58.6%)が最も多く、以下「家庭菜園をつくる」(34.7%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(31.0%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う」(23.4%)となっている。

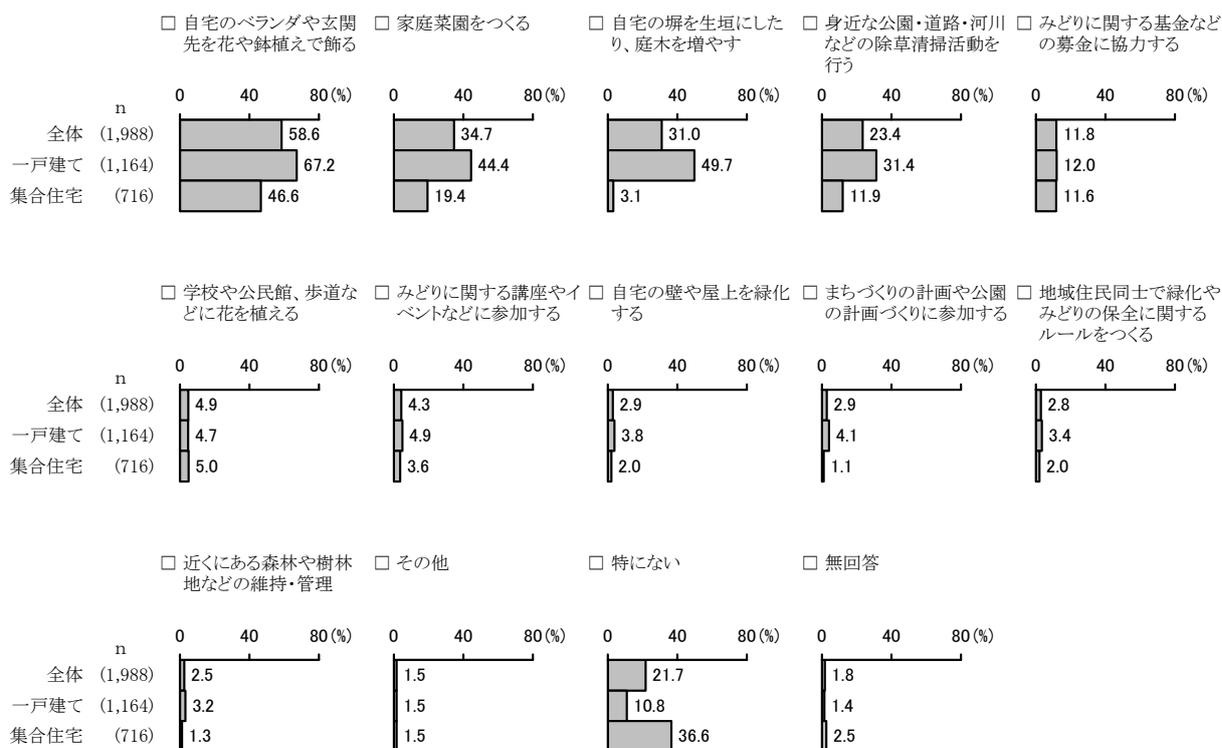
● 性年齢別 ●



性年齢別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「家庭菜園をつくる」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う」では、概ね男女ともに【40代以下】よりも【50代以上】で多い。

また、「特にない」は、男女ともに【40代以下】では2割半ば以上と、【50代以上】に比べて多く、概ね年齢が若いほど、何らかの活動を実践している割合は少なくなっている。

● 現在の住まい別 ●



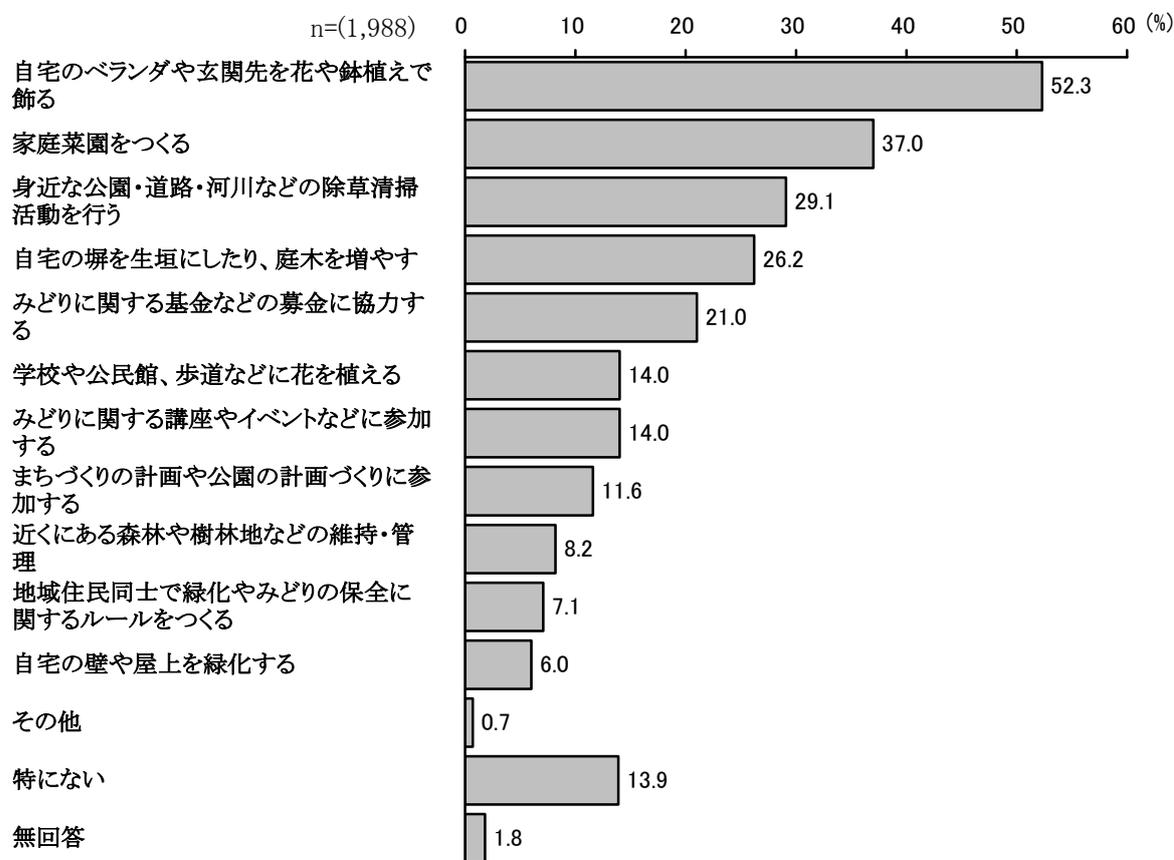
現在の住まい別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」（一戸建て：67.2%、集合住宅：46.6%）や「家庭菜園をつくる」（一戸建て：44.4%、集合住宅：19.4%）等、【一戸建て】の方が【集合住宅】よりも、何らかの活動に取り組んでいる人の割合が多くなっている。

(2) みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動

問 35 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践したい活動は何ですか。

(現在、実践している活動で、今後も継続したい活動も含めてお答えください)。

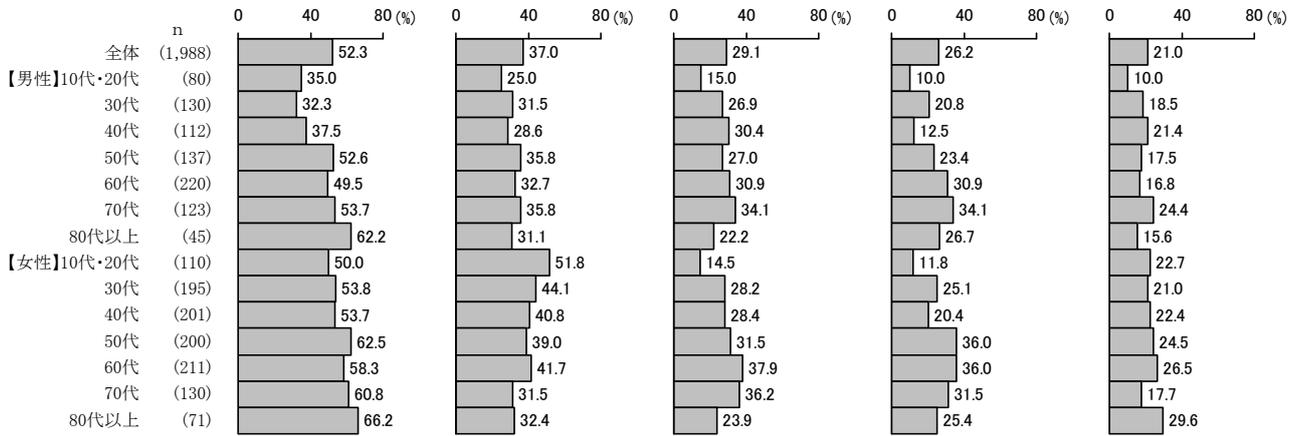
(あてはまる番号すべてに○)



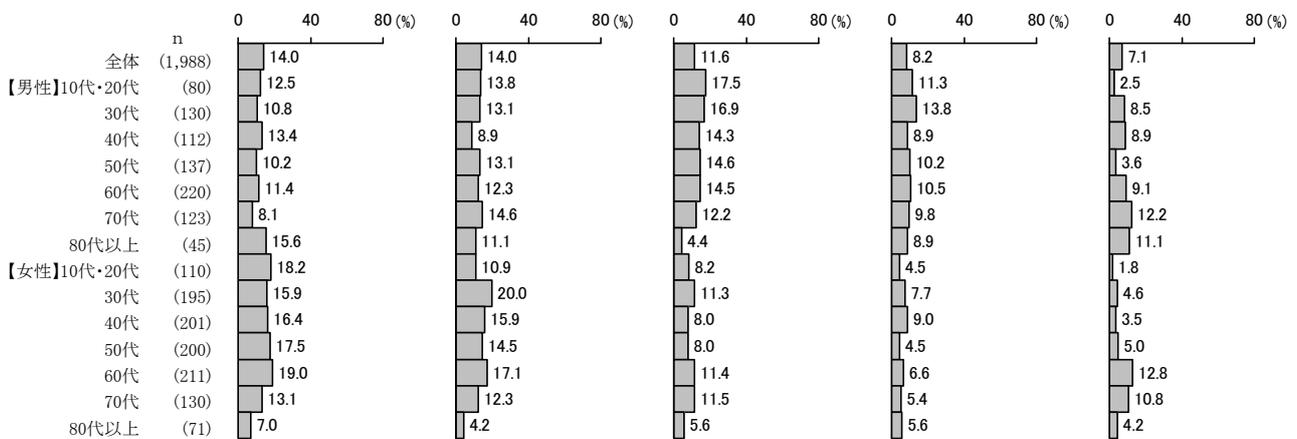
みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動については、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」(52.3%)が最も多く、以下「家庭菜園をつくる」(37.0%)、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う」(29.1%)、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」(26.2%)、「みどりに関する基金などの募金に協力する」(21.0%)となっている。

● 性年齢別 ●

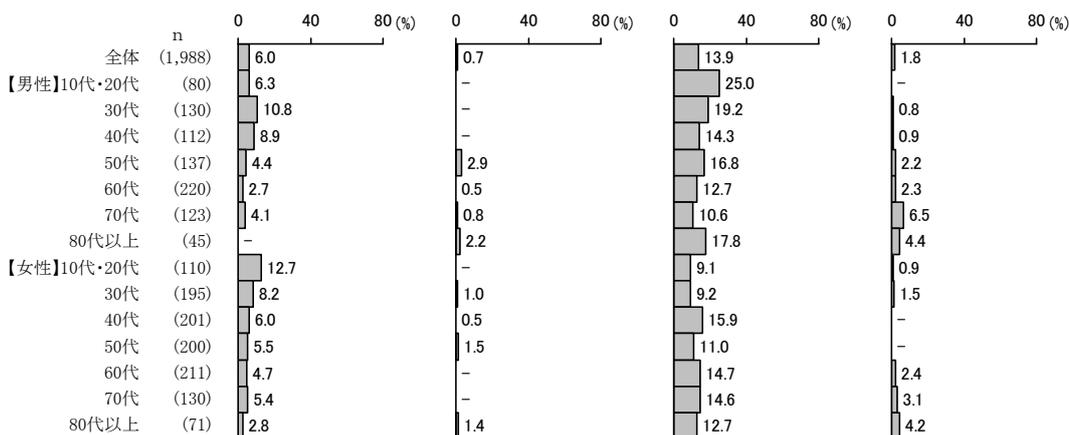
- 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
- 家庭菜園をつくる
- 身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う
- 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
- みどりに関する基金などの募金に協力する



- 学校や公民館、歩道などに花を植える
- みどりに関する講座やイベントなどに参加する
- まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
- 近くにある森林や樹林地などの維持・管理
- 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる



- 自宅の壁や屋上を緑化する
- その他
- 特にない
- 無回答

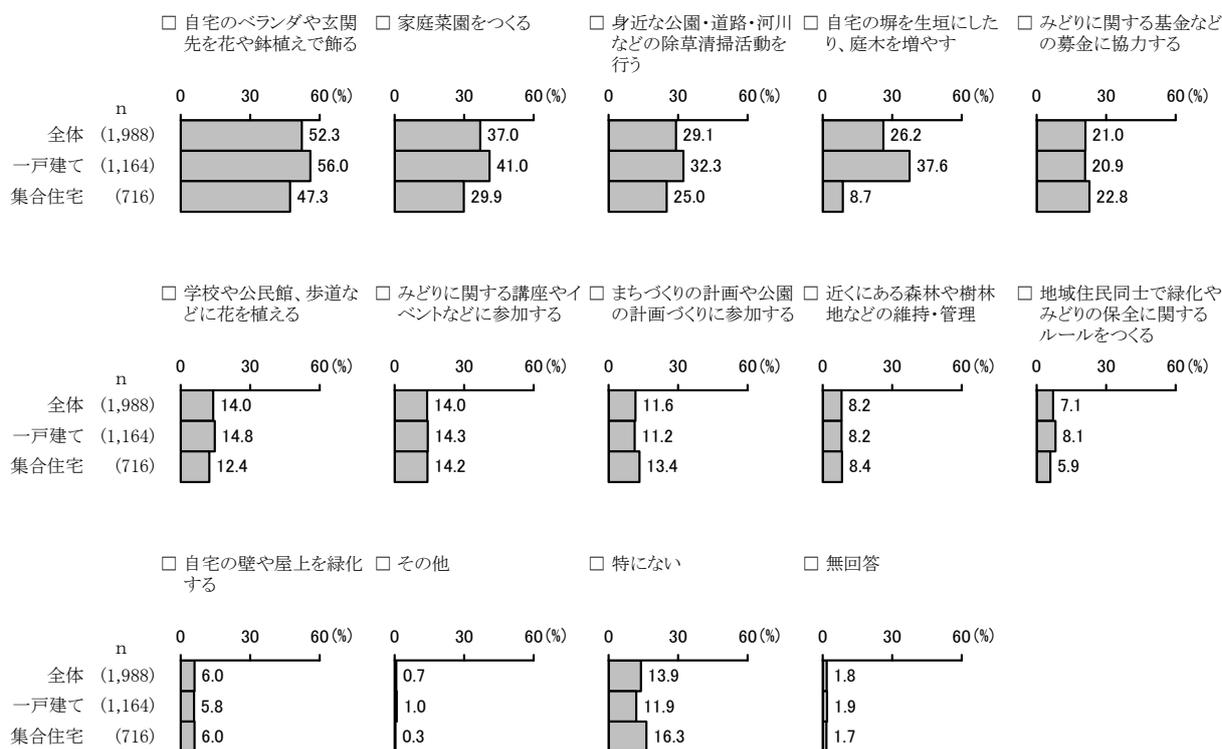


性年齢別にみると、「家庭菜園をつくる」は、女性の【10代・20代】で51.8%と、他の性年齢に比べて多い。

一方、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」は、男性の【40代以下】で、他の性年齢では約5割もしくはそれ以上であるのに比べて少ない。

また、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う」では、男女ともに【10代・20代】で1割半ば、あるいは、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」では、男性の【10代・20代】、【40代】、女性の【10代・20代】で1割台と、いずれも、他の性年齢で2割を超えるのに比べて少なくなっている。

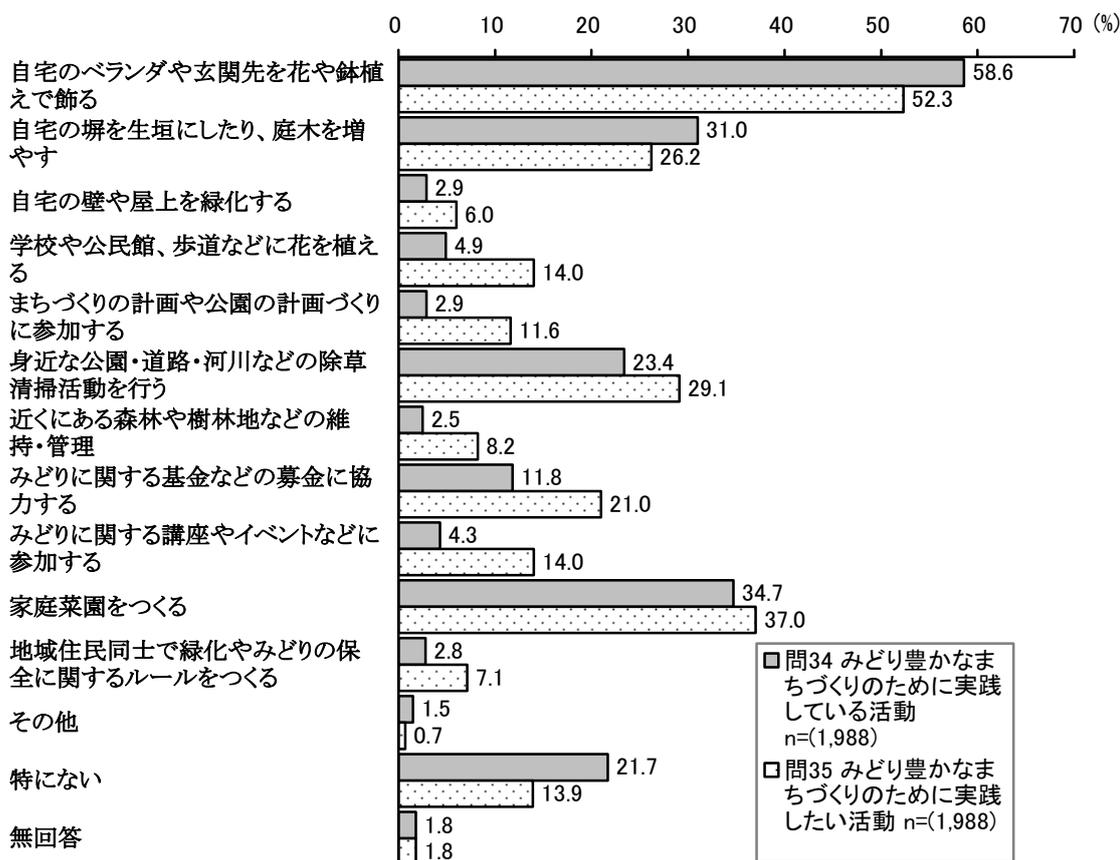
● 現在の住まい別 ●



現在の住まい別にみると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「家庭菜園をつくる」、「身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」では、【一戸建て】が【集合住宅】を7ポイント以上、上回っている。

一方、【集合住宅】が【一戸建て】を同程度上回っているものはみられず、【一戸建て】の方が【集合住宅】に比べて、活動への参加意欲が高いことがうかがえる。

● 実践している活動としたい活動の比較 ●



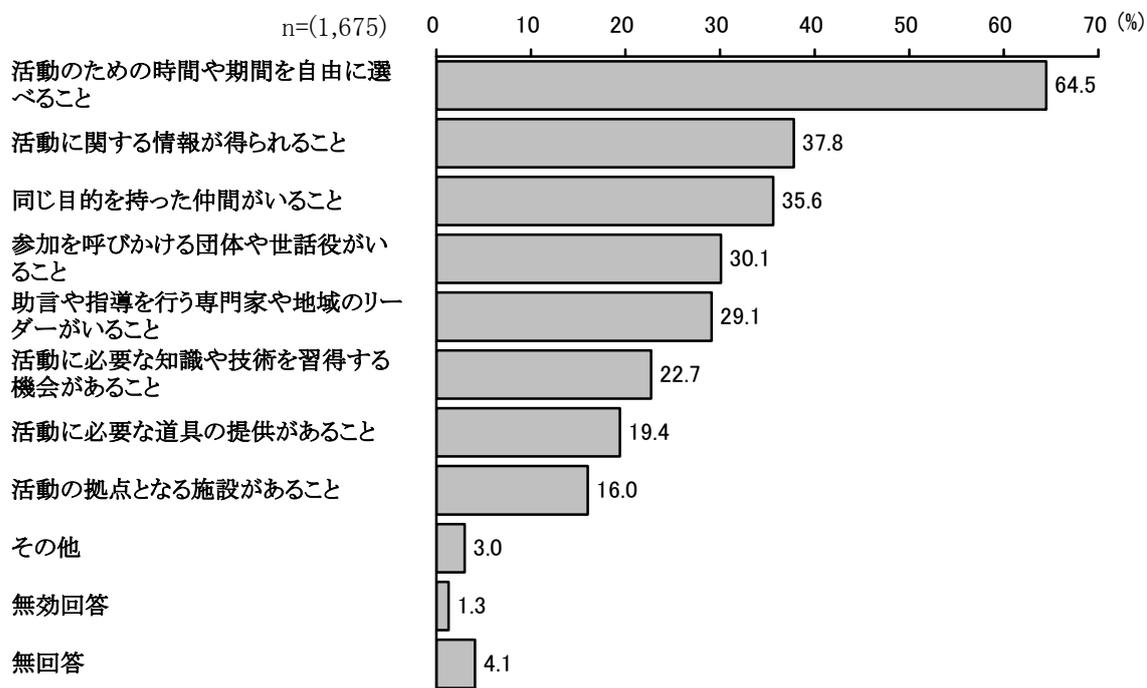
『問 34 みどり豊かなまちづくりのために実践している活動』（89 ページ参照）と、『問 35 みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動』を比較すると、「自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る」、「自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす」以外の項目で、問 35 の実践したい活動が問 34 の実践している活動の割合を上回っている。

一方、「特にない」は問 34 の実践している活動では 21.7%だが、問 35 の実践したい活動では 13.9%と少なくなっている

(3) みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件

問 36 あなたが、みどり豊かなまちづくりの活動に参加するための条件は何ですか。

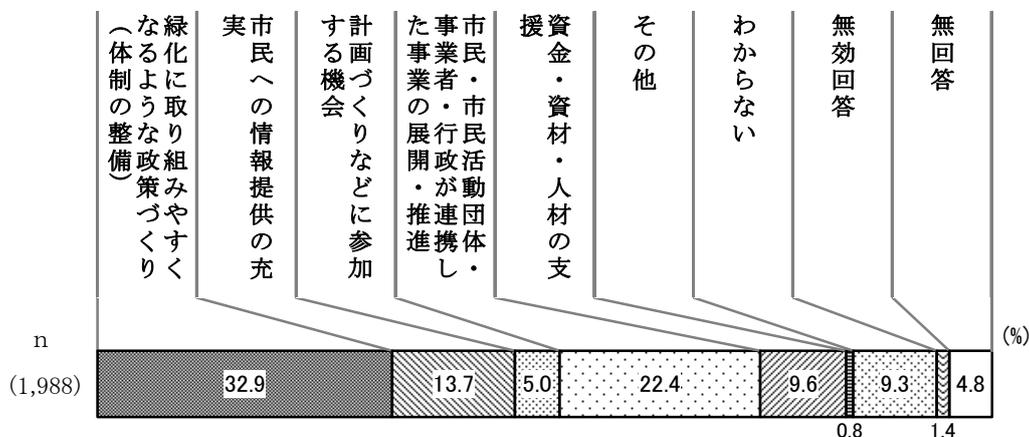
(あてはまる番号3つに○)



みどり豊かなまちづくりのために実践したい活動があると回答した人に、活動に参加するための条件についてたずねたところ、「活動のための時間や期間を自由に選べること」(64.5%)が最も多く、以下「活動に関する情報が得られること」(37.8%)、「同じ目的を持った仲間がいること」(35.6%)、「参加を呼びかける団体や世話役がいること」(30.1%)、「助言や指導を行う専門家や地域のリーダーがいること」(29.1%)となっている。

(4) みどり豊かなまちづくりのために必要なこと

問 37 みどり豊かなまちづくりのためには、市民・市民活動団体・事業者・行政、それぞれの役割をはっきりとさせ、お互いが協力していくことが重要です。そのために必要なことは何だとお考えになりますか。(もっともあてはまる番号1つに○)

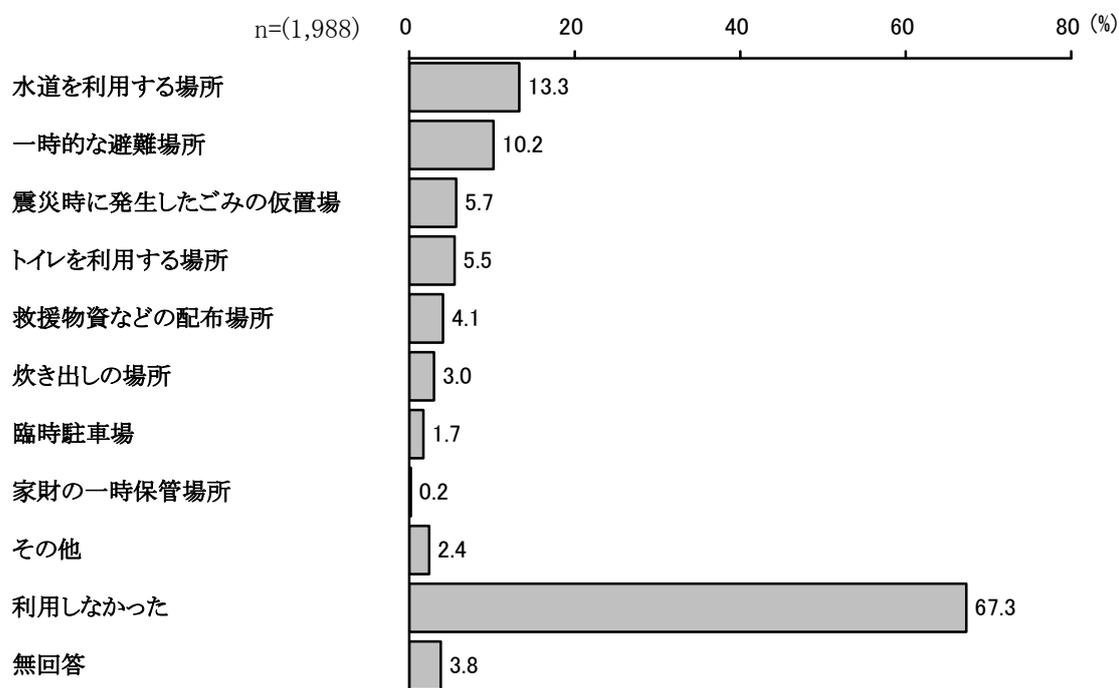


みどり豊かなまちづくりのために必要なことについては、「緑化に取り組みやすくなるような政策づくり (体制の整備)」(32.9%) が最も多く、以下「市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進」(22.4%)、「市民への情報提供の充実」(13.7%) となっている。

5. 災害時の公園利用について

(1) 東日本大震災直後の公園の利用状況

問 38 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生直後、あなたはお住まいの近くにある公園を、どのように利用しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

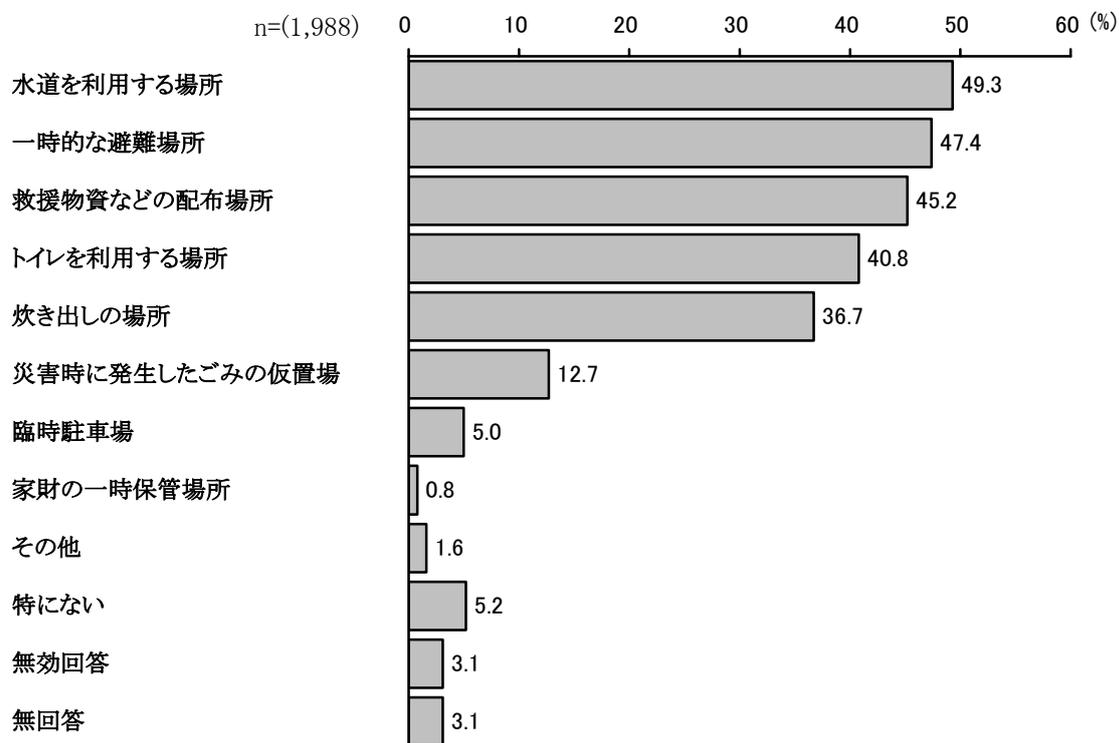


東日本大震災直後の公園の利用状況については、「水道を利用する場所」(13.3%)が最も多く、以下「一時的な避難場所」(10.2%)、「震災時に発生したごみの仮置場」(5.7%)、「トイレを利用する場所」(5.5%)となっている。

なお、「利用しなかった」は67.3%となっている。

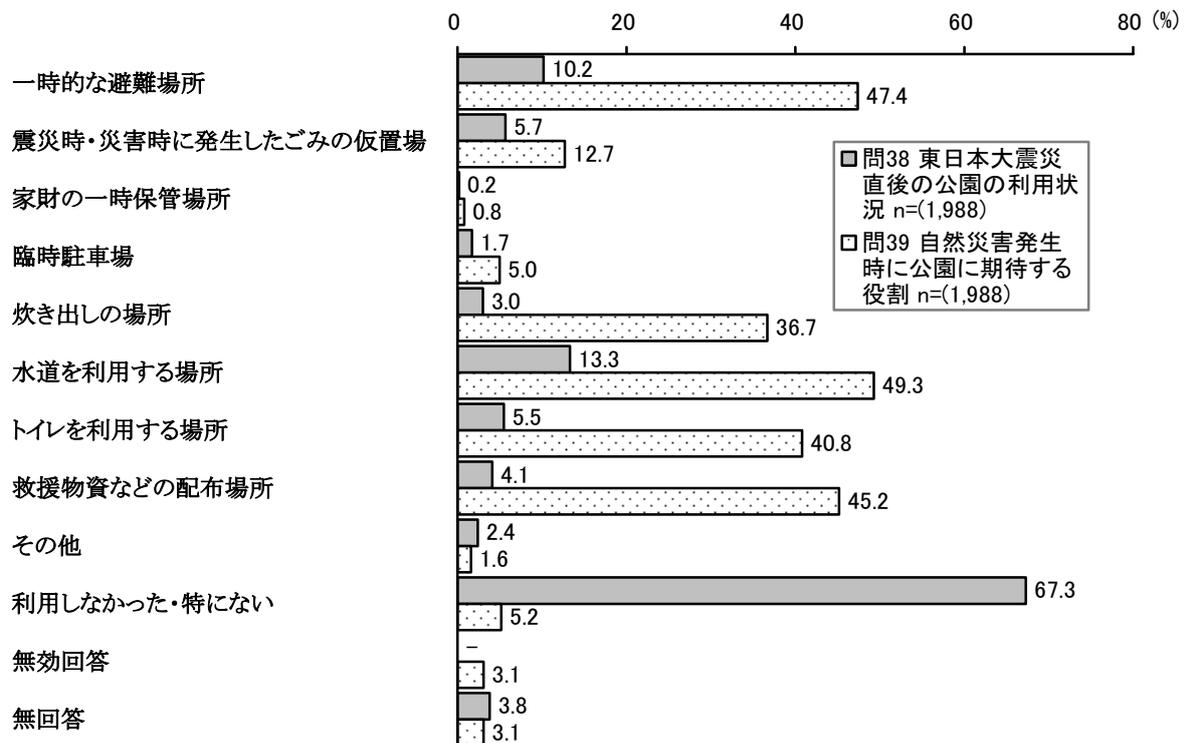
(2) 自然災害発生時に公園に期待する役割

問 39 今後、自然災害が起こったときに、どのような役割を公園に期待しますか。
 (あてはまる番号3つに○)



自然災害発生時に公園に期待する役割については、「水道を利用する場所」(49.3%)が最も多く、以下「一時的な避難場所」(47.4%)、「救援物資などの配布場所」(45.2%)、「トイレを利用する場所」(40.8%)、「炊き出しの場所」(36.7%)となっている。

● 東日本大震災直後の公園の利用状況と自然災害発生時に公園に期待する役割の比較 ●



『問 38 東日本大震災直後の公園の利用状況』（98 ページ参照）と、『問 39 自然災害発生時に公園に期待する役割』を比較すると、問 38 で実際に利用したとする回答は少なく、「水道を利用する場所」（13.3%）、「一時的な避難場所」（10.2%）を除き、いずれも 1 割未満となっている。

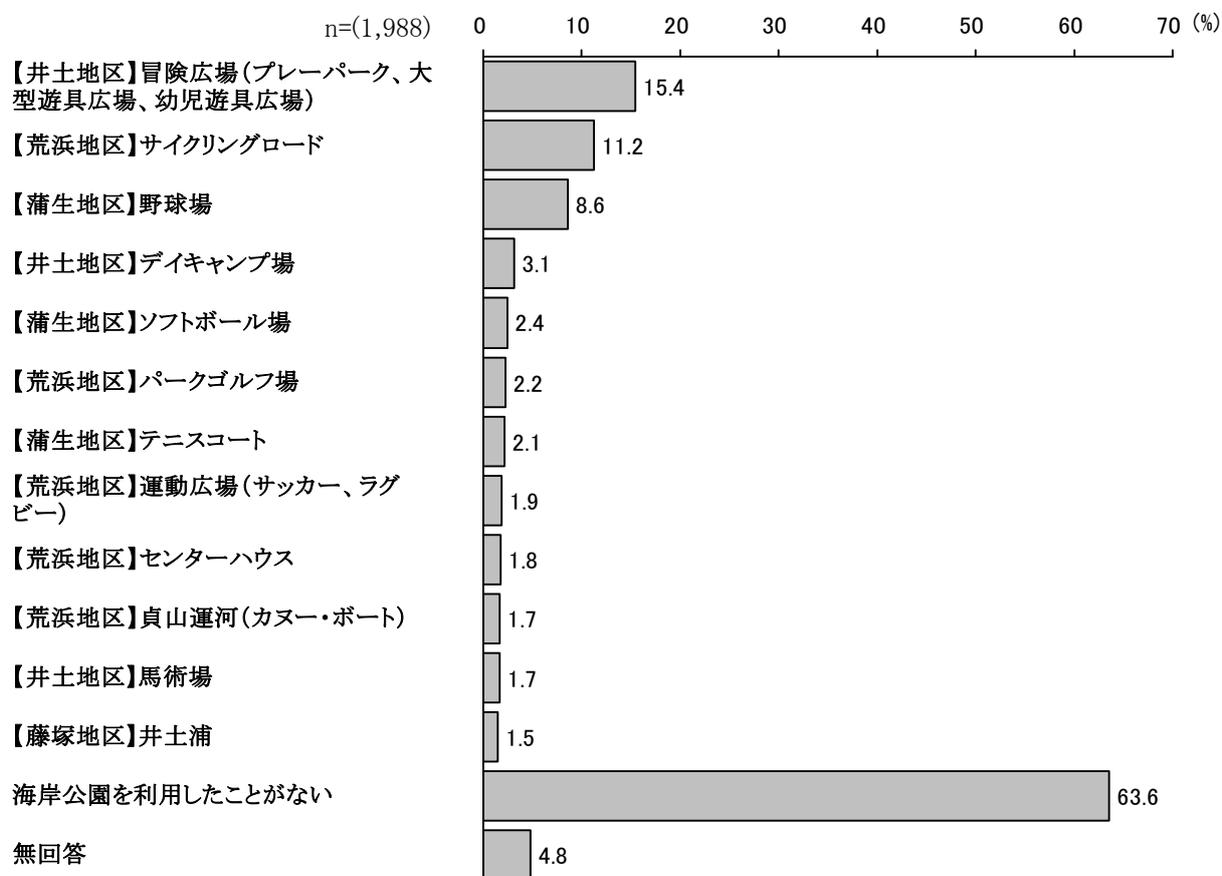
問 39 の公園に期待する役割については、実際の利用状況とは異なり、「水道を利用する場所」（49.3%）、「一時的な避難場所」（47.4%）、「救援物資などの配布場所」（45.2%）、「トイレを利用する場所」（40.8%）、「炊き出しの場所」（36.7%）などが多く望まれており、期待する役割は「特にない」は 5.2%にとどまっている。

6. 海岸公園の再整備について

(1) 被災前に利用したことのある施設

問 40 被災前の海岸公園で利用したことのある施設は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)



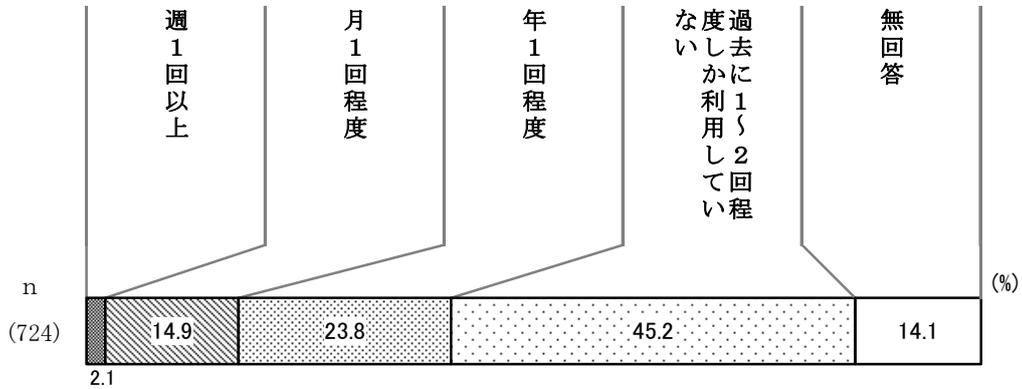
被災前に利用したことのある施設については、「【井土地区】冒険広場（プレーパーク、大型遊具広場、幼児遊具広場）」(15.4%)が最も多く、以下「【荒浜地区】サイクリングロード」(11.2%)、「【蒲生地区】野球場」(8.6%)となっている。

なお、「海岸公園を利用したことがない」は63.6%となっている。

(2) 海岸公園の利用頻度

問 41 海岸公園を利用したことがある方におたずねします。

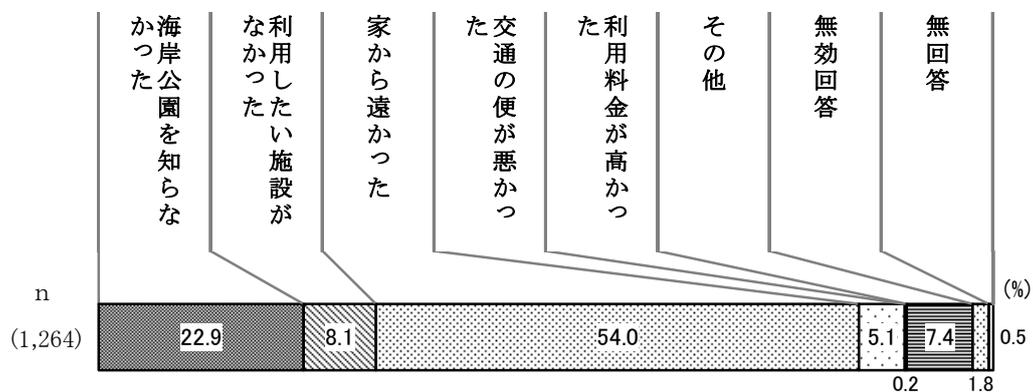
過去の利用頻度はどの程度でしたか。複数の施設を利用したことがある方は海岸公園全体の利用頻度としてお答えください。(もっともあてはまる番号1つに○)



海岸公園の利用頻度については、「過去に1～2回程度しか利用していない」(45.2%)が最も多く、以下「年1回程度」(23.8%)、「月1回程度」(14.9%)、「週1回以上」(2.1%)となっている。

(3) 海岸公園を利用しなかった理由

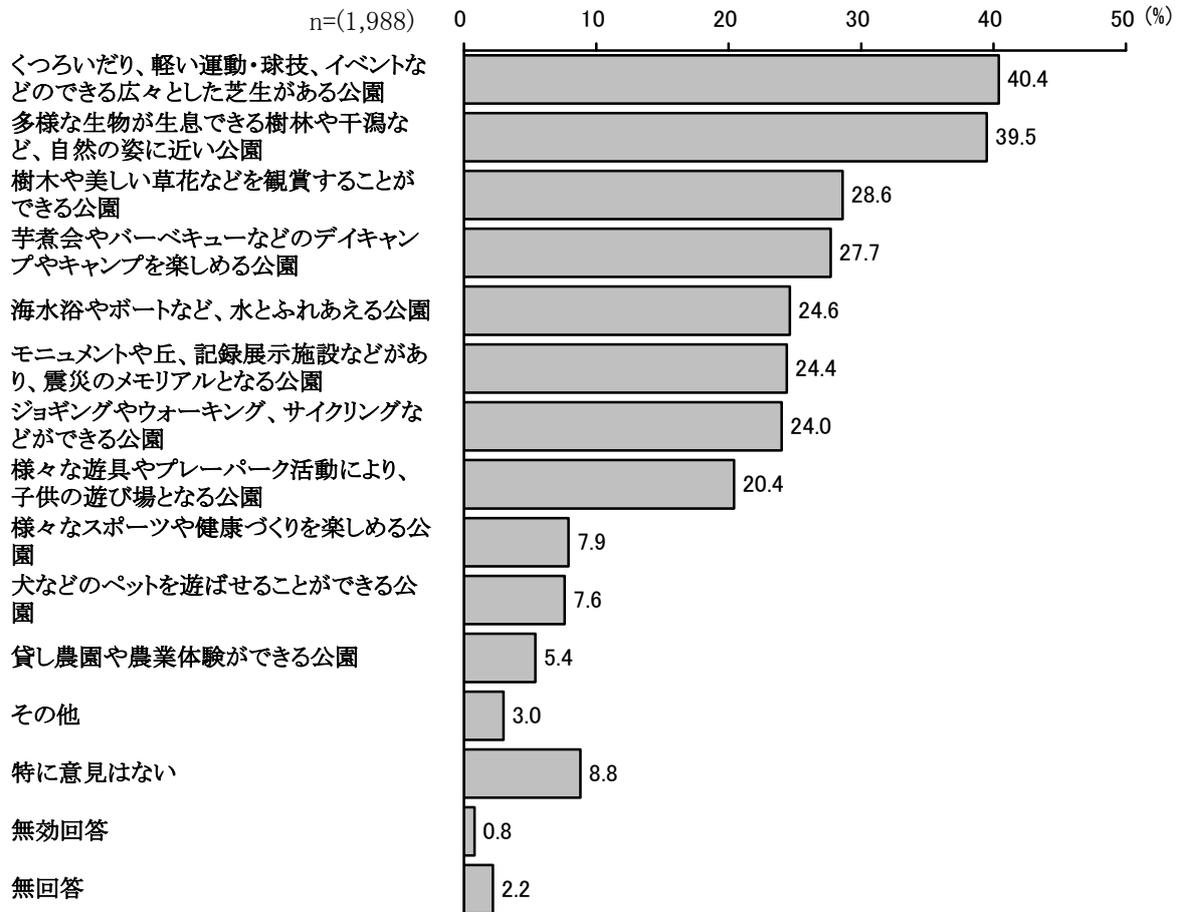
問 42 問 40 で『13. 利用したことがない』と回答した方におたずねします。
 利用しなかった理由を教えてください。(もっともあてはまる番号1つに○)



海岸公園を利用しなかった理由については、「家から遠かった」(54.0%)が最も多く、以下「海岸公園を知らなかった」(22.9%)、「利用したい施設がなかった」(8.1%)となっている。

(4) 海岸公園の整備に関する意向

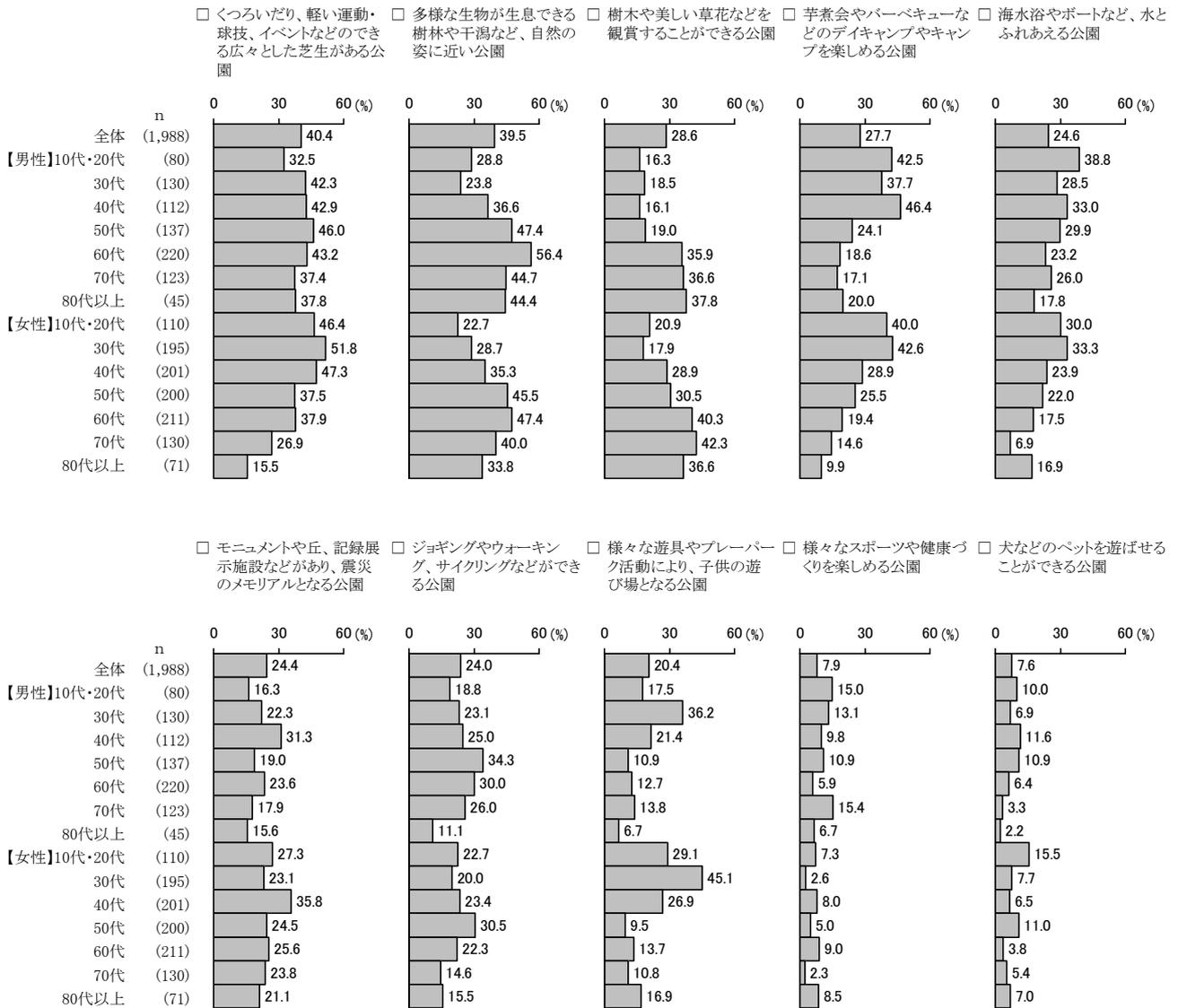
問 43 海岸公園をどのような公園として整備して欲しいですか。(あてはまる番号3つに○)



海岸公園の整備に関する意向については、「くつろいだり、軽い運動・球技、イベントなどのできる広々とした芝生がある公園」(40.4%)が最も多く、以下「多様な生物が生息できる樹林や干潟など、自然の姿に近い公園」(39.5%)、「樹木や美しい草花などを観賞することができる公園」(28.6%)、「芋煮会やバーベキューなどのデイキャンプやキャンプを楽しめる公園」(27.7%)、「海水浴やボートなど、水とふれあえる公園」(24.6%)、「モニュメントや丘、記録展示施設などがあり、震災のメモリアルとなる公園」(24.4%)、「ジョギングやウォーキング、サイクリングなどができる公園」(24.0%)、「様々な遊具やプレーパーク活動により、子供の遊び場となる公園」(20.4%)となっている。

また、「様々なスポーツや健康づくりを楽しめる公園」を選択した人に、具体的な種目を挙げていただいたところ、52名から90件の回答が得られた。その内容としては、「野球」(19件)、「サッカー」(16件)、「テニス」(9件)などの球技が多くなっている。

● 性年齢別 ●



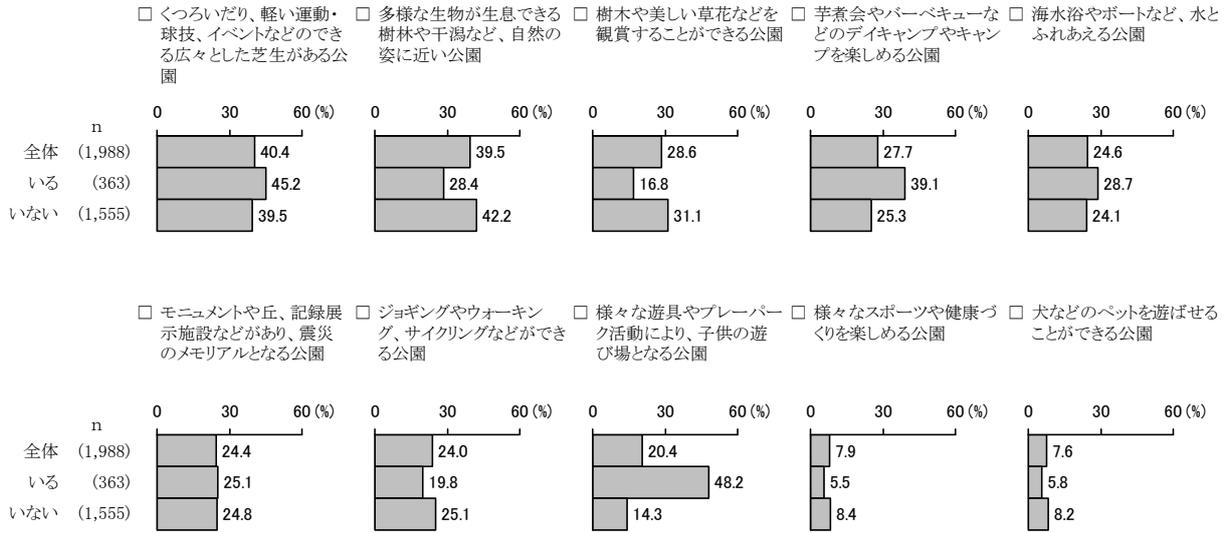
※上位 10 項目のみ抜粋

性年齢別にみると、「樹木や美しい草花などを鑑賞することができる公園」は、男女ともに【60代以上】で、【50代以下】に比べて多くなっている。

「芋煮会やバーベキューなどのデイキャンプやキャンプを楽しめる公園」では、男性の【40代以下】及び女性の【30代以下】、「海水浴やボートなど、水とふれあえる公園」では、男性の【40代以下】及び女性の【30代以下】で、それぞれそれ以降の年齢層に比べて多くなっている。

また、「様々な遊具やプレーパーク活動により、子供の遊び場となる公園」では、男性の【30代】及び女性の【40代以下】で、他の性年齢に比べて多くなっている。

● 小学生以下の子どもの有無別 ●



※上位 10 項目のみ抜粋

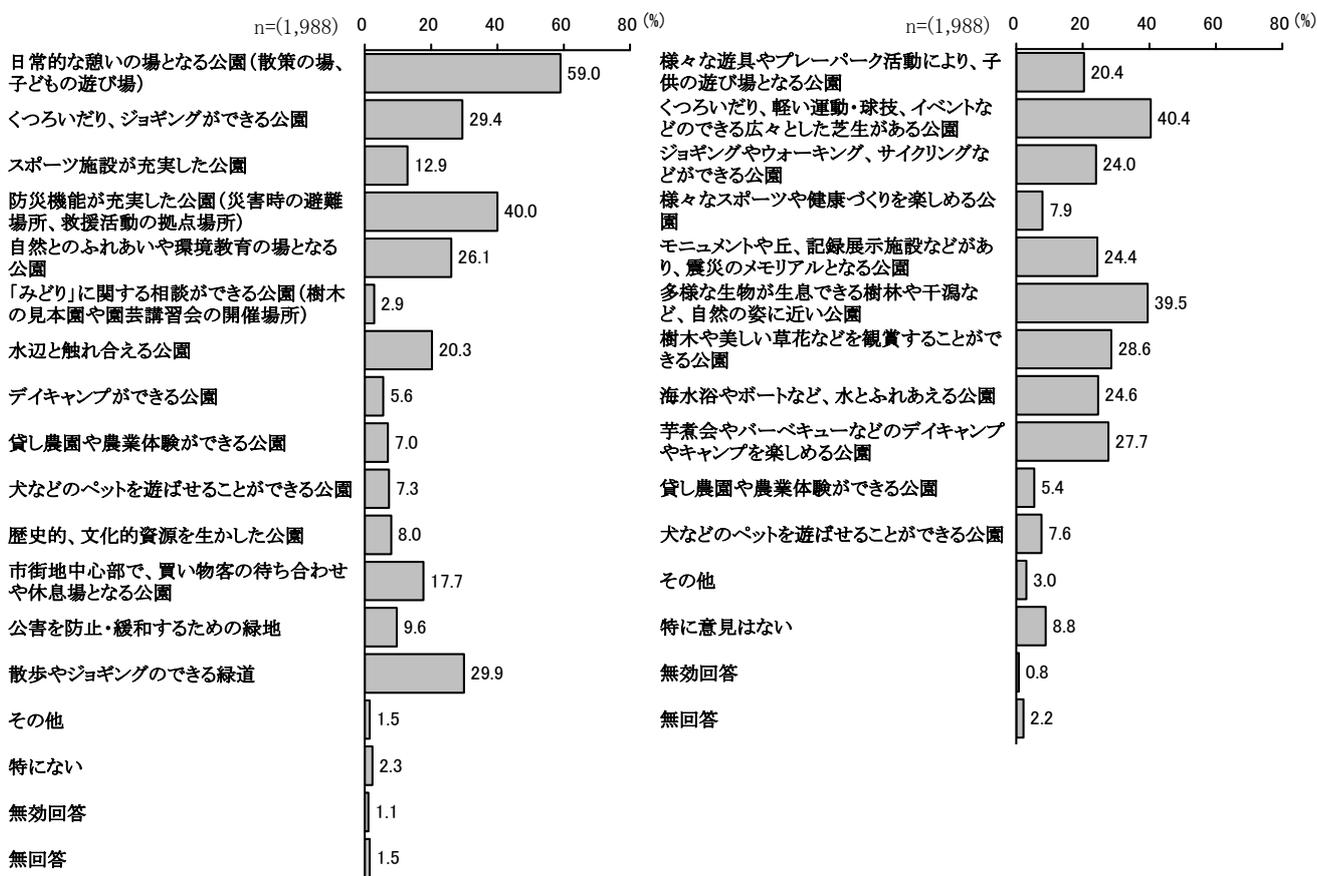
小学生以下の子どもの有無別にみると、「芋煮会やバーベキューなどのデイキャンプやキャンプを楽しめる公園」、「様々な遊具やプレーパーク活動により、子供の遊び場となる公園」では、【子どもがいる】人で【子どもがいない】人に比べて多くなっている。

一方、「多様な生物が生息できる樹林や干潟など、自然の姿に近い公園」、「樹木や美しい草花などを鑑賞することができる公園」では、【子どもがいない】人で【子どもがいる】人に比べて多くなっている。

● 全市の公園整備と海岸公園整備の比較 ●

【問 28 仙台市全域で増やして欲しい公園】

【問 43 海岸公園の整備に関する意向】



『問 28 仙台市全域で増やして欲しい公園』(67 ページ参照) と、『問 43 海岸公園の整備に関する意向』を比較すると、問 28 の全市の公園については、「日常的な憩いの場となる公園(散策の場、子どもの遊び場)」(59.0%) や「散歩やジョギングのできる緑道」(29.9%)、「くつろいだり、ジョギングができる公園」(29.4%) といった日常的な憩いの場としての他、「防災機能が充実した公園(災害時の避難場所、救援活動の拠点場所)」(40.0%) としての整備も望まれている。

問 43 の海岸公園については、「くつろいだり、軽い運動・球技、イベントなどのできる広々とした芝生がある公園」(40.4%) や「芋煮会やバーベキューなどのデイキャンプやキャンプを楽しめる公園」(27.7%) といった憩いの場としての機能の他、「多様な生物が生息できる樹林や干潟など、自然の姿に近い公園」(39.5%)、「樹木や美しい草花などを観賞することができる公園」(28.6%) などの自然環境に触れられる場としての整備が望まれている。

7. 「みどり」に関する意見・要望

(1) 自由意見

その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば、ご自由に記入してください。

(記入者数：526名)

内容	件数
1 仙台市のまちづくりについて	161件
1 取組み方針、体制づくりなどソフト面に関することについて	54件
2 仙台らしさ、「杜の都」という言葉について	48件
3 財政、事業のコストについて	22件
4 整備・管理などハード面に関することについて	20件
5 安心安全、防災のみどりについて	10件
6 その他	7件
2 公園について	109件
1 みどりの量（整備など）について	65件
2 みどりの質（管理など）について	40件
3 その他	4件
3 街路樹について	105件
1 みどりの質（管理など）について	61件
2 みどりの量（整備など）について	41件
3 その他	3件
4 海岸公園（海岸林など沿岸部に関すること）について	40件
5 樹林地などの自然のみどりの保全について	35件
6 みどりの普及啓発について	33件
7 アンケートについて	30件
8 市街地の緑化について	26件
9 河川について	17件
10 まちづくりへの参加について	16件
11 住宅のみどりについて	14件
12 その他	48件
合計	634件

「みどり」に関するご意見・ご要望などを記入していただいたところ、526名の方から回答があった。記入内容を分類（複数回答扱い）すると、上表のとおりとなっている。

資料

問 6 仙台市にお住まいになってからの年数について教えてください。一度市外に転出して、また転入した方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問 7 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯世帯 (あなたの世代と子供) | 4. 二世帯世帯 (あなたの世代と親) |
| 5. 三世帯世帯 (あなたを含めて三世代) | 6. その他 () |

問 8 あなたと同居している方で、小学生以下の子どもはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

あなたの身近なみどりについておたずねします

問 9 あなたにとつての身近なみどりは何ですか。

「身近なみどり」とは、あなたのお住まいの近くにあるみどりだけではなく、あなた自身が身近だと感じているみどりも含めます。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生垣や庭木などの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林 (唐久根) |
| 17. その他 () | |

※ 「16. 屋敷林 (唐久根)」：屋敷の周囲に防風や防火のために植えた林。

問 10 現在の身近なみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を美しくする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

問 11 あなたがもっと欲しいと思う、身近なみどりは何ですか。

(あてはまる番号3つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生垣や庭木などの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林 (唐久根) |
| 17. その他 () | 18. 特にない |

問 12 身近なみどりは市民の皆さまの生活の質を高めるための様々な機能を持っています。身近なみどりの機能の中で、特にあなたが期待するものは何ですか。

(あてはまる番号3つに○)

- | |
|--|
| 1. 都市の気温上昇(ヒートアイランド現象など)をやわらげる |
| 2. 大気を浄化したり、騒音をやわらげたりする |
| 3. 建築や道路などの、人工的な施設の周辺の景色を整える |
| 4. 都市に風格や落ち着きを与える |
| 5. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する |
| 6. スポーツや野外レクリエーションなどの活動の場を提供する |
| 7. 休憩などの場所を提供する |
| 8. 散歩などの場を提供する |
| 9. 洪水やがけ崩れなどの災害を防止する |
| 10. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止をする |
| 11. 災害時の避難場所を提供する |
| 12. 生活にうるおいを与え、心をなごませる |
| 13. その他 () |

「杜の都」という言葉について、あなたの意見をおたずねします

問 13 あなたが思う「杜の都」を代表するみどりとは何ですか。

(あてはまる番号3つに○)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 青葉山 | 2. 泉ヶ岳 |
| 3. 太白山 | 4. 蕃山 |
| 5. 奥羽山脈 | 6. 青葉山公園 (仙台城跡) |
| 7. 勾当台公園 | 8. 台原森林公園 |
| 9. 西公園 | 10. 榴岡公園 |
| 11. 七北田公園 | 12. 青葉通 |
| 13. 定禅寺通 | 14. 名取川 |
| 15. 広瀬川 | 16. 七北田川 |
| 17. 海岸林 | 18. その他 () |

問 14 「杜の都」という言葉からあなたが思い描く街は、どのようなみどりが沢山ある街ですか。

(あてはまる番号3つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生垣や庭木などの住宅のみどり | 2. マンションなどの集合住宅のみどり |
| 3. 商店街やオフィス街のみどり | 4. 学校などの公共施設のみどり |
| 5. 郊外の大型商業施設のみどり | 6. 大きな工場のある工業地のみどり |
| 7. 街路樹などの道路のみどり | 8. 公園や緑地のみどり |
| 9. 神社や寺院のみどり | 10. 史跡や名勝などのみどり |
| 11. 天然記念物などの老木や巨木 | 12. 家の近くにある自然林 |
| 13. 河川や海浜などの水辺 | 14. 周辺の山地や丘陵地のみどり |
| 15. 田や畑 | 16. 屋敷林 (唐久根) |
| 17. その他 () | |

問 15 「杜の都」という言葉から現在の仙台をみたときに、あなたはみどりの量や質についてどのような印象を持っていますか。

「質」とは、みどりが持っている機能のことで、具体的には、生活環境を良くする、生物を保全する、景観を良くする、癒し(いやし)になるなどの機能のことです。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

これから先の仙台市のみどりのまちづくりについておたずねします

◆樹林地などの自然のみどりの保全について

問 16 市街地にある樹林地などの自然のみどりの保全と、都市開発との調和について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|--|
| 1. 必要な開発はやむを得ないが、できるだけみどりを残し、新たなみどりをつくる努力をする |
| 2. これ以上の開発は不要であり、現状維持にとどまらず環境を回復させる |
| 3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せるのがよい |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

問 17 市街地にある樹林地などの自然のみどりの多くは、個人や企業の土地となっています。これらを保全する方法として、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---|
| 1. 個人の土地であっても法律などで土地利用を規制し、開発行為を制限する |
| 2. 他の行政サービスが減ったり、市民の負担が増えたりしても、行政(税金)で土地を買収して保全する |
| 3. 市民・企業・行政が一体となって保全のための基金などをつくり、募金をつくる |
| 4. 個人の土地なので、保全するのも開発するのも個人の意志にまかせる |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問 18 市街地や田園地帯に点在する屋敷林(唐久根)や社寺林の保全について、どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. できるだけみどりを残し、次世代へ継承させていく |
| 2. 現状維持にとどまらず環境を回復させ、よりよい景観をつくる |
| 3. 特に保全する必要はなく、自然の成り行きに任せる |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

問 19 仙台市の生物多様性の現状について、あなたはどのような印象を持っていますか。生物多様性とは、様々な種類の生物がいたり、生物が暮らす自然環境が豊富にあるなどのことです。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. まだまだ自然豊かで様々な生物がたくさんいる |
| 2. 自然はまだ残っているが、絶滅しそうな生物もいる |
| 3. 自然が壊されて、多くの生物が危ない状態になっている |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

問 20 生物多様性を保全・回復するために、特に必要な取り組みは何だと思いますか。
(あてはまる番号3つに○)

1. 森林や河川などの自然環境の保全
2. 市街地での生育環境(生物のすみか)の創出
3. 外来生物による生態系への影響の防止
4. 絶滅の恐れがある希少な動植物の保全
5. 市民や市民活動団体、事業者による自然保護活動への支援
6. 生物多様性を保全するためのルールづくり
7. 自然観察会や講演会などの学習機会の充実
8. ホームページや情報誌での情報発信
9. その他 ()
10. 特にない

◆市街地の緑化について

問 21 市街地の緑化を進めるにあたり、どこかの緑化に重点を置くべきだと思いますか。
(あてはまる番号3つに○)

1. 生垣や庭木などの住宅
2. マンションなどの集合住宅
3. 商店街やオフィス街
4. 学校などの公共施設
5. 郊外の大型商業施設
6. 工場
7. 道路(街路樹など)
8. 公園や緑地
9. 駅周辺等の人が集まる場所
10. 河川敷や堤防
11. 駐車場
12. その他 ()
13. 特にない

問 22 市街地のみどりを増やすために行政が行う取り組みで、特に必要なものは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 緑化義務や開発規制についての法律・条例の強化
2. 補助金支給や苗木配布などの助成制度
3. イベントや表彰などの普及啓発
4. ホームページや情報誌などの情報提供
5. 市民活動団体への支援
6. その他 ()
7. 特にない

問 23 あなたが緑化活動を行う場合に、行政の支援の中で、特に必要なものは何ですか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 緑化や園芸の講習会の開催
2. 緑化技術や緑化制度などの情報の提供
3. 緑の専門家に質問や相談ができる窓口の設置
4. 優れたみどりなどに対する表彰
5. 新緑祭などの緑化イベントの開催
6. みどりに関する情報誌やホームページの充実
7. その他 ()
8. 特にない

◆公園について

問 24 あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか。
「お住まいの近くにある公園」とは、目安として、歩いて5分～10分程度の場所にある公園のことです。
(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週2～3回程度
3. 週1回程度
4. 月1～2回程度
5. その他 ()
6. ほとんど利用しない
7. 近くに公園がない → 問28へ進んでください

問 25 あなたのお住まいの近くにある公園は、どのような役割を持っていますか。
(あてはまる番号3つに○)

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する役割
2. 人工的な都市の景観を美しくする役割
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する役割
4. スポーツや野外レクリエーションなどの活動する場所
5. 健康促進のための散歩や運動をする場所
6. 子どもを遊ばせるための場所
7. 近所の人々と語り合うなど、地域コミュニティを育む場所
8. 犬などのペットを遊ばせる場所
9. 災害時の避難場所
10. 憩いの場を与え、心をなごませる場所
11. その他 ()

問 26 現在のあなたのお住まいの近くにある公園の量や質について、どのような印象を持っていますか。

公園の「量」とは広さや数のことで、「質」とは施設の整備や管理の状況のことです。
(あてはまる番号1つに○)

1. 量・質ともに十分である
2. 量は十分だが、質はよくない
3. 量は不十分だが、質はよい
4. 量・質ともに不十分である

問27 あなたのお住まいの近くの公園を整備・再整備する場合に、特に必要なことは何ですか。 (あてはまる番号3つに○)

1. 高齢者や障害者などが利用しやすいようなバリアフリー化
2. 見通しを良くするなど、子どもが安全に遊べるような防犯対策
3. 子どもが遊ぶための遊具の充実
4. 樹木や芝生など、みどりの充実
5. 美しい草花が咲いている花壇の整備
6. 休憩・会話のためのベンチや日陰のある場所の整備
7. きれいで利用しやすいトイレの整備
8. 軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場の整備
9. 多様な生物が生息できる、自然の姿に近い樹林の整備
10. 犬を放して遊ばせることのできる施設の整備
11. 学校や公民館、福祉施設などと合わせた一体的な整備
12. 小学校の敷地程度の広さの確保
13. 自宅から手軽に行ける近い場所への公園の整備
14. その他 ()
15. 特にない

問28 仙台市全域で、今後増やして欲しい公園はどのような公園ですか。

(あてはまる番号3つに○)

1. 日常的な憩いの場となる公園 (散策の場、子どもの遊び場)
2. くつろいだり、ジョギングができる公園
3. スポーツ施設が充実した公園
4. 防災機能が充実した公園 (災害時の避難場所、救援活動の拠点場所)
5. 自然とのふれあいや環境教育の場となる公園
6. 「みどり」に関する相談ができる公園 (樹木の見本園や園芸講習会の開催場所)
7. 歴史的、文化的資源を生かした公園
8. 水辺と触れ合える公園
9. 市街地中心部で、買い物客の待ち合わせや休憩場となる公園
10. デイキャンプができる公園
11. 貸し農園や農業体験ができる公園
12. 犬などのペットを遊ばせることができる公園
13. 公害を防止・緩和するための緑地
14. 散歩やジョギングのできる緑道
15. その他 ()
16. 特にない

◆「都心部」と「住宅地」の街路樹について

「都心部」とは下図の示す仙台駅を中心とした地区のことで、定禅寺通や青葉通、東二番丁通などが含まれます。また「住宅地」とは都心部以外の一般的な住居地のことです。



問29 現在の仙台市の都心部、住宅地の街路樹の量や質について、それぞれどのような印象を持っていますか。

街路樹の「質」とは、気候緩和などの都市環境を改善する機能や、景観を美しくする機能、生物を保全する機能、癒し(いやし)を与える機能などのことです。

(「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

【都心部】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

【住宅地】

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 量・質ともに十分である | 2. 量は十分だが、質はよくない |
| 3. 量は不十分だが、質はよい | 4. 量・質ともに不十分である |

問 30 街路樹には、市民の皆さまの生活の質を高めるための様々な機能があります。あなたが都心部、住宅地で街路樹に期待する機能として、特に重要なものは何ですか。
 (「都心部」「住宅地」各項目それぞれについて、あてはまる番号3つに○)

【都心部】

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能
2. 人工的な都市の景観を美しくする機能
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能
4. 日差しや雨などから歩行者を守る機能
5. 雨を集め、地下に雨水を誘導する機能
6. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能
7. 運転手や歩行者の心をなごませる機能
8. 紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能
9. 車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能
10. その他 ()

【住宅地】

1. 気候緩和や騒音防止、大気浄化などの都市環境を改善する機能
2. 人工的な都市の景観を美しくする機能
3. 植物や昆虫、鳥類、小動物などの生物に生息地を与え、生物多様性を保全する機能
4. 日差しや雨などから歩行者を守る機能
5. 雨を集め、地下に雨水を誘導する機能
6. 火災が起きた際の延焼遅延や拡大防止の機能
7. 運転手や歩行者の心をなごませる機能
8. 紅葉や開花、芽吹きなどによって季節感を与える機能
9. 車道分離や運転手の視線誘導、事故の際の衝撃緩和など交通安全を高める機能
10. その他 ()

問 31 街路樹の管理について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 毎年多額の費用が掛かって、剪定等の管理を実施して、樹形を整えるべき
2. 数年に1回の強い剪定を行い、一時的に樹形が乱れても現在植栽されている樹種を活かすべき
3. 植樹樹の大きさや電線などの生着環境に合わせ、中木や低木に積極的に植え替えるべき
4. 膨大な手間と費用をかけてまで、街路樹を植栽したり、維持管理したりする必要はない
5. その他 ()
6. わからない

◆河川について

問 32 現在の仙台市全域の河川について、身近に感じますか。
 (あてはまる番号1つに○)

1. 非常に身近に感じる
2. 身近に感じる
3. あまり身近に感じない
4. 身近に感じない

問 33 市民の皆さまが、水辺の空間を利用するために、今後の河川区域の整備に、特に必要なものは何ですか。
 (あてはまる番号3つに○)

1. 水辺に近づきやすくするための通路や駐車場の整備
2. 川の近くのトイレや手洗い場の整備
3. 日よけ、日陰のためのあずまや等の整備
4. 軽い運動や球技、地域の催しなどができる多目的広場の整備
5. ボート乗り場や釣りができる場所の整備
6. 散策やジョギング、サイクリング等ができる場所の整備
7. 多様な生物が息できる自然環境に配慮した整備
8. 水辺とふれあえるイベントや啓発活動の充実
9. その他 ()
10. 特にない

みどり豊かなまちづくりへの参加についておたずねします

問 34 あなたがみどり豊かなまちづくりのために、実践している活動は何ですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のベランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ()
13. 特にない

問 35 あなたが**みどり豊**かなまづくりのために、実践したい活動は何ですか。
 (現在、実践している活動で、今後も継続したい活動も含めてお答えください)。
 (あてはまる番号すべてに○)

1. 自宅のペランダや玄関先を花や鉢植えで飾る
2. 自宅の塀を生垣にしたり、庭木を増やす
3. 自宅の壁や屋上を緑化する
4. 学校や公民館、歩道などに花を植える
5. まちづくりの計画や公園の計画づくりに参加する
6. 身近な公園・道路・河川などの除草清掃活動を行う
7. 近くにある森林や樹林地などの維持・管理
8. みどりに関する基金などの募金に協力する
9. みどりに関する講座やイベントなどに参加する
10. 家庭菜園をつくる
11. 地域住民同士で緑化やみどりの保全に関するルールをつくる
12. その他 ()
13. 特になし → 問 37 へ進んでください

問 36 あなたが、**みどり豊**かなまづくりの活動に参加するための条件は何ですか。
 (あてはまる番号 3 つに○)

1. 活動のための時間や期間を自由に選べること
2. 同じ目的を持った仲間がいること
3. 活動に関する情報が得られること
4. 参加を呼びかける団体や世話役がいること
5. 活動に必要な知識や技術を習得する機会があること
6. 活動に必要な道具の提供があること
7. 助言や指導を行う専門家や地域のリーダーがいること
8. 活動の拠点となる施設があること
9. その他 ()

問 37 **みどり豊**かなまづくりのためには、市民・市民活動団体・事業者・行政、それぞれ役割をはっきりとさせ、お互いが協力していくことが重要です。そのために必要なことは何だとお考えになりますか。(もともともあてはまる番号 1 つに○)

1. 緑化に取り組みやすくなるような政策づくり (体制の整備)
2. 市民への情報提供の充実
3. 計画づくりなどに参加する機会
4. 市民・市民活動団体・事業者・行政が連携した事業の展開・推進
5. 資金・資材・人材の支援
6. その他 ()
7. わからない

災害時の公園利用についておたずねします

問 38 平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生直後、あなたはお住まいの近くに**ある公園を、どのように利用しましたか。** (あてはまる番号すべてに○)

1. 一時的な避難場所
2. 震災時に発生したごみの仮置場
3. 家財の一時保管場所
4. 臨時駐車場
5. 炊き出しの場所
6. 水道を利用する場所
7. トイレを利用する場所
8. 救援物資などの配布場所
9. その他 ()
10. 利用しなかった

問 39 今後、自然災害が起こったときに、どのような役割を公園に期待しますか。
 (あてはまる番号 3 つに○)

1. 一時的な避難場所
2. 災害時に発生したごみの仮置場
3. 家財の一時保管場所
4. 臨時駐車場
5. 炊き出しの場所
6. 水道を利用する場所
7. トイレを利用する場所
8. 救援物資などの配布場所
9. その他 ()
10. 特になし

海岸公園の再整備についておたずねします

仙台市東部地区に位置していた海岸公園は、東日本大震災により防潮林が流失したり、施設が全壊するなど壊滅的な被害を受けました。

本市では、今後、津波の減衰など防災的な機能を加え、多くの市民の方が自然と再び触れ合うことができる場として、海岸公園の再整備を進める予定です。

問 40 被災前の海岸公園で利用したことのある施設は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

蒲生地区

1. 野球場
2. ソフトボール場
3. テニスコート

荒浜地区

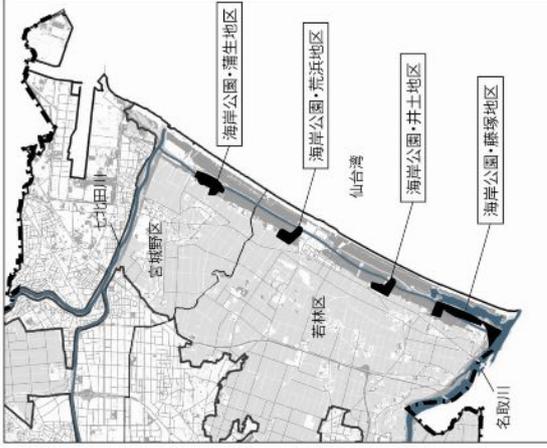
4. パークゴルフ場
5. 運動広場 (サッカー, ラグビー)
6. センターハウス
7. サイクリングロード
8. 貞山運河 (カヌー・ボート)

井土地区

9. 馬術場
10. デイキャンプ場
11. 冒険広場 (プレパーク, 大型遊具広場, 幼児遊具広場)

藤塚地区

12. 井土浦
13. 海岸公園を利用したことがない



問 41 海岸公園を利用したことがある方におたずねします。

過去の利用頻度はどの程度でしたか。複数の施設を利用したことがある方は海岸公園全体の利用頻度としてお答えください。(もともともあてはまる番号1つに○)

1. 週1回以上
2. 月1回程度
3. 年1回程度
4. 過去に1～2回程度しか利用していない

問 42 問 40 で『13. 利用したことがない』と回答した方におたずねします。

利用しなかった理由を教えてください。(もともともあてはまる番号1つに○)

1. 海岸公園を知らなかった
2. 利用したい施設がなかった
3. 家から遠かった
4. 交通の便が悪かった
5. 利用料金が高かった
6. その他 ()

問 43 海岸公園をどのような公園として整備して欲しいですか。

(あてはまる番号3つに○)

1. モニメントや丘, 記録展示施設などがあり, 震災のメモリアルとなる公園
2. くつろいだり, 軽い運動・球技, イベントなどのできる広々とした芝生がある公園
3. 様々なスポーツや健康づくりを楽しめる公園
具体的な種目 ()
4. 多様な生物が生息できる樹林や干潟など, 自然の姿に近い公園
5. 様々な遊具やプレパーク活動により, 子供の遊び場となる公園
6. 海水浴やボートなど, 水とふれあえる公園
7. ジョギングやウォーキング, サイクリングなどができると公園
8. 樹木や美しい草花などを鑑賞することができる公園
9. 芋煮会やバーベキューなどのデイキャンプやキャンプを楽しむ公園
10. 貸し農園や農業体験ができる公園
11. 犬などのペットを遊ばせることができる公園
12. その他 ()
13. 特に意見はない

その他「みどり」に関するご意見・ご要望などがあれば, ご自由に記入してください。

()

調査は以上で終了です。

ご協力誠にありがとうございました。

ご記入が終わりまりました調査票は, 専用の返信用封筒 (切手不要) に封入し, ご投函ください。

平成 24 年度
みどりの市民意識調査
報 告 書

平成 25 年 1 月発行

仙台市 建設局 百年の杜推進部 百年の杜推進課
〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3 丁目 7 番 1 号
TEL 022-214-8388

調査受託：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所